令和2年度

流山市上下水道事業年報

流山市上下水道局

目 次

第	1	上編 組織	(4)水道料金33
1		組織	(5) 手数料34
(1)行政組織図・・・・・・・・・・・・	1 (6)給水申込納付金の変遷34
(2	2) 分掌事務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 6 動力
(3	3) 職員構成	5 (1)電力使用量及び電力料金35
(4	↓)議会議決事項・・・・・・・・	···· 7 (2) 給水量 1 ㎡当たりの電力料金····36
(5	5)職員に関する事項・・・・・	8 7 水質・薬品
			(1)水道水質に関する基準等・・・・・・37
第	2	2編 水道事業	(2) 水質試験成績表38
1		流山市水道事業の経緯	(3) 薬品使用状況40
(1	.) 沿革	・・・・9 (4) 東日本大震災に伴う放射性物質
(2	2)拡張事業の推移・・・・・・	····13 の分析結果······41
2		令和2年度の事業概要	8 財務
(1)総括事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14 (1)予算・決算対照表42
(2	2) 工事	17 (2) 比較損益計算書43
3		施設	(3) 比較貸借対照表44
(1)施設概要	····20 (4)資本的収支表·····46
(2	2) 配水管布設状況・・・・・・	····24 (5) 固定資産明細書······47
4		業務	(6)企業債償還表48
(1)業務量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26 (7)経営分析49
(2	2)浄水場別取水量・受水量	(8) 有収水量1㎡当たり総収益・
		及び給水量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	⋯27 総費用⋯⋯⋯51
(3	3) 月別給水量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・29 (9)給水収益に対する企業債償還
(4	1) 一日最大及び一日最小	元利金表51
		給水量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30 (10) 費用構成表52
(5	5) 受水状況・・・・・・・・・・・・・・・・	31 (11) 供給単価及び給水原価52
(6	5)給水装置工事実施状況‥	31 9 その他
(7	7) 年度別水道メーター新設状況	l····31 (1)車両保有状況······53
5		料金等	(2)通信放送施設53
(1)月別使用料金	····32 (3)緊急給水器具·····53
(2	2) 口径別使用料金	$\cdots 32$
(3	3)料金納入区分別件数・・・・	····32 資料 業務量の推移(グラフ)·····54

第3編 下水道事業	
1 流山市下水道事業の経緯	7 その他
(1)沿革55	(1) 車両使用状況85
(2)下水道事業の変更経緯・・・・・57	
2 令和2年度の事業概要	資料 整備状況及び業務量の
(1)総括事項・・・・・・・・・・62	推移 (グラフ) ・・・・・・86
(2) 工事65	
3 整備状況(下水道)	第4編 用語の説明
(1) 処理区別整備状況67	水道事業用語の説明・・・・・・・87
(2)年度別整備状況67	下水道事業用語の説明・・・・・・・・91
(3) 雨水管の整備状況・・・・・・68	
(4) 東葛飾地区の下水道普及率…68	
(5) 口径別・布設年度別	
下水道管渠延長・・・・・・69	
(6)調整池の施設69	
4 業務	
(1)年度別処理水量、有収水量・・70	
(2) 水洗化普及促進70	
(3) 普及促進関連71	
5 料金等	
(1) 下水道使用料74	
(2)下水道使用料徵収状況74	
(3)下水道事業受益者負担金75	
6 財務	
(1)予算・決算対照表・・・・・・76	
(2)比較損益計算書77	
(3)比較貸借対照表78	
(4) 資本的収支表80	
(5) 固定資産明細書・・・・・・・・・・81	
(6)企業債償還表82	

(7)経営指標……83

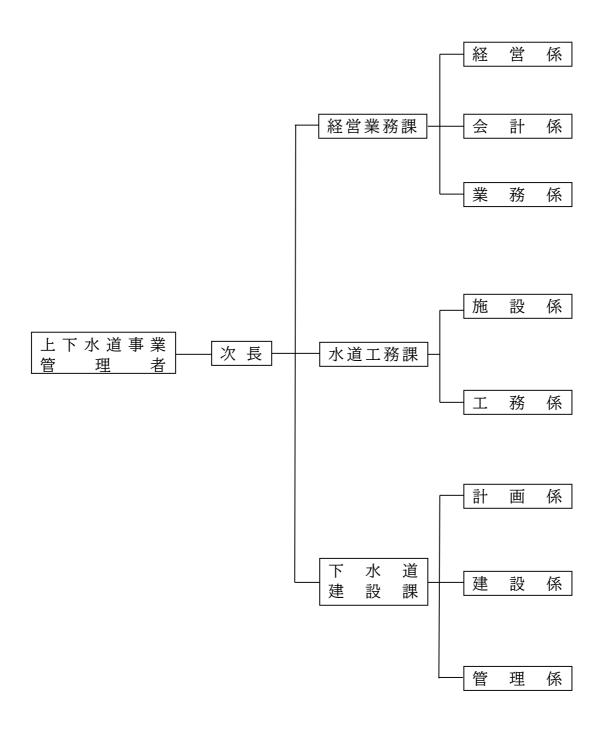
第1編

組織

1 組織

令和3年3月31日現在

(1) 行政組織図



課名	係名	分掌事務
経営業務課		1 水道事業財政計画、下水道事業財政計画及び実施計画の調製に関
がま 口 からのかい	11 L	すること。
		2 組織機構及び事務配分に関すること。
		3 統計資料の調製に関すること。
		4 職員の定数管理に関すること。
		5 職員の人事、服務及び研修に関すること。
		6 職員の給与及び旅費に関すること。
		7 職員の公務災害補償に関すること。
		8 職員の福利厚生及び保健衛生に関すること。
		9 被服の貸与に関すること。
		10 議会の議決を要する事件の原案に関すること。
		11 条例、管理規程等の制定改廃に関すること。
		12 例規台帳の整備に関すること。
		13 文書の収受、発送、整理保存及び廃棄に関すること。
		114 公印の管守に関すること。
		15 共用図書及び共用事務機器の管理に関すること。
		16 水道事業及び下水道事業の予算の編成に関すること。
		17 企業債及び一時借入金に関すること。
		18 庁舎の維持管理及び公有財産の使用許可に関すること。
		19 車両及び建物等の損害保険に関すること。
		21 上下水道事業運営審議会に関すること。 22 課の車両、機械器具等の維持管理に関すること。
		24 車両の安全運転指導に関すること。
		25 局内共通事務用消耗品の調達に関すること。
		26 主管事務に係る調定に関すること。
		27 その他各課の所掌に属さない事項に関すること。
	人 =1 <i>伝</i>	28 上下水道局及び課の庶務に関すること。
	会計係	1 現金及び有価証券の出納保管に関すること。
		2 会計書類の審査及び保管に関すること。
		3 業務状況説明書類の作成に関すること。
		4 経理状況報告及び出納検査に関すること。
		5 消費税の申告に関すること。
		6 水道事業及び下水道事業の決算に関すること。
		7 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。
		8 資金運用に関すること。
		9 固定資産の減価償却に関すること。
		10 たな卸資産の出納に関すること。
		11 固定資産台帳の記録整理に関すること。
	VIII 76.17	12 その他会計に関すること。
	業務係	1 給水開始、中止、廃止等の受付に関すること。
		2 水道メーターの検針、使用水量並びに用途の認定及び水道メー
		ターの検満並びに異常交換に関すること。
		3 水道メーター閉開栓業務に関すること。

4 水道料金、下水道使用料その他主管事務に係る収納金の調定、徴 収、督促、滞納整理及び減免並びに還付等に関すること。 5 給水停止処分に関すること。 6 水道料金、下水道使用料その他主管事務に係る収納金の不納欠損 処分に関すること。 7 水道料金、下水道使用料その他主管事務に係る収納金の口座振替 に関すること。 8 貯蔵水道メーターの管理及び処分に関すること。 9 受益者負担金の賦課収納に関すること。 10 流域下水道の維持管理負担金に関すること。 水道工務課 施設係 1 取水施設及び浄水施設並びに配水施設の運転操作に関すること。 2 浄水場間の施設の稼動調整に関すること。 3 浄水場内の薬品の保管及び適正使用に関すること。 4 浄水場に係る連絡調整に関すること。 5 水道事業の認可申請に関すること。 6 取水計画、受水計画及び配水計画に関すること。 7 取水施設、浄水施設及び配水施設の施設計画に関すること。 8 浄水場の更新工事に関すること。 9 取水施設、浄水施設及び配水施設の維持管理及び保安に関するこ |10||北千葉広域水道企業団等からの受水に関すること。 |11 水質管理及び水質検査に関すること。 |12 無線装置に関すること。 |13 その他施設に関すること。 14 課の庶務に関すること。 1 配水管の拡張工事の計画、設計、施工及び監督に関すること。 工務係 2 配水管の改良工事の計画、設計、施工及び監督に関すること。 3 系統間連絡管工事の計画、設計、施工及び監督に関すること。 4 配水管拡張工事及び改良工事並びに系統間連絡管工事に係る占 用に関すること。 5 配水管及び系統間連絡管の維持管理に関すること。 6 漏水の調査及び防止並びに修繕に関すること。 7 貯蔵材料の管理及び処分に関すること。 8 開発行為及び位置指定道路の指導に関すること。 9 つくばエクスプレス沿線整備区域に係る関係機関との調整に関 すること。 10 つくばエクスプレス沿線整備区域に係る配水管拡張工事の計画、 設計、施工及び監督に関すること。 11 給水装置工事の積算に関すること。 |12 給水装置工事の受付、設計審査、材料検査及び工事検査に関する こと。 |13 給水装置工事に係る占用に関すること。 |14|| 貯水槽水道設置者に対する指導、助言及び勧告に関すること。 |15 給水申込納付金に関すること。 |16 臨時給水に関すること。 |17 給水装置工事事業者の指定、給水装置工事事業者及び給水装置工 事主任技術者の指導監督に関すること。 |18 その他工務に関すること。

下水道建設	計画係	1 公共下水道事業計画の策定、変更及び調査に関すること。
課		2 都市下水路事業計画の策定、変更及び調査に関すること。
		3 つくばエクスプレス沿線整備地区内に係る公共下水道事業に関
		すること。
		4 国及び県の補助金に関すること。
		5 流域下水道の建設負担金に関すること。
		6 開発行為等に伴う下水道の協議に関すること。
		7 区域外流入の協議に関すること。
		8 その他下水道の計画に関すること。
		9 課の庶務に関すること。
	建設係	1 公共下水道汚水工事の設計、建設及び工事監督に関すること。
		2 公共下水道汚水補修工事の設計、建設及び工事監督に関するこ
		と。
		3 公共下水道汚水工事の施工に伴う補償及び復旧に関すること。
		4 その他公共下水道汚水に関すること。
		5 公共下水道雨水工事の設計、建設及び工事監督に関すること。
		6 公共下水道雨水工事の施工に伴う補償及び復旧に関すること。
		7 都市下水路の設計、建設及び工事監督に関すること。
	管理係	1 公共下水道台帳の整備に関すること。
		2 公共下水道の占用、使用許可及び維持管理に関すること。
		3 下水の水質に関すること。
		4 開発行為等の技術的指導及び下水道法(昭和33年法律第79号)
		第 16 条に関すること。
		5 集中浄化槽区域内の汚水管等の協議に関すること。
		6 浄化槽の設置の助成及び管理指導に関すること。
		7 水洗化の普及促進及び指導に関すること。
		8 水洗便所等の改造資金に関すること。
		9 排水設備等工事の確認及び検査に関すること。
		10 下水道指定工事店に関すること。
		11 特定事業場等の指導に関すること。
		12 公共下水道の供用開始に関すること。
		13 流域下水道の維持管理負担金に関すること。
		14 その他受益者負担金に関すること。
		15 その他下水道の管理及び普及に関すること。

(3) 職員構成

管理者

流山市上下水道事業管理者 志村 誠彦 (平成27年4月1日就任)

	11111111	1	2	3	2	2	(3)	6	1	4	2	(3)	10	2	2	2	3	(1)	12	32
性別	¥		-	1	1	2		2		1	2		3		1		1		2	10
性別	眠	1	-	2	1		(3)	4	1	3	3	(3)	7	2	1	2	2	(1)	10	22
別	 	1	2	3	2	2	(3)	6	1	4	2	(3)	10	2	2	2	3	(1)	12	32
	その他の職																			
種	技術職									3	4		7			2	2		7	14
搬	事務觀	1	2	3	2	2	(3)	6	1	1	1	(3)	3	2	2		1	(1)	5	18
	40 益	1	2	3	2	2	(3)	6	1	4	2	(3)	10	2	2	2	3	(1)	12	32
	技術員																			
	事務員																			
-	技師										3		3			3			3	9
•	出事			2	Π	ī		4			ī		1		1		1		2	7
•	土任技師									1			1							-
-	生任主事																			
= (副 出 短						(3)					(3)						(1)		(7)
	生產									2			2			1	1		2	4
-	主任主查																			
-	예長			1	1	1		3		1	1		2		1	1	1		3	8
-	課長補佐		1					1	1				1	1					1	3
	黙പ		1					1	(1)					1					1	2
搬	次長	1																		-
<		/道局		涵	計係	務係	用(参考)	11111111		設 係	務係	用(参考)	구트 무료		理 係	設 係	画 係	用(参考)	+==	計 1 2 3 8
	~	上下水道局		滋	ব্ধ	洲	再任用			施	Н	再任用			管	建	1111111	再任用		√ □ ,
	ш.			数	作呼	*務	點			大洁	₹H	きょう きゅう きゅう きょう きょう しゅん			14	小道	曹語	対課		

- 5 -

ウ 年齢別職員構成

			**************************************	##:					1	半十年		
\ \ \ \ \			小垣	小旭事来					ジャム	小旭事業		
	事務	事務職員	技術職員	職員	<u>√</u> п	수計	事務職員	職員	技術	技術職員	ŲΠ	合計
年齢	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人) 構成比(%)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)
20歲未満					0	00 0					0	00.00
20歳以上25歳未満			2	28.57	2	11.77	1	12.50			1	6.67
25歳以上30歳未満	2	20.00	1	14.29	8	17.65	1	12.50	1	14.29	2	13, 33
30歳以上35歳未満	1	10.00	1	14.29	2	11.77	2	25.00	2	28.57	4	26.67
35歳以上40歳未満			1	14.29	1	88 * 9					0	00.00
40歳以上45歳未満	2	20.00	2	28.57	7	23.53			2	28.57	2	13, 33
45歳以上50歳未満	1	10.00			1	5.88					0	0.00
50歳以上55歳未満	3	30.00			8	17.65	3	37.50	1	14.29	4	26.67
55歳以上60歳未満	1	10.00			1	2.88	1	12.50	1	14.29	2	13,33
60歳以上					0	00.00					0	0.00
岩	10	100.00	7	100.00	11	100.00	8	100.00	<i>L</i>	100.00	15	100.00
平均年齡	43.4歲	4歳	32.7歲	7歳	39.	39.0歳	41.4歳	1歳	40.	40.0歳	40.	40.7歳
前年度平均年齡	43.0歳	0歳	31.	31.4歳	38.	38.2歳	41.0歳)歳	36.	36.6歳	38.	38.8歳

※ 各構成の比率の計は合計と一致しない場合がある。

立 勤続年数別職員構成

4数 事務職員 技術職員 本持術職員 本持術職員 本持術職員 本持化(%) 職員数(人) 構成比(%) 工 20.00 14.29 17.65 2 25.00 3 17.65 2 25.00 3 17.65 2 25.00 3 17.65 2 25.00 3 14.29 3 17.65 2 25.00 3 4 4 5 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	 区分			水道	水道事業					下水	下水道事業		
(職員数人人) 構成比(%) 職員数人人) 職員数人人) 構成比(%) 職員数人人) 構成比(%) 職員数人人) 職員数人人) 職員数人人) 職員数人人) 職員数人人 職員 11.65 に 11.65		事務耶	戦員	技術	職員	Ų□	111111111111111111111111111111111111111	事務.	職員	技術	職員	ŲⅡ	抽
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	年数	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1年未満	1	10.00			1	5.88	1	12.50	2	28.57	3	20.00
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1年以上5年未満	2	50.00	2	71.42	10	58.82	4	50.00	3	42.85	7	46.66
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5年以上10年未満	2	20.00	1	14.29	3	17.65			1	14.29	_	6.67
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	10年以上15年未満	2	20.00	1	14.29	3	17.65	2	25.00			2	13,33
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	15年以上20年未満					0	00.00			1	14.29	_	6.67
10 100.00 7 100.00 7 100.00 7 100.00 7 100.00 7 100.00 7 100.00 15	20年以上25年未満					0	0.00	1	12.50				6.67
10 100.00 7 100.00 8 100.00 7 100.00 15 1 5.5年 5.2年 7.2年 5.0年 5.2年 6.2年 4.3年 4.3年 4.2年 7.5年 4.8年 6.1年	25年以上					0	0.00					0	0.00
5.5年 4.7年 5.2年 7.2年 5.0年 4.3年 4.0年 4.2年 7.5年 4.8年		10	100.00	7	100.00	17	100.00	8	100.00	L	100.00	15	100.00
4.3年 4.0年 4.2年 7.5年 4.8年	平均勤続年数	5, 5	年	4.	7年	5.	2年	7. 2)年) • 9)年	•9	2年
	前年度平均勤続年数	7	年	4. ()年	4.	2年	7.5	年	4. 8	3年	•9]年

※ 各構成の比率の計は合計と一致しない場合がある。

(4)議会議決事項

【水道事業】

議案 番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案 第 45 号	令和 2 年度流山市水道事業会計補正 予算 (第 1 号)	R2. 6. 4	R2. 6.12
議案 第 88 号	令和元年度流山市水道事業会計決算 認定について	R2. 9. 3	R2.10. 6
議案 第 90 号	流山市水道事業及び下水道事業の設 置等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について		R2.10. 6
議案 第 122 号	令和 2 年度流山市水道事業会計補正 予算(第 2 号)	R2.11.26	R2.12.16
議案 第 26 号	令和 3 年度流山市水道事業会計予算	R3. 2.18	R3. 3.22

【下水道事業】

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案 第 89 号	令和元年度流山市下水道事業会計決 算認定について	R2. 9. 3	R2.10. 6
議案 第 90 号	流山市水道事業及び下水道事業の設 置等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について	R2. 9. 3	R2.10. 6
議案 第 123 号	令和 2 年度流山市下水道事業会計補 正予算(第 1 号)	R2.11.26	R2.12.16
議案 第 27 号	令和 3 年度流山市下水道事業会計予算	R3. 2.18	R3. 3.22
議案 第 28 号	令和 2 年度流山市下水道事業会計補 正予算(第 2 号)	R3. 2.18	R3. 3.22

(5)職員に関する事項(上下水道事業管理者及び再任用職員を除く)

職	種		3 年 3 月			2年3月)職員数		増	減(人)
		水道	下水	計	水道	下水	計	水道	下水	計
事	務	10	8	18	10	8	18	0	0	0
技	術	7	7	14	7	8	15	0	△1	△1
合	計	17	15	32	17	16	33	0	△ 1	△1

第2編

水道事業

1 流山市水道事業の経緯

(1)沿革

(流山水道創設及び第1次拡張)

本市の水道事業は、昭和37年1月に、目標年度を昭和41年度とし、計画給水人口7,300人、計画一日最大給水量を1,460立方メートルとする流山水道として創設認可を取得し、昭和38年4月から流山地区に給水を開始した。しかし、人口の急激な増加に伴い、昭和37年12月には、目標年度を昭和41年度、計画給水人口12,000人、計画一日最大給水量を2,400立方メートルとする第1次拡張事業の認可を受けて、昭和38年4月に工事着手し、昭和39年6月に工事が完成して同月から給水を開始した。

(東部水道創設及び流山水道第2次拡張)

昭和42年1月1日市制施行後、主として都内からの人口流入が顕著になり、人口伸び率が約8パーセント、年3,000人ないし4,000人と増加するに至った。そこで、この人口増加に対処するために、まず、常磐線・国道6号線沿いの東部地区を給水区域とし、目標年度を昭和55年度、計画給水人口25,000人、計画一日最大給水量を7,500立方メートルとする東部水道の創設認可を昭和44年3月に取得し、昭和46年4月から給水を開始した。

しかし、給水を開始したものの水質基準に満たないものが一部あり、 滅菌以外の浄水施設が必要となったため、この事業の変更申請を行い、 昭和44年11月に変更認可を受けて、昭和50年3月に工事が完成した。

一方、流山水道では、目標年度を昭和50年度、計画給水人口20,000 人、計画一日最大給水量を6,000立方メートルとする第2次拡張事業を 計画し、昭和45年3月に拡張認可を取得して、昭和45年5月に工事着手 し、昭和48年3月に工事が完成して翌月から給水を開始した。

(江戸川台水道の買収)

江戸川台地区は、昭和30年代に千葉県住宅供給公社によって住宅開発が行われ、水道についても同公社が昭和32年12月に計画給水人口14,000人、計画一日最大給水量 3,780立方メートルとする事業認可を受けて整備し、所有管理していたが、昭和46年7月に流山水道が同公社から江戸川台水道を買収し、給水区域の拡大を図った。

その後、昭和47年3月に、計画一日最大給水量を4,200立方メートル

とする江戸川台水道の第1次拡張事業の認可を取得し、工事を実施した。

(流山市水道事業への統合及び第3次拡張)

昭和49年7月からは、千葉県公害防止条例(当時)により、地盤沈下防止のため地下水採水規制を受けることとなり、これまでの水源である地下水に代わる新たな水源の確保が必要となった。その対応策として、千葉県、松戸市、野田市、習志野市、柏市、八千代市、我孫子市、関宿町(現在は野田市の一部)、沼南町(現在は柏市の一部)及び本市の1県7市2町を構成団体とし、江戸川の表流水を水源として用水供給事業を行う北千葉広域水道企業団が、昭和48年3月に設立された。

これを受けて、地下水及び同企業団からの浄水受水により給水区域の拡大を図るべく、目標年度を昭和55年度、計画給水人口90,000人、計画一日最大給水量を40,500立方メートルとする第3次拡張事業を計画し、昭和49年3月に拡張認可を取得した。

第3次拡張事業は、従来独立して稼動していた流山水道、東部水道及び江戸川台水道をすべて配水管で接続したことにより、東部水道及び江戸川台水道を廃止し、東部水道及び江戸川台水道の給水区域を流山水道の給水区域に編入して、流山市水道事業として一本化し、合理的な運営を図るとともに、武蔵野線開通で人口増加が見込まれる南流山地区への給水を主体とした西平井浄水場を新設するものである。

この事業は、昭和49年4月に工事着手し、昭和55年3月に完成して翌 月から給水を開始した。

また、昭和54年6月には、北千葉広域水道企業団からの浄水受水を開始した。

(第4次拡張)

昭和54年には行政区域内人口が10万人を超え、なおも年々増加する人口に対処するとともに、市全域を給水区域とするため、目標年度を昭和70年度(平成7年度)、計画給水人口132,300人、計画一日最大給水量を41,500立方メートルとする第4次拡張事業を計画した。

この第4次拡張事業は、昭和58年7月に認可を取得し、同月工事に着 手、昭和63年3月に完成し、翌月から給水を開始した。

(第5次拡張)

しかし、昭和61年度には、一日最大給水量が44,093立方メートル(昭

和61年8月31日)と第4次拡張事業の認可数値41,500立方メートルを超える日が出現するようになり、また、昭和60年度には常磐自動車道の開通もあって、更なる人口の増加が見込まれることから、これらを勘案した新たな拡張計画の策定を迫られることとなった。

そこで、目標年度を昭和74年度(平成11年度)とする第5次拡張事業を計画し、昭和63年3月に認可を取得した。

この第5次拡張事業は、計画給水人口147,000人、計画一日最大給水量を55,900立方メートルとする計画で、昭和63年4月に工事着手、平成14年の西平井浄水場配水池築造事業の完成をもって、本拡張事業が完了した。

(第6次拡張)

過去10年間の人口の動向は、実績で7,000人程度(約5パーセント)の伸びがみられ、緩やかな増加傾向にある。一方、都心の秋葉原から本市を経由し、つくば学園都市を結ぶつくばエクスプレスが、平成17年8月に供用開始され、それに伴う沿線整備も、土地区画整理事業により進展している。

これにより、本市の給水人口及び給水量の大幅な増加が見込まれることから、第6次拡張事業として、目標年次を平成22年度、計画給水人口166,500人、計画一日最大給水量を65,700立方メートルとする計画を策定し、平成14年3月29日に認可を取得して、事業を開始した。

その後、平成19年3月12日には、目標年次を平成28年度に変更するとともに、水源地点の一部を変更する第6次拡張変更の認可を千葉県知事から取得した。

更には、平成22年度までの水需要実績に基づき、節水型社会における平成42年度(令和12年度)までの水需要予測を行うとともに、つくばエクスプレス沿線整備事業の進捗等に伴う行政区域内人口の将来推計値を勘案して、新たな目標年度を平成36年度(令和6年度)とし、計画給水人口を182,000人に増加、計画一日最大給水量を58,900立方メートルに改める、「第6次拡張変更の給水人口の増加に伴う届出」を平成24年1月31日に厚生労働大臣に対して行った。

(第 7 次 拡 張)

その後もなお、つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進展による人口増加が見込まれたため、第7次拡張事業として、目標年次を

令和12年度、計画給水人口203,000人とする計画を策定し、令和2年3月31日に認可を取得した。

令和2年度は、給水人口が4,274人増加し、令和2年度末の計画給水人口194,090人に対する給水人口は199,504人となった。

(2) 拡張事業の推移

X X					国					
事業名称	認可等年月日	認可番号等	回續	*	1日最大	11十八二	然	着工年月	竣工年月	事業費
/					給水量	最大給水量	区域面積			
創設	昭和37年1月29日	千葉県指令		~	m ₃	27	km ²			十
(流山水道)		第 265 号	昭和41	7,300	1,460	200	7.20	昭和37.4	昭和38.3	61,300
第1次拡張	昭和37年12月22日	千葉県指令								
(流山水道)		第 3371 号	昭和41	12,000	2,400	200	7.20	昭和38.4	昭和39.6	33,710
創設	昭和44年3月31日	厚生省環								
(東部水道)		第 322 号	昭和55	25,000	7,500	300	5, 29	昭和44.4	昭和47.3	285,000
同上計画変更	昭和4年11月7日	厚生省環								
		第 689 号	昭和55	25,000	7,500	300	5, 29	昭和48.4	昭和50.3	628, 436
第2次拡張	昭和45年3月28日	千葉県指令								
(流山水道)		第 860 号	昭和50	20,000	6,000	300	7.20	昭和45.5	昭和48.3	158, 877
買収	昭和46年7月1日	千葉県指令								
(江戸川台水道)		第 1672 号		14,000	3,780	270	6.02	1		I
第1次拡張	昭和47年3月28日	千葉県指令								
(江戸川台水道)		第 1361 号	昭和49	14,000	4, 200	300	6.02	昭和47.4	昭和49.3	57,000
廃止	昭和49年2月6日	千葉県指令								
(江戸川台水道)		第 476 号			1%	以 一头少 二 叶子二	茶にすばい 今や7 茶に井が当来り 7 イーオク	* 		
廃止	昭和49年3月18日	厚生省環			<u> </u>	日公面に日めては	の一人は一人には、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これ	1.4		
(東部水道)		第 197 号								
第3次拡張	昭和49年3月18日	厚生省環								
		第 198 号	昭和55	90,000	40,500	450	29.76	昭和49.4	昭和55.3	2,746,213
第4次拡張	昭和58年7月21日	厚生省環								
		第 394 号	平成 7	132,300	41,500	314	35.31	昭和58.7	昭和63.3	1,436,408
第5次拡張	昭和63年3月31日	厚生省生衛								
		第 743 号	平成11	147,000	55, 900	380	35.31	昭和63.4	平成14.12	10, 941, 041
第6次拡張	平成14年3月29日	厚生労働省発健								
		第 0329003 号	平成22	166,500	65, 700	395	35.31	平成14.4	I	1
第6次拡張変更	平成19年3月12日	千葉県指令								
		第5号	平成28	166,500	65, 700	395	35.31	平成19.4	1	1
第6次拡張変更	平成24年1月31日	(田圃)	平成36	182,000	58,900	323	35.31	平成24.2		
第7次拡張	令和2年3月31日	厚生労働省発生食0331 第 24 号	今和1.9	203 000	58 900	280	35.31	今和? 4		
		C 17 6K 1000	27412	200,000	000,000	000	10.00	F		

2 令和2年度の事業概要

(1) 総括事項

令和2年度の水道事業は、平成22年度に策定した流山市水道事業基本計画(平成23年度~平成32年度)(以下「基本計画」という。)における「市民への安全な水の安定供給をめざして」を基本方針とし、流山市水道事業に係る認可(以下「第7次拡張認可」という。)及び平成31年4月に改定した流山市水道事業経営戦略(平成28年度~令和9年度)に基づいて事業を実施した。

また、この基本計画が平成32年度(令和2年度)にその計画期間を終了することから、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とした「流山市水道事業基本計画」(水道ビジョン)を策定した。

収入面において、給水収益については本市の人口増加に伴い、給水区域内人口が 2.16 パーセント増加し、年間有収水量が 6.56 パーセント伸びたことにより、前年度に比べ 5.89 パーセント (177,090,678 円(税抜き)) の増となった。給水申込納付金についても、 3.50 パーセント (20,910,000 円(税抜き)) の増額となり、損益では 1,100,002,790 円(税抜き)の利益となった。

水道事業を取り巻く環境としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた緊急事態宣言による在宅勤務や外出自粛により、給水人口の伸び率 2.19 パーセントに対し、年間有収水量の伸び率は 6.56 パーセントと、一人当たりの給水量は大幅に増加(4.05 パーセント)した。

運営面においては、上下水道料金徴収等業務委託、浄水場の運転管理業務及び維持管理等業務委託、給水装置関連及び漏水修理等業務委託について継続して民間に委託し、水道利用者の利便性の向上と効率的な運営に努めた。

なお、上下水道料金徴収等業務委託については、令和2年度で5年間の契約期間が終了することから、令和3年度からの新たな契約受託者を プロポーザルにより決定した。

また、水道事業のPR活動のため、上下水道局で発行している広報紙

についても継続して発行した。

さらに、千葉県南部地域で水道管の漏水事故等が発生したため、千葉県水道災害相互応援協定に基づき、応援職員や給水車を派遣し、給水活動を実施した。

(建設事業)

基本計画及び第7次拡張認可に基づき、既設浄水場の自己水源の改修 を実施したほか、配水管の改良、拡張工事を実施した。

既設浄水場の自己水源の改修については、東部浄水場 3 号井戸及び 5 号井戸の更生工事を実施した。また、新しい水源井として、おおたかの森浄水場に 2 井、西平井浄水場に 1 井の新設井戸の建設を開始したほか、既設浄水場の改修工事として、西平井浄水場の水処理施設更新工事を令和 2・3 年度の継続事業で実施している。

一方、配水施設整備事業は、給水区域の安定した給水と一定の水圧を確保するため、配水管の口径変更と塩化ビニル管等を、地震に強いダクタイル鋳鉄管や水道配水用ポリエチレン管に改良する配水管改良工事22件、延長7,345メートル、越谷流山線バイパス道路整備に伴う配水管切り回し工事1件、延長165メートル、舗装本復旧工事4件、面積3,020平方メートルを実施した。また、未給水区域の解消を図るため、配水管拡張工事2件、延長1,582メートルを実施した。

さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る配水管拡張工事として、木地区、運動公園周辺地区における拡張工事2件、延長1,938メートルを実施し、安心・安全な水の安定供給追求を図った。

(業務の状況)

令和 2 年度末の給水人口は 199,504 人で、前年度に比べ 4,274 人増加 し、給水普及率は 99.61 パーセントとなった。

年間有収水量は 18,780,719 立方メートルとなり、前年度に比べ 1,155,451 立方メートルの増となった。

また、水道料金等の不納欠損金処理は 216件、765,036円 (税込み)

で、前年度に比べ77件の減、金額で91,965円の減となった。

このほか、給水申込納付金の調定状況は、マンション等の建築増加により件数が22件増の2,410件、金額で28,530,800円増の680,350,000円(税込み)となった。

臨時給水については、件数では 219 件減の 637 件、金額で 2,865,853 円減の 35,778,220 円 (税込み)となった。

(経理の状況)

収益的収入は、4,603,651,193 円 (税込み)で、前年度に比べ 276,675,550 円の増収となった。この主な要因は、給水収益の増加によ るものである。

一方、収益的支出は、3,410,552,997円(税込み)で、前年度に比べ449,837,485円の減額となった。この主な要因は、前年度は収益的支出から支払っていた一般会計への納付金を資本的支出から支出することにしたためである。

このような状況の中、令和 2 年度の損益は、税抜きによる収益的収入が 4,216,399,841 円、収益的支出が 3,116,397,051 円で、収入から支出を差し引くと 1,100,002,790 円の純利益を計上することができた。

資本的収入は、918,181,746円(税込み)で、前年度に比べ 559,608,070円の増収となった。その主な要因は、下水道事業会計への貸付金を出資金に切り替えるため貸付金 8 億円の償還を受けたことによるものである。

一方、資本的支出は、3,187,222,969 円(税込み)で、前年度に比べ838,255,505 円の増加となった。その主な要因は、下水道事業会計への出資金 10 億円(うち、貸付金を出資金に切り替えた額 8 億円)と、収益的支出から資本的支出に変更した一般会計への納付金 5 億円の支払いによるものである。

なお、拡張事業費については 89,119,493 円(税込み)で、前年度に比べ 8,453,265 円の減少、つくばエクスプレス沿線整備事業費は 98,642,461 円(税込み)で、前年度に比べ 194,420,669 円の減少となっている。

(2) 工事(税込み)

建設改良費(契約金額1,000万円以上)

合計 267,883,000円

ア 原水及び浄水施設費

合計

72,688,000円

No.	工 事 名	金額(円)	概要	着工日	完成日
1	井戸更生工事	23, 980, 000	東部3号井、東部5号井 改修工事 一式	R2.6.13	R2.10.20
2	おおたかの森浄水場流量計更新工事	14,608,000	ろ過流量計 φ100 3箇所 配水流量計 φ400 1箇所	R2.8.14	R3.3.9
3	おおたかの森浄水場無停電電源装置更 新工事	34, 100, 000	CVCF盤 1機 充電器盤 1機 蓄電池盤 1機	R2.10.17	R3. 3. 18

イ 主要配水管等改良事業費

合計

69,190,000円

N	[0. 工事名	金額(円)	概要	着工日	完成日
	北部地域主要配水管改良工事(R2-2工 区)	69, 190, 000	GX形・K形ダクタイル鋳鉄管 φ150~400 L=420m 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 φ150 L=4m	R2. 8. 12	R2. 12. 22

ウ 老朽管等改良事業費

合計

113,454,000円

No.	工事名	金額(円)	概要	着工日	完成日
1	名都借配水管改良工事	12, 584, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ75 L=280m	R2.6.5	R2.9.11
2	富士見台2丁目配水管改良工事	61,710,000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~100 L=866m	R2.6.4	R3. 2. 19
3	流山8丁目配水管改良工事	27, 885, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~75 L=252m	R2. 8. 13	R3. 3. 16
4	駒木配水管改良工事(その2)	11,275,000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~75 L=89m	R3.1.20	R3. 3. 29

エ 道路工事に伴う配水管移設事業費

合計

12,551,000円

No.	工 事 名	金額(円)	概要	着工日	完成日
	越谷流山線バイパス道路整備に伴う 配水管切り回し工事	12,551,000	水道配水用ポリエチレン管 φ100~150 L=165m	R3.1.21	R3.3.29

拡張工事費(契約金額1,000万円以上)

合計_____ 50,930,000円

配水管拡張事業費

合計

50,930,000円

No.	工 事 名	金額(円)	概要	着工日	完成日
	平方ほか配水管拡張工事(R2-1工区)その2	50, 930, 000	水道配水用ポリエチレン管 ϕ 75~100 L=646m 被覆付水道配水用ポリエチレン管 ϕ 75 L=13m	R2.7.3	R3. 3. 19

建設改良費の繰越事業費(契約金額1,000万円以上)

合計 639,595,000円

No.	工事名	金額(円)	概要	着工日	完成日
1	北部地域主要配水管改良工事(R1-3工 区)	109, 329, 000	GX形ダクタイル鋳鉄管 φ400 L=391m	R1.8.8	R2.6.5
2	東深井配水管改良工事	29, 755, 000	GX形・K形ダクタイル鋳鉄管 φ200 L=190m 水道配水用ポリエチレン管 φ75~100 L=18m	R1.10.31	R2.6.11
3	大畔配水管改良工事	26,510,000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~150 L=640m	R1.8.9	R2.7.13
4	西平井配水管改良工事(R1-2工区)	84, 370, 000	GX形ダクタイル鋳鉄管 φ200 L=518m 水道配水用ポリエチレン管 φ100 L=39m	R2. 2. 14	R3.1.7
5	向小金1丁目配水管改良工事	15, 180, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ100 L=136m	R2. 2. 13	R2.10.9
6	駒木配水管改良工事その2	11,880,000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~150 L=181m	R2. 2. 13	R2.7.17
7	前ケ崎配水管改良工事	63, 492, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~100 L=535m	R2. 2. 13	R2.10.26
8	西深井配水管改良工事(その1)	28, 105, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~100 L=407m	R2. 2. 13	R2.9.8
9	美原3丁目ほか配水管改良工事	63, 734, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~100 L=971m	R2. 1. 23	R2.10.23
10	おおたかの森西四丁目配水管改良工事	14, 784, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~75 L=232m	R2.6.5	R2.11.11
11	おおたかの森東四丁目配水管改良工事	23, 199, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ75~150 L=229m	R2.7.3	R2.12.9
12	長崎1丁目配水管改良工事	19,415,000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~75 L=255m	R2. 2. 13	R2.6.18
13	向小金3丁目配水管改良工事	36,740,000	水道配水用ポリエチレン管 φ50~150 L=462m	R2.7.2	R2.12.25

No.	工 事 名	金額(円)	概要	着工日	完成日
14	平方ほか配水管拡張工事(R1-1工区)	33, 220, 000	水道配水用ポリエチレン管 ϕ 75~100 L=905m 保温付水道配水用ポリエチレン管 ϕ 75~100 L=18m	R1.8.8	R2.7.3
15	木地区水道管拡張工事(RI-1工区)	27, 412, 000	水道配水用ポリエチレン管 φ75 L=837m	R2. 2. 13	R3.3.19
16	運動公園周辺地区配水管拡張工事(RI-2工区)	52, 470, 000	NS形ダクタイル鋳鉄管	R2. 2. 14	R3. 3. 23

3 施 設

(1) 施設概要

ア おおたかの森浄水場

所在地:流山市おおたかの森西一丁目19番地

敷地面積:13,000㎡ 建物延面積:4,470㎡ (庁舎・事務室を含む)

	水	源	地下水・表流水(受水)
		施設能力	26,400㎡/日
	7 13	70 LX 13 LX	(取水地点) (口径) (深度)
	深	流山1号井	流山市加六丁目1539番地 300mm 161m
□	井	流山2号井	流山市西初石5丁目57番地 300mm 160m
取	戸	流山3号井	流山市加三丁目5番地 300mm 161m
水	,	流山4号井	流山市三輪野山1丁目1181番地 300mm 250m
設	取	<i>3</i> .5	(型式) (口径) (揚水量) (揚程) (出力)
	水	流山1号井	水中モーターポンプ 100mm 1.0㎡/分 85m 22.0KW
備	ポ	流山2号井	水中モーターポンプ 100mm 1.0㎡/分 50m 15.0KW
	ン	流山3号井	水中モーターポンプ 100mm 1.0㎡/分 80m 22.0KW
	プ	流山4号井	水中モーターポンプ 100mm 1.0㎡/分 96m 30.0KW
			(管種) (口径) (延長)
導	導	流山1号井	HPPE, DIP 150mm~300mm 210m
水設	水	流山2号井	DIP 150mm 58m
備	管	流山3号井	DIP 200mm 1,267m
		流山4号井	DIP 150mm~300mm 2,173m
	į	善水 井	(構造) (幅) (長さ)(有効水深) (有効容量) (池数)
\.A	1		鉄筋コンクリート造 6.9m×6.0m×2.00m 70㎡ 2池
浄	ろ水ポンプ		(型式) (口径) (吐出量) (揚程) (出力) (台数)
水		23KA (2)	渦巻型 80mm×65mm 1.1㎡/分 20m 7.5KW 4台
設	,	ろ水機	(型式) (処理能力) (基数)
武			圧力式急速型 1,600㎡/日 4基
備			次亜塩素貯槽 有効8.0㎡、2槽 残留塩素計 3台
	次亜	塩素注入設備	
			追加次亜注入機(一軸ねじポンプ、吐出量0.6~12ℓ/時)2台
≖-1	<u>P</u>	記 水 池	(構造) (内径)(有効水深)(有効容量)(池数)
配水			プレストレスト・コンクリート造 37.0m×10.0m 10,500㎡ 1池
水設備	37	t⊤_i19 \	(型式) (口径) (吐出量) (揚程)(出力)(台数)
備		記水ポンプ	両吸込渦巻型 300mm×250mm 7.5 m³/分 40m 75KW 4台
			片吸込渦巻型 125mm×100mm 1.5 m³/分 40m 22KW 2台
その			# 一式、 電気計装設備 一式、 625 K X A 420 X 270 I / H)
の他			625KVA 420V 270L/H) (怯 4 重油 10 000 I) 燃料 小 中
	业	下が計グ ノク	(特A重油 10,000L) 燃料小出槽(特A重油 1,950L)

イ 東部浄水場

所在地:流山市名都借391番地

敷地面積:7,536㎡ 建物延面積:275㎡

	水	源	地下水
	公称	施設能力	8,800㎡/日
			(取水地点) (口径) (深度)
		東部1号井	 流山市名都借433番地の2
	深井戸	東部2号井	流山市松ケ丘5丁目785番地の2 300mm 169m
取	开门	東部3号井	流山市名都借191番地の2 300mm 252m
47		東部4号井	流山市名都借181番地の2 300mm 250m
水		東部5号井	流山市名都借340番地の1 200mm 150m (二重ケーシング)
設			(型式) (口径) (揚水量) (揚程) (出力)
	取	東部1号井	水中モーターポンプ 100mm 1.0㎡/分 50m 15KW
備	水 ポ	東部2号井	水中モーターポンプ 100mm 1.0㎡/分 60m 18.5KW
	かン	東部3号井	水中モーターポンプ 125mm 1.5㎡/分 75m 30KW
	プ	東部4号井	水中モーターポンプ 125mm 1.5㎡/分 75m 30KW
		東部5号井	水中モーターポンプ 100mm 1.0㎡/分 63m 22KW
			(管種) (口径) (延長)
		東部1号井	ダクタイル鋳鉄管 200mm 43m
導		東部2号井	ダクタイル鋳鉄管 250mm 343m
			K形ダクタイル鋳鉄管 250mm 8m
水	導 水		NS形ダクタイル鋳鉄管 250mm 79m
設	管		NS形ダクタイル鋳鉄管 200mm 63m
/==		東部3号井	ダクタイル鋳鉄管 200mm~250mm 479m
備		東部4号井	ダクタイル鋳鉄管 200mm 434m
		東部5号井	ダクタイル鋳鉄管 200mm 241m
			NS形ダクタイル鋳鉄管 200mm 306m
	幫	 水 井	(構造)
浄			鉄筋コンクリート造 8.0m×14.5m× 2.8m 320㎡ 2池
水	7	ろ水ポンプ	(型式) (口径) (吐出量) (揚程) (出力) (台数)
			水中モーターポンプ 100mm 1.33m ² /分 15m 7.5KW 4台
設	7	ろ 水 機	(型式) (処理能力) (基数)
備			圧力式急速ろ過 2,500㎡/日 4基 1 1 1 1 1 1 1 1 1
I/H3	次亜	塩素注入設備	次亜塩素貯槽 有効3.5㎡、3槽 残留塩素計2台
			可変流量制御電磁ポンプ内蔵型(吐出量21.6ℓ/時) 4台
配	酉	記 水 池	(構造) (幅)(長さ)(有効水深)(有効容量)(池数)
水			鉄筋コンクリート造 17.8m×17.8m×4.0m 1,200㎡ 2池
設備	西	記水ポンプ	(型式) (口径) (吐出量) (揚程) (出力) (台数)
そ		Ma / /	水中モーターポンプ
の			0KVA 200V 60L/H)、燃料タンク(軽油990L)
他	電	気計装設備 -	⁻ 工

ウ 江戸川台浄水場

所在地:流山市江戸川台東1丁目255番地の1 敷地面積:5,096㎡ 建物延面積:691㎡

	水	源	地下水・表流水(受水)
	-		25,600㎡/日
	A 10	WEIX HE/J	(取水地点) (口径) (深度)
	अगर	江戸川台2号井	流山市江戸川台東1丁目272番地 300mm 152m
	深井	江戸川台3号井	流山市江戸川台東1丁目288番地 300mm 251m
	戸	江戸川台4号井	流山市江戸川台東1丁目255番地の1 300mm 247m
取		江戸川台5号井	流山市江戸川台東4丁目120番地の1 300mm 155m
水施		在戶川百0万升	
設	取	ᄁᄛᄱᄼᅁᄝᄮ	
	水ポ	江戸川台2号井	
	ポン	江戸川台3号井	水中モーターポンプ 125mm 2.0㎡/分 61m 37KW
	プ	江戸川台4号井	水中モーターポンプ 125mm 2.0㎡/分 60m 37KW
		江戸川台5号井	水中モーターポンプ 125mm 2.0㎡/分 55m 30KW
			(管種) (口径) (延長)
	浅	江戸川台2号井	NS形ダクタイル鋳鉄管 200mm 212m
導	導水	江戸川台3号井	NS形ダクタイル鋳鉄管 200mm 318m
水	管		ダクタイル鋳鉄管 200mm 183m
設備		江戸川台4号井	ダクタイル鋳鉄管 200mm 40m
1/用		江戸川台5号井	NS形ダクタイル鋳鉄管 200mm 373m
			NS形ダクタイル鋳鉄管 250mm 398m
			ダクタイル鋳鉄管 250mm 665m
	3	着 水 井	(構造) (幅) (長さ)(有効水深) (有効容量) (池数)
浄		目 小 开	鉄筋コンクリート造 10.2m×14.4m×2.2m 320㎡ 1池
水		ろ水ポンプ	(型式) (口径) (吐出量) (揚程) (出力) (台数)
11/	<i>'</i>	つかがくノ	渦巻型 80mm×65mm 1.12㎡/分 20m 5.5KW 4台
設			(型式) (処理能力) (基数)
備	,	ろ水機	圧力式急速型 2,400㎡/日 2基
1/用			圧力式急速型 2,500㎡/日 2基
	\h-T-	t 上 本 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	次亜塩素貯槽 有効6.0㎡、2槽 残留塩素計 4台
		塩素注入設備	可変流量制御電磁ポンプ内蔵型(吐出量45.0ℓ/時・45.0ℓ/時・6.0ℓ/時)各2台
			(構造) (内径)(有効水深) (有効容量)(池数)
配	3	#T _la 3/la	プレストレスト・コンクリート造 24.0m×11.1m 5,000㎡ 1池
水	ľ	配 水 池	(構造) (長径)(短径)(有効水深)(有効容量)(池数)
設備			プレストレスト・コンクリート造小判型 29.4m×15.4m×12.9m 5,000㎡ 1池
I/m			(型式) (口径) (吐出量) (揚程) (出力) (台数)
		配水ポンプ	うず巻型 250mm×200mm 8.03ml/分 30m 55KW 4台
そ	非		75KVA 420V 220L/H)
の			(特A重油 1,900L) 燃料小出槽 (特A重油 1,950L)
他		- 1 MM - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2	
	P		

エ 西平井浄水場

所在地:流山市西平井一丁目25番地の1 敷地面積:7,702㎡ 建物延面積:541㎡

	水	源	表流水(受水) ・地下水 (予備)
	公称	施設能力	28,800㎡/日
取	深		(取水地点) (口径) (深度)
	井	西平井1号井	流山市大字西平井1490番地 300mm 251m
水	戸	西平井2号井	流山市大字西平井1490番地 300mm 190m
設	取水		(型式) (口径) (揚水量) (揚程) (出力)
/	ポ	西平井1号井	水中モーターポンプ 150mm 2.0㎡/分 73m 37.0KW
備	ンプ	西平井2号井	水中モーターポンプ 100mm 2.0㎡/分 73m 37.0KW
導	導		(管種) (口径) (延長)
水設	水	西平井1号井	ダクタイル鋳鉄管 200mm 3m
設 備	管	西平井2号井	ダクタイル鋳鉄管 200mm 147m
	3	着 水 井	(構造) (幅)(長さ)(有効水深)(有効容量) (池数)
浄			鉄筋コンクリート造 6.0m×8.75m×3.7m 190㎡ 1池
		ろ水ポンプ	(型式) (口径) (吐出量) (揚程) (出力) (台数)
水	·	J/(412)	水中モーターポンプ 200mm 2.0㎡/分 28m 22KW 2台
設		ろ水機	(型式) (処理能力) (基数)
備			圧力式急速型 2,880㎡/日 2基
1/用	次田	塩素注入設備	次亜塩素貯槽 有効4.5㎡、2槽 残留塩素計 1台
	八山	一年代エノベル	可変流量制御電磁ポンプ内蔵型(吐出量 7.8ℓ/時・31.2ℓ/時) 各2台
			(構造) (内径) (有効水深) (有効容量)(池数)
配水	配水池		プレストレスト・コンクリート造 30.0m×10.0m 7,000㎡ 1池
設			プレストレスト・コンクリート造 36.0m×10.0m 10,000㎡ 1池
備	 配水ポンプ		(型式) (口径) (吐出量) (揚程) (出力) (台数)
	-	11/1/1/2	うず巻型 250mm×200mm 7.2㎡/分 43m 75KW 5台
そ	非	常用発電機(62	25KVA 420V 270L/H)
の #h			(特A重油 3,000L) 燃料小出槽 (特A重油 1,950L)
他	電	気計装設備 -	-式

(2)配水管布設状況

管種	ダク	フタイル鋳銀 (DIP)	 扶管	硬質	塩化ビニー (VP)	ル管	石	綿セメント (ACP)	管
	布設延長	対前年度	対総延長	布設延長	対前年度	対総延長	布設延長	対前年度	対総延長
口径	小	増減	比 率(%)	和政处政	増 減	比 率(%)	11000000000000000000000000000000000000	増減	比 率(%)
40mm	0.00	0.00	0.00	2,872.20	△ 99.30	1.50	0.00	0.00	0.00
50mm	0.00	0.00	0.00	22,063.51	△ 924.60	11.53	483.54	0.00	13.54
65mm	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
75mm	56, 436. 49	△ 42.90	22.70	104, 236. 14	△ 2,350.10	54.48	1,649.82	0.00	46.19
80mm	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
100mm	44, 347. 48	△ 127.00	17.84	59,007.94	△ 815.70	30.84	606.54	0.00	16.98
125mm	0.00	0.00	0.00	189.20	0.00	0.10	666.21	0.00	18.65
150mm	55, 924. 14	△ 297.70	22.50	2,957.98	0.00	1.55	0.00	0.00	0.00
200mm	44,649.19	437.90	17.96	3.90	3.90	0.00	165.66	0.00	4.64
250mm	6,514.14	0.00	2.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
300mm	15,933.50	0.80	6.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
350mm	1,774.00	0.00	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
400mm	19,567.20	482.70	7.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
450mm	756.00	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
500mm	9.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
600mm	1,908.50	64.70	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
800mm	693.70	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
900mm	72.40	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合 計	248, 585. 84	518.50	100.00	191, 330. 87	△ 4,185.80	100.00	3,571.77	0.00	100.00
管種別構成比率(%)		35.80			27.56			0.52	

令和2年度末現在(単位:m)

硬質塩化ビ	ニールライ (SP)	ニング鋼管	ス	テンレス鋼 (SUS)	管	水道配力	水用ポリエチ (HPPE)	ンン管	17年4千人	R 現在(単位 合計	<u>. • 111)</u>
∕ ∵≅nz∡ E	対前年度	対総延長	大 凯江 目	対前年度	対総延長	布設延長	対前年度	対総延長	布設延長	対前年度	対総延長
布設延長	増 減	比 率(%)	布設延長	増 減	比 率(%)	中 政延长	増 減	比 率(%)	中政延安	増 減	比 率(%)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,872.20	△ 99.30	0.41
17.30	0.00	1.73	0.00	0.00	0.00	13,526.30	1,218.00	5.43	36,090.65	293.40	5.20
25.00	0.00	2.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.00	0.00	0.00
18.82	0.00	1.88	18.10	0.00	2.53	122,843.30	6,123.70	49.31	285, 202. 67	3,730.70	41.07
0.00	0.00	0.00	17.60	0.00	2.46	0.00	0.00	0.00	17.60	0.00	0.04
941.10	△ 490.70	93.90	28.20	0.00	3.95	67,823.00	2,780.20	27.22	172, 754. 26	1,346.80	24.88
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	855.41	0.00	0.12
0.00	0.00	0.00	312.60	0.00	43.75	44,889.30	841.20	18.02	104,084.02	543.50	14.99
0.00	0.00	0.00	111.50	0.00	15.61	44.60	0.00	0.02	44, 974. 85	441.80	6.47
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6,514.14	0.00	0.94
0.00	0.00	0.00	21.00	0.00	2.94	0.00	0.00	0.00	15,954.50	0.80	2.30
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,774.00	0.00	0.25
0.00	0.00	0.00	205.50	0.00	28.76	0.00	0.00	0.00	19,772.70	482.70	2.84
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	756.00	0.00	0.11
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.10	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,908.50	64.70	0.27
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	693.70	0.00	0.10
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	72.40	0.00	0.01
1,002.22	△ 490.70	100.00	714.50	0.00	100.00	249, 126. 50	10,963.10	100.00	694, 331. 70	6,805.10	100.00
	0.14			0.10			35.88			100.00	

4 業 務 (1) 業務量の推移 R

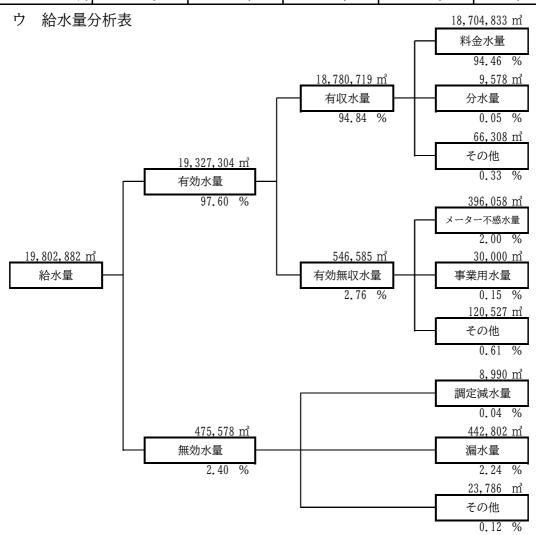
	% 然 大 区 は							十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	し 口 対 立	□ 1 1	H 1 Y 1
	万人口	給水人口	給水栓数	普及率	給水量	有収水量	有収率	給水量	給水量	最大給水量	平均給水量
年度	A (X)	B (人)	(棒)	B/A(%)	C (m)	D (m³)	D/C(%)	(m³)	(m ³)	(1)	(1)
平成元	137,804	128,442	40,138	93.2	14,924,350	13, 575, 969	91.0	49,014	40,888	382	318
2	140,155		41,557	93.2	15, 455, 037	13,997,213	9.06	50, 558	42,343	387	324
8	142,460	132, 972	42,804	93.3	16,019,488	14, 513, 657	9.06	52, 204	43,769	392	329
7	144,821		43,886	93.1	16, 341, 793	14, 799, 068	9.06	52, 526	44,772	389	332
9	145,689	135,961	47,060	93.3	16, 305, 000	14,967,205	91.8	53, 578	44,671	394	329
9	145,854		48,011	93.4	16, 595, 517	15, 127, 561	91.2	52, 373	45, 467	385	334
L	145,672		48,789	93.6	16, 936, 210	15, 211, 401	83.8	55, 258	46,274	405	339
8	146,406		49,936	93.7	16,803,617	15, 186, 579	90.4	54, 224	46,037	395	336
6	147,577		50,825	93.8	16, 320, 035	15, 252, 125	93.5	52,922	44,712	382	323
10	148,947		52,049	93.9	16, 299, 248	15, 231, 118	93.5	53,009	44,655	379	319
11	150,065	140,980	53,230	93.9	16,683,997	15, 402, 712	92.3	54, 105	45,585	384	323
12	149,651		54,371	93.9	16,888,361	15, 522, 786	91.9	52,973	46,269	377	329
13	150,625		55,304	94.0	16,685,020	15, 424, 907	92.5	53,642	45,712	379	323
14	150,942	141,977	56,238	94. 1	16,696,398	15, 396, 590	92.2	52, 527	45,744	370	322
12	151,061	142, 171	57, 107	94. 1	16,034,255	15, 153, 603	94.5	50,041	43,809	352	308
16	151,259	142, 513	57,822	94.2	15,880,626	15, 281, 332	96.2	49,366	43,509	346	305
17	153,003	144,399	58,858	94.4	15, 763, 767	15, 284, 583	97.0	48,977	43, 188	339	299
18	154,359	149,347	60,513	96.8	16, 549, 629	15, 558, 313	94.0	52,348	45,341	351	304
19	156,327	153,927	61,715	98.5	16,657,320	15,714,992	94.3	51, 170	45,512	332	296
20	158,750		63,612	98.5	16, 722, 650	15, 765, 155	94.3	52,090	45,815	333	293
21	161,651		65, 151	98.5	16,846,880	15, 786, 822	93.7	52, 140	46, 156	327	290
22	164,946		67,498	98.5	17, 294, 142	16,052,965	92.8	53,410	47,381	329	292
23	166,359		68,780	98.6	17, 139, 440	15, 907, 434	92.8	52,800	46,829	322	286
24	167,535	165, 162	69,771	98.6	17, 014, 863	15,849,133	93.1	52,930	46,616	320	282
25	169,643	167,333	70,987	98.6	16, 704, 819	15,909,936	95.2	51, 531	45, 767	308	274
26	172, 599	170,268	72,857	98.7	16,881,419	15,879,000	94.1	51,436	46,250	302	272
27	176,612	174,312	74,778	98.7	17, 076, 473	16, 159, 077	94.6	51,736	46,657	297	268
28	181,098	178,817	77, 165	98.7	17, 315, 032	16, 468, 423	95.1	52, 719	47,438	295	265
29	186, 241	183,988	79, 531	98.8	17,831,585	16,882,193	94.7	53,300	48,852	290	265
30	190,744	189,943	82, 129	99.6	18, 225, 005	17, 271, 280	94.8	54,778	49,932	288	263
令和元	196,031	195, 230	84,764	99.6	18, 674, 642	17,625,268	94.4	56,344	51,024	289	261
2	200,280	199, 504	87, 282	93.6	19, 802, 882	18, 780, 719	94.8	62,051	54,254	311	272

(2) 浄水場別取水量・受水量及び給水量ア 取水量・受水量

	#6	おおたかの森浄水場	滑	東部浄水場		江戸川台浄水場			西平井浄水場		∢□	, iliu	1- 10-11-11
	松	訊	1111111	地下水	松	京	1111111	长	記	1111111	松	京尺	1111111
年度・月	地下水(㎡)	受水(㎡)	(m)	(m)	地下水(㎡)	受水(㎡)	(m³)	地下水(㎡)	受水(㎡)	(m³)	地下水(㎡)	受水(㎡)	(m³)
平成28年度	788,528	3, 541, 648	4,330,176	1, 182, 396	1, 218, 437	4,084,018	5, 302, 455	ı	6,873,585	6,873,585	3, 189, 361	14, 499, 251	17,688,612
平成29年度	892,388	3,693,327	4, 585, 715	1,264,960	675, 757	4,864,802	5, 540, 559	ı	6,843,311	6,843,311	2,833,105	15, 401, 440	18, 234, 545
平成30年度	917,665	4,010,286	4,927,951	1,127,049	1,251,688	4, 242, 087	5, 493, 775	ı	7,048,170	7,048,170	3, 296, 402	15,300,543	18, 596, 945
令和元年度	909,551	4,524,976	5, 434, 527	1,075,898	1,565,527	3, 913, 817	5, 479, 344	ı	7,072,686	7,072,686	3,550,976	15, 511, 479	19, 062, 455
令和2年度	779,641	5,902,755	6,682,396	1, 134, 492	1, 245, 889	3, 916, 201	5, 162, 090	592, 529	6, 561, 494	7, 154, 023	3, 752, 551	16,380,450	20, 133, 001
令和2年 4月	67,306	458, 555	525, 861	88, 199	74,720	341,539	416,259	51,541	545,356	596,897	281,766	1,345,450	1,627,216
5 月	68,423	478,889	547, 312	89, 433	91,506	349,880	441,386	46,490	563,510	610,000	292,852	1,392,279	1,688,131
日 9	64,970	465,407	530, 377	82,302	84,617	337,442	422,059	47,302	542,840	590, 142	279, 191	1,345,689	1,624,880
日 1	62,589	477,966	540,555	83, 240	73, 689	371,606	445,295	50,896	538,607	589, 503	270,414	1,388,179	1,658,593
8 月	67, 141	515,352	582, 493	84, 782	135, 748	329, 974	465,722	58,751	547,943	606,694	346,422	1, 393, 269	1, 739, 691
目 6	62,233	494,766	556,999	85, 194	108 '06	317, 538	408,339	45,547	533, 371	578,918	283,775	1,345,675	1,629,450
10 月	63,707	509,424	573, 131	102, 517	102, 177	324,997	427,174	48,899	556, 448	605,347	317,300	1,390,869	1,708,169
11 月	63,959	496,535	560, 494	103, 141	108, 232	308, 456	416,688	42,779	542, 441	585,220	318,111	1,347,432	1,665,543
12 月	67,818	520,186	588,004	105, 781	142, 915	303, 319	446,234	50,773	569,698	620,471	367,287	1, 393, 203	1, 760, 490
令和3年 1月	66,980	513,395	580,375	112, 197	123, 997	318,774	442,771	51,615	560,437	612,052	354,789	1,392,606	1, 747, 395
2 月	58,955	461,389	520,344	98, 412	105, 126	290,688	395,814	49,300	503,452	552,752	311,793	1, 255, 529	1, 567, 322
3 月	65, 560	510,891	576, 451	99, 294	112, 361	321,988	434,349	48,636	557, 391	606,027	325,851	1,390,270	1, 716, 121

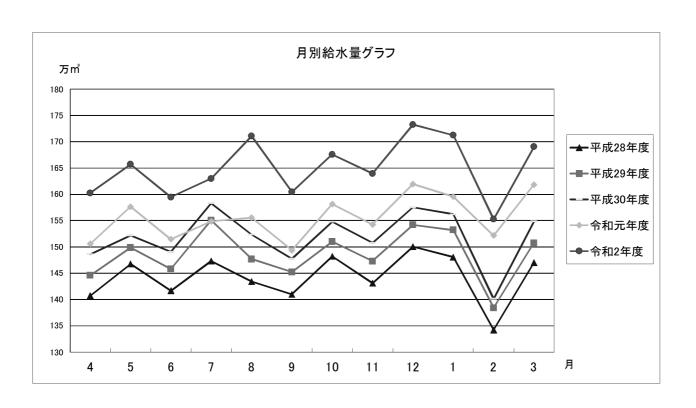
イ	給水量
	//U//\

分	<u>r小里</u> 区	おおたかの森 浄水場	東部 浄水場	江戸川台 浄水場	西平井 浄水場	合 計
年度・月		(m³)	(m³)	(m³)	(m³)	(m³)
平成28	年度	4, 222, 140	1, 127, 640	5, 022, 122	6,943,130	17, 315, 032
平成29	年度	4,466,070	1,146,070	5,039,450	7, 179, 995	17,831,585
平成30	年度	4,796,880	1,045,150	5, 144, 212	7, 238, 763	18, 225, 005
令和元	年度	5, 269, 790	1,002,150	4,969,618	7, 433, 084	18,674,642
令和2年	丰度	6,595,496	1,067,230	5,090,652	7,049,504	19,802,882
令和2年	4月	518, 140	82,970	409,968	591,497	1,602,575
	5月	536,960	84, 180	436, 192	599,692	1,657,024
	6月	520, 240	76,750	416,474	581,193	1,594,657
	7月	531,360	78,040	440,334	580, 203	1,629,937
	8月	573,590	79,950	458,515	598,730	1,710,785
	9月	549,300	80,730	402,879	571,489	1,604,398
	10 月	564,330	96,290	421,500	593, 795	1,675,915
	11月	552,920	97,550	411,043	577,880	1,639,393
	12 月	580,700	99,480	439,691	612,715	1,732,586
令和3年	1月	569,900	105,510	434,034	602,905	1,712,349
	2月	523,046	92,750	392, 333	544,620	1,552,749
	3月	575,010	93,030	427,689	594, 785	1,690,514



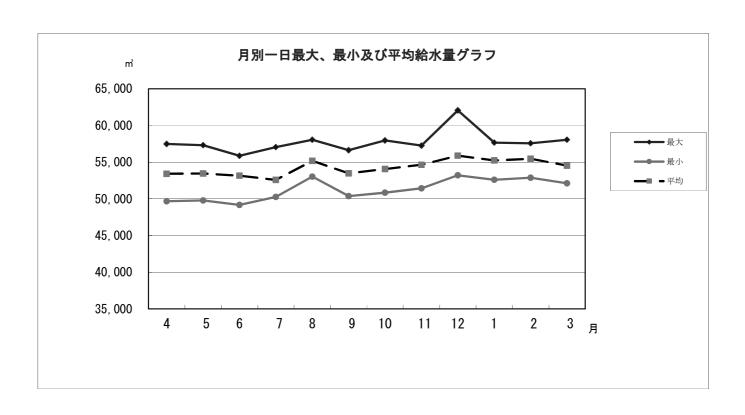
(3) 月別給水量

給水量	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	すう勢	(平成28年	度を100と	:する)
月	(m³)	(m³)	(m³)	(m³)	(m³)	H29	H30	R1	R2
	4 1,407,168	1,446,132	1,486,106	1,505,975	1,602,575	102.8	105.6	107.0	113.9
	5 1,467,508	1,498,515	1,521,804	1,576,624	1,657,024	102.1	103.7	107.4	112.9
	6 1,416,683	1,458,058	1,490,467	1,514,690	1,594,657	102.9	105.2	106.9	112.6
	7 1,473,211	1,550,723	1,582,996	1,548,637	1,629,937	105.3	107.5	105.1	110.6
	8 1,434,245	1,476,830	1,523,325	1,555,643	1,710,785	103.0	106.2	108.5	119.3
	9 1,409,893	1,452,390	1, 477, 449	1,493,689	1,604,398	103.0	104.8	105.9	113.8
1	0 1,481,952	1,509,980	1,547,742	1,581,533	1,675,915	101.9	104.4	106.7	113.1
1	1,431,051	1,473,170	1,507,613	1,542,655	1,639,393	102.9	105.4	107.8	114.6
1	2 1,500,531	1,541,940	1, 575, 295	1,619,362	1,732,586	102.8	105.0	107.9	115.5
	1,480,495	1,532,155	1,562,127	1,595,686	1,712,349	103.5	105.5	107.8	115.7
	2 1,342,102	1,384,195	1,401,399	1,521,816	1,552,749	103.1	104.4	113.4	115.7
	3 1,470,193	1,507,497	1,548,682	1,618,332	1,690,514	102.5	105.3	110.1	115.0
合 計	17, 315, 032	17,831,585	18, 225, 005	18, 674, 642	19, 802, 882	103.0	105.3	107.9	114.4



(4) 一日最大及び一日最小給水量

区分		給水量	一日		一日	最小	一日平均	一人一日	当たり給	水量(ℓ)
年度・年・月		(m^3)	月日	水量(㎡)	月日	水量(㎡)	給水量(㎡)	最 大	最 小	平均
平成28年度		17, 315, 032	12月31日	52,719	8月22日	43,310	47,438	295	242	265
平成29年度		17,831,585	7月2日	53,300	8月14日	43, 150	48,854	290	235	266
平成30年度		18, 225, 005	7月1日	54,778	6月15日	45, 152	49,932	288	238	263
令和元年度		18,674,642	12月31日	56,309	4月30日	45,280	51,024	296	238	269
令和2年度		19,802,882	12月31日	62,051	6月19日	49, 173	54, 254	327	259	286
令和2年	4	1,602,575	4月19日	57,475	4月18日	49,665	53,419	303	261	281
	5	1,657,024	5月17日	57,301	5月16日	49,786	53, 452	302	262	281
	6	1,594,657	6月10日	55,865	6月19日	49, 173	53, 155	294	259	280
	7	1,629,937	7月19日	57,045	7月23日	50, 263	52,579	300	265	277
	8	1,710,785	8月2日	58,050	8月13日	53,031	55, 187	306	279	291
	9	1,604,398	9月22日	56,627	9月20日	50,376	53,480	298	265	282
	10	1,675,915	10月18日	57,962	10月23日	50,840	54,062	305	268	285
	11	1,639,393	11月15日	57, 247	11月20日	51,429	54,646	301	271	288
	12	1,732,586	12月31日	62,051	12月5日	53, 212	55,890	327	280	294
令和3年	1	1,712,349	1月31日	57,667	1月1日	52,598	55, 237	304	277	291
	2	1,552,749	2月7日	57,565	2月26日	52,871	55, 455	303	278	292
	3	1,690,514	3月14日	58,047	3月13日	52,110	54,533	306	274	287



(5)受水状況

年度・月	給水量 (㎡)	受水量 (㎡)	受水率(%)
平成28年度	17, 315, 032	14, 499, 251	83.7
平成29年度	17,831,585	15, 401, 440	86.4
平成30年度	18, 225, 005	15, 300, 543	84.0
令和元年度	18,674,642	15, 511, 479	83.1
令和2年度	19, 802, 882	16, 380, 450	82.7
令和2年 4 月	1,602,575	1, 345, 450	84.0
5 月	1,657,024	1, 392, 279	84.0
6 月	1,594,657	1, 345, 689	84.4
7 月	1,629,937	1, 388, 179	85.2
8 月	1,710,785	1, 393, 269	81.4
9 月	1,604,398	1, 345, 675	83.9
10 月	1,675,915	1, 390, 869	83.0
11 月	1,639,393	1, 347, 432	82.2
12 月	1, 732, 586	1, 393, 203	80.4
令和3年 1 月	1,712,349	1, 392, 606	81.3
2 月	1, 552, 749	1, 255, 529	80.9
3 月	1,690,514	1, 390, 270	82.2

(6)給水装置工事実施状況

		-1. \H	=1. \th							
区分		改造	改造			1.1.1				
	新 設	(口径変	(口径変	修	繕	撤	去	その他	合	計
月		更なし)	更あり)							
平成28年度	2,742	397	108		2		4	482		3,735
平成29年度	2,712	451	89		1		5	417		3,675
平成30年度	2,882	418	108				5	588		4,001
令和元年度	2,302	422	100				1	549		3,394
令和2年度	2,310	405	77		0		4	510		3,306
令和2年4月	238	71	7					11		327
5月	124	24	6					63		217
6 月	121	28	2					46		197
7月	232		10					54		296
8月	75	25	2					27		$\frac{1}{2}$ 9
9月	135	53	9				2	37		236
10月	209	29	4				_	49		291
11月	162	52	14					44		272
12月	136	18	8				2	51		215
令和3年1月	536	30	7				۷	51 38		611
2月	176	39	5					54		274
		39	ວ					26		2/4
3 月	166	36	3					36		241

(単位:件)

(単位:個)

(7)年度別水道メーター新設状況

年度 口径	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
13mm	374	407	493	597 1 714	418	326
20mm 25mm	2, 207 25	2, 294 26	2120 45	1,714 41	1,823 40	1,911 47
40mm	8	11	14	16	19	18
50mm 75mm	3	3	8	7	2	7
100mm		1	Ü	5		1
計	2,617	2,742	2,686	2,378	2,302	2,310

5 料金等(含臨時給水) (1)月別使用料金(税込み)

年度		令和2年	芟	令和元年度				
月月	件 (件)	使 用 水 量 (㎡)	金 額 (円)	件 (件)	使用水量(㎡)	金 (円)		
4	48, 298	1,689,716	315, 316, 647	46, 288	1,566,855	287, 532, 672		
5	38, 117	1, 335, 385	247, 865, 935	37,546	1,281,050	233, 973, 914		
6	48,513	1,774,578	329, 265, 968	46,579	1,674,326	307,093,959		
7	38, 294	1,333,490	246, 358, 747	37,527	1, 273, 962	236, 517, 015		
8	48,696	1,787,910	335, 218, 758	47,016	1,636,166	301, 087, 784		
9	38,403	1,356,603	251, 232, 256	37,658	1,296,880	241, 515, 544		
10	49,005	1,788,279	336, 099, 737	47, 385	1,628,604	300, 577, 382		
11	38,501	1, 357, 489	254, 100, 857	37,667	1, 294, 538	238, 925, 260		
12	49,210	1,789,168	336, 231, 775	47,603	1,693,627	316, 852, 348		
1	38,595	1,383,541	256, 913, 679	37,706	1,291,606	240, 513, 904		
2	49, 293	1,860,787	348, 750, 900	47,942	1,728,103	326, 853, 240		
3	39,401	1, 323, 773	244, 100, 819	38, 433	1, 259, 551	235, 314, 419		
合 計	524, 326	18, 780, 719	3,501,456,078	509, 350	17, 625, 268	3, 266, 757, 441		
月平均	43,694	1,565,060	291, 788, 007	42, 446	1,468,772	272, 229, 787		

(2) 口径別使用料金(税込み)

	工加及加水			1		
年度		令和2年	艾		<u>令和元年</u>	
	件数	使用水量	金額		使用水量	金類、
口径	(件)	(m³)	(円)	(件)	(m³)	(円)
13mm	116,074	2, 212, 449	371, 754, 415	114,840	2, 125, 717	357, 443, 212
20mm	397,874	14,668,955	2,551,015,866	384, 474	13, 478, 875	2, 307, 627, 024
25mm	7,441	544,687	127, 873, 715	7,238	560,424	133, 369, 220
40mm	2,083	680,553	224, 172, 809	1,947	709, 957	228, 656, 922
50mm	543	344, 183	121, 645, 819	514	370,851	124, 398, 487
75mm	305	324, 370	102, 618, 774	331	373, 354	112,820,292
100mm	6	5,522	2,374,680	6	6,090	2, 442, 284
合 計	524, 326	18, 780, 719	3,501,456,078	509,350	17,625,268	3, 266, 757, 441
(消費税)			(318, 282, 279)			(260, 837, 239)
平 均 (2か月 当たり)	87,388	3, 130, 120	583, 576, 013	84, 892	2, 937, 545	544, 459, 574

(3) 料金納入区分別件数

上 中	令和2年	支	令和元年度		
年度 納入区分	件数	構成比	件数	構成比	
和人区分 ————————————————————————————————————	(件)	(%)	(件)	(%)	
金融機関窓口納付	10, 168	1.94	11,703	2.30	
コンビニ納付	96, 938	18.53	95, 353	18.78	
口 座 振 替	357,031	68.27	351,679	69.24	
クレジットカード	58,869	11.26	49, 161	9.68	
合 計	523,006	100.00	507,896	100.00	

(4)水道料金

令和3年3月31日現在

一般用 (1月分) (税込み)

/3// /3	(1/1/1/1/					(1)11/2-11/1
給水管 の口径	基本	料 金	従	量	料	金
13mm		1,056.00円			までの1㎡について までの1㎡について	15.40円 154.00円
20mm	使用水量 5 ㎡まで	1,463.00円	使用水量20㎡ 使用水量50㎡		までの1㎡について こついて	220.00円 341.00円
25mm		1,804.00円				
40mm		5,065.50円	使用水量 lm³	から 20m a	までの1㎡について	154.00円
50mm		8,607.50円	使用水量20㎡	を超え 50㎡ 3	までの1㎡について	220.00円
75mm		18,711.00円	使用水量50㎡	を超えるlmに	こついて	341.00円
その他 のもの	管理者が別	川に定める額				

臨時用	(1月分)			(税込み)
給水管 の口径	基本料金	従	三 王	料 金
13mm	1,056.00円			
20mm	1,463.00円			
25mm	1,804.00円			
40mm	5,065.50円	使用水量l㎡につい	て 495.00円	
50mm	8,607.50円			
75mm	18,711.00円			
その他 のもの	管理者が別に定める額			

特別給水契約制度

年度	契約件数
平成29年度	40
平成30年度	10
令和元年度	4
令和2年度	1
合計契約件数	55

(5) 手数料

令和3年3月31日現在

区分	手	数	料
設計審査手数料	1件につき3,500円		
工事検査手数料	1件につき2,000円		
消防演習立会手 数料	1件につき400円。ただし、	勤務時間外の立会いの	場合は、5割増しとする。
指定給水装置工 事事業者登録手 数料	1件につき30,000円		
指定給水装置工 事事業者更新手 数料	1件につき10,000円		
各種証明手数料	1件につき200円		

(6) 給水申込納付金の変遷

口径	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm
\$51.4.1	30	60	165		管理	里者が別に	定める額	
S55.7.1	120	160	330		管理	里者が別に	定める額	
\$60.4.1	120	*1) 270	440	1,350	2,000	5,000	管理者が定る	める額
\$63.4.1	120	270	440	1,350	2,000	5,000	管理者が定る	める額
H18.1.23	120	270	440	1,350	2,000	5,000	*2)11,500	*2)33,700

(単位:千円、税抜き)

^{*1)} ただし、昭和60年1月1日現在において流山市内に居住し、かつ、住民基本台帳に 記録され、又は外国人登録原票に登録されている者 180,000円

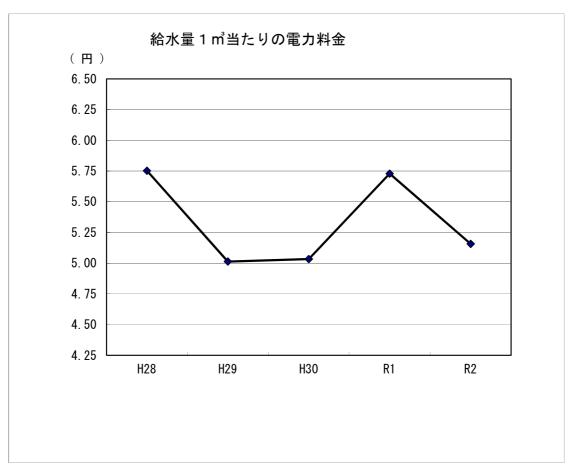
^{*2)} 給水条例第32条第3項の規定による別表第3のうち、管理者が定める額について、 給水条例施行規程において定めた。

6 動力 (1)電力使用量及び電力料金

区分	おおたか	おおたかの森浄水場	東部湾	净水場	江戸川店	江戸川台浄水場	田平井	西平井浄水場	∢□	1111111
	電力使用量	電力料金								
年度・月	(KWH)	(田)	(KWH)	(田)	(KWH)	(田)	(KWH)	(円)	(KWH)	(田)
平成28年度	1, 185, 931	19, 764, 155	1, 207, 359	19, 591, 805	1, 540, 774	25, 182, 516	1, 331, 793	22, 253, 825	5, 125, 894	98, 218, 771
平成29年度	1, 225, 980	22, 366, 736	1, 268, 947	22, 535, 465	842, 264	16, 476, 871	1, 562, 915	28, 360, 058	5, 265, 857	86, 792, 301
平成30年度	1, 237, 945	25, 124, 640	1, 120, 681	22, 509, 616	1, 245, 005	25, 437, 422	1, 468, 676	29, 706, 309	4, 900, 106	89, 739, 130
令和元年度	1, 301, 566	26, 331, 641	1, 132, 120	22, 682, 799	1, 266, 451	25, 460, 139	1,640,282	32, 500, 834	5, 340, 419	106, 975, 413
令和2年度	1, 372, 536	25, 180, 903	1, 248, 297	22, 443, 013	1, 339, 285	24, 301, 473	1, 678, 228	30, 194, 837	5, 638, 346	102, 120, 226
令和2年 4月	113, 428	2, 207, 875	97, 533	1, 877, 881	114,349	2, 227, 245	139, 702	2, 695, 946	465,012	9,008,947
5月	110,735	2, 174, 963	98,945	1,888,067	101,739	1, 972, 011	144, 498	2, 702, 654	455, 917	8, 737, 695
目9	111,955	2, 190, 912	95,903	1,876,370	102,576	2, 019, 951	136,712	2,646,400	447, 146	8, 733, 633
7月	108,354	2, 162, 836	94,841	1, 882, 281	91,369	1,873,977	137, 141	2, 711, 144	431,705	8, 630, 238
8月	118,893	2, 376, 395	103, 264	2, 055, 799	116,904	2, 305, 885	145, 135	2, 825, 450	484, 196	9, 563, 529
目6	118,682	2, 299, 306	98,892	1, 930, 061	118,927	2, 296, 079	144,476	2, 739, 102	480,977	9, 264, 548
10月	114,280	2,076,323	101,648	1,829,356	102,249	1,867,080	134,995	2, 421, 067	453, 172	8, 193, 826
11月	120,875	2,074,098	113, 257	1,894,272	109,684	1,860,378	137,878	2, 338, 301	481,694	8, 167, 049
12月	112,829	1,896,091	107,579	1, 762, 470	119,057	1,969,280	135,005	2, 232, 959	474,470	7,860,800
令和3年 1月	120,630	1, 984, 479	114,990	1,826,389	133, 863	2, 122, 790	148, 133	2, 357, 708	517,616	8, 291, 366
2月	114,888	1, 906, 763	116,053	1,870,953	117, 477	1, 916, 393	143, 116	2, 314, 623	491, 534	8,008,732
3月	106,987	1,830,862	105, 392	1, 749, 114	111,091	1,870,404	131, 437	2, 209, 483	454,907	7,659,863

(2)給水量1㎡当たりの電力料金

	コたりの电力が並		
区分	給水量	電力料金	給水量1㎡ 当たりの 電力料金
年度・月	(m^3)	(円)	(円)
H28	17, 315, 032	86, 792, 301	5.75
H29	17,831,585	89, 739, 130	5.01
H30	18, 225, 005	102,777,987	5.03
R1	18, 674, 642	106, 975, 413	5. 73
R2	19, 802, 882	102, 120, 226	5. 16
令和2年 4 月	1,602,575	9,008,947	5.62
5 月	1,657,024	8,737,695	5. 27
6 月	1,594,657	8,733,633	5.48
7 月	1,629,937	8,630,238	5. 29
8 月	1,710,785	9,563,529	5.59
9 月	1,604,398	9, 264, 548	5.77
10 月	1,675,915	8, 193, 826	4.89
11 月	1,639,393	8, 167, 049	4.98
12 月	1,732,586	7,860,800	4.54
令和3年 1月	1,712,349	8, 291, 366	4.84
2 月	1, 552, 749	8,008,732	5.16
3 月	1,690,514	7,659,863	4.53



7 水質・薬品

(1) 水道水質に関する基準等

水質基準(基準項目):51項目 水質管理目標設定項目:27項目

水質基準項目:51項目

基 潍 値 1mℓの検水で形成される集 落数が100以下であること 一般細菌 1 検出されないこと 大腸菌 カドミウム及びその化合物 0.003mg/ℓ以下 水銀及びその化合物 0.0005mg/ℓ以下 セレン及びその化合物 0.01mg/ℓ以下 鉛及びその化合物 0.01mg/ℓ以下 7 0.01mg/ℓ以下 ヒ素及びその化合物 六価クロム化合物 0.02mg/ℓ以下 9 亜硝酸態窒素 0.04mg/ℓ以下 10 シアン化物イオン及び塩化シアン 0.01mg/ℓ以下 11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 10mg/ℓ以下 12 0.8mg/ℓ以下 フッ素及びその化合物 13 ホウ素及びその化合物 1.0mg/ℓ以下 14 四塩化炭素 0.002mg/ℓ以下 15 1,4-ジオキサン 0.05mg/ℓ以下 シス-1,2-ジクロロエチレン及び 16 0.04mg/ℓ以下 トランス-1,2-ジクロロエチレン 17 0.02mg/ℓ以下 ジクロロメタン 18 テトラクロロエチレン 0.01mg/ℓ以下 19 トリクロロエチレン 0.01mg/ℓ以下 20 ベンゼン 0.01mg/ℓ以下 21 塩素酸 0.6mg/ℓ以下 22 クロロ酢酸 0.02mg/ℓ以下 23 クロロホルム 0.06mg/ℓ以下 ジクロロ酢酸 0.03mg/ℓ以下 24 ジブロモクロロメタン 25 0.1mg/ℓ以下 26 0.01mg/ℓ以下 臭素酸 27 総トリハロメタン 0.1mg/ℓ以下 28 トリクロロ酢酸 0.03mg/ℓ以下 29 ブロモジクロロメタン 0.03mg/ℓ以下 30 ブロモホルム 0.09mg/ℓ以下 31 0.08mg/ℓ以下 ホルムルデヒド 1.0mg/ℓ以下 亜鉛及びその化合物 33 0.2mg/ℓ以下 アルミニウム及びその化合物 34 鉄及びその化合物 0.3mg/ℓ以下 1.0mg/ℓ以下 35 銅及びその化合物 36 ナトリウム及びその化合物 200mg/ℓ以下 37 マンガン及びその化合物 0.05mg/ℓ以下 38 200mg/ℓ以下 塩化物イオン 39 カルシウム・マグネシウム等(硬度) 300mg/ℓ以下 500mg/ℓ以下 40 蒸発残留物 陰イオン界面活性剤 41 0.2mg/ℓ以下 (4S, 4aS, 8aR) -オクタヒドロ4,8a-ジメチル 42 0.00001mg/ℓ以下 ナフタレン-4a (2H) -オール 1, 2, 7, 7-テトラメチルビシクロ〔2, 2, 1〕 ヘプタン-2-オール 43 0.00001mg/ℓ以下 非イオン界面活性剤 0.02mg/ℓ以下 45 フェノール類 0.005mg/ℓ以下 有機物(全有機炭素(TOC)の量) 46 3mg/ℓ以下 47 PH値 5.8以上8.6以下 48 味 異常でないこと 49 臭気 異常でないこと 50 色度 5度以下 51 濁度 2度以下

水質管理目標設定項目:27項目

	項目名	目標値
1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/ℓ以下
2	ウラン及びその化合物	0.002mg/ℓ以下
3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/ℓ以下
4	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下
5	トルエン	0.4mg/ℓ以下
6	フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)	0.08mg/ℓ以下
7	亜塩素酸	0.6mg/ℓ以下
8	二酸化塩素	0.6mg/ℓ以下
9	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/ℓ以下
10	抱水クロラール	0.02mg/ℓ以下
11	農薬類(注)	検出値と目標値の比 の和として1以下
12	残留塩素	lmg/ℓ以下
13	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10~100mg/ℓ以下
14	マンガン及びその化合物	0.01mg/ℓ以下
15	遊離炭酸	20mg/ℓ以下
16	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/ℓ以下
17	メチルー t -ブチルエ-テル	0.02mg/ℓ以下
18	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/ℓ以下
19	臭気強度 (TON)	3以下
20	蒸発残留物	30~200mg/ℓ以下
21	濁度	1度以下
22	PH值	7.5程度
23	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上~0
24	従属栄養細菌	1mℓの検水で形成される 集落数が2000以下である こと
25	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下
26	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/ℓ以下
27	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)及びペルフルオロオ クタン酸(PFOA)	PFOS及びPFO Aの量の和として 0.00005mg/ℓ以下

(2) 水質	水質試験成績表	責表								
Į Į	区分	水道法に基づく	おおたかい	おおたかの森浄水場	東部終	東部浄水場	北戸川台浄水場	台 争水場		西平井浄水場
祖目		水質基準	原水	净 水	原 水	浄 水	原水	浄 水	原水	浄 水
一般細菌	(個/m1)	100以下	3	0	9	0	10	0	1	0
大腸菌		検出されないこと	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
カドミウム及びその化学	(mg/1)	0.003 以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	(mg/1)	0.0005以下	<0.0000 0>	<0.00005	90000 '0>	<0.0000 (0)	<0.0000 (0)	<0.00005	<0.0000 (0>	<0.00005
セレン及びその化合物	(mg/1)	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	(mg/1)	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	(mg/1)	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	0.0015	<0.001
六価クロム化合物	(mg/1)	0.02 以下	<0.002	<0.005	<0.002	<0.005	<0.002	<0.005	<0.002	<0.005
亜硝酸態窒素	(mg/1)	0.04以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	(mg/1)	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	(mg/1)	10 以下	<0.02	1.65	<0.02	<0.02	<0.02	1.50	<0.02	1.71
フッ素及びその化合物	(mg/1)	0.8以下	0.07	0.09	0.12	0.12	0.13	0.12	0.12	0.12
ホウ素及びその化合物	(mg/1)	1.0 以下	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
四塩化炭素	(mg/1)	0.002 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	(mg/1)	0.05以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シスー1, 2ージ クロロエチレン及 ぴ トラソスー1, 2ージ クロロエチレン	(m g/1)	0.04 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
ジクロロメタン	(mg/1)	0.02 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	(mg/1)	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
トリクロロエチレン	(mg/1)	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンボン	(mg/1)	0.01 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩素酸	(mg/1)	0.6以下		<0.06		<0.06		<0.06		<0.06
クロロ酢酸	(mg/1)	0.02 以下		<0.002		<0.002		<0.002		<0.002
クロロホルム	(mg/1)	0.06以下		0.003		0.016		0.007		0.003
ジクロロ酢酸	(mg/1)	0.03以下		<0.003		0.004		<0.003		<0.003
ジブロモクロロメタン	(mg/1)	0.1以下		0.005		0.0050		0.009		0.005
臭素酸	(mg/1)	0.01以下		<0.001		<0.001		0.001		0.001

総トリハロメダン	(mg/1)	0.1以下		0.013		0.03		0.026		0.048
トリクロロ酢酸	(mg/1)	0.03以下		<0.003		0.008		<0.003		<0.003
ブロモジクロロメタン	(mg/1)	0.03以下		0.004		0.01		0.008		0.004
ブロモホルム	(mg/1)	0.09 以下		0.001		<0.0010		0.002		0.001
ホルムアルデヒド	(mg/1)	0.08 以下		<0.008		<0.008		<0.008		<0.008
亜鉛及びその化合物	(mg/1)	1.0 以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
アルミニウム及びその化合物	(mg/1)	0.2以下	<0.01	0.04	<0.01	0.02	<0.01	0.03	<0.01	0.03
鉄及びその化合物	(mg/1)	0.3以下	0.083	<0.03	0.052	<0.03	0.215	<0.03	0.08	<0.03
銅及びその化合物	(mg/1)	1.0 以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
ナトリウム及びその化合物	(mg/1)	200 以下	52	12	22. 1	25	37.2	18	20.5	13
マンガン及びその化合物	(mg/1)	0.05 以下	0.05	0.0037	0.0522	0.019	0.114	<0.0010	0.461	<0.0010
塩化物イオン	(mg/1)	200 以下	16.8	32.1	8.6	12.6	30.5	25.5	29.2	23.0
カルシウム・マグネシウム等 (硬度)	(mg/1)	300 以下	2.67	71	8.65	54	84.8	62	69.5	89
蒸発残留物	(mg/1)	500 以下	208	160	179	184	254	201	244.5	159
陰イオン界面活性剤	(mg/1)	0.2 以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
(4S, 4aS, 8aR) -オクタヒ ドロ4, 8a-ジメチルナフ タレン-4a (2H) -オール	(mg/1)	0.00001以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
1, 2, 7, 7-テトラメチルビ シクロ [2, 2, 1] ヘプタ ン-2-オール	(m g/1)	0.00001以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	(mg/1)	0.02以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
フェノール類	(mg/1)	0.005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物(全有機炭素(T OC)の量)	(mg/1)	3 以下	0.8	0.7	0.7	0.7	1.2	0.8	1.1	0.7
PH値		5.8以上8.6以下	8.1	7.7	8.2	8.0	7.9	7.6	8.2	7.6
坐		異常でないこと		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし
臭 気		異常でないこと	腐敗性臭気	異常なし	腐敗性臭気	異常なし	腐敗性臭気	異常なし	腐敗性臭気	異常なし
色 废	(度)	5度以下	4.2	<0.5	4.1	2.7	8	0.7	5.6	<0.5
濁 度	(度)	2度以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0

(注1) 浄水の検査結果は令和4月から令和3年3月までの平均値です。 (注2) 原水の水質検査実施回数は、1回/年です。

(3)薬品使用状況

次亜塩素使用状況 (単位:kg)

					(十二二・125/
区分月	おおたかの森 浄 水 場	東部浄水場	江戸川台浄水場	西平井浄水場	合 計
平成28年度	65,539.38	65, 132. 25	155, 854. 71	13, 307. 62	299,833.96
平成29年度	70,944.24	72, 235. 64	39, 329.82	38, 945. 71	221, 455. 41
平成30年度	75, 546. 28	64, 138. 05	141,021.25	25, 455. 12	306, 160. 70
令和元年度	73, 317. 65	59,716.40	160,819.08	40,761.35	334,614.48
令和2年度	60, 288. 19	67,664.19	175, 394. 34	54, 373. 41	357,720.13
令和2年 4月	4,928.24	4,652.63	9,889.75	4,543.43	24,014.05
5月	4,982.84	4,689.29	12, 334. 53	4,050.37	26,057.03
6月	5, 168. 61	4,391.03	11,656.51	4,460.56	25,676.71
7月	5,044.96	4,492.78	9,964.04	4,652.25	24, 154. 03
8月	5,521.96	5,005.53	18,996.58	5, 450. 34	34, 974. 41
9月	4,960.31	5,693.29	12,684.39	4,287.00	27,624.99
10月	4,870.41	6,454.93	14, 408. 05	4,645.45	30, 378. 84
11月	4,867.08	6,573.14	15, 430. 94	4,060.35	30,931.51
12月	5,060.00	6,626.35	20, 422. 25	4,973.63	37,082.23
令和3年 1月	4,982.78	6,989.22	18, 102. 30	4,760.03	34,834.33
2月	4,715.00	6,059.00	15,411.00	4, 189.00	30,374.00
3月	5, 186.00	6,037.00	16,094.00	4,301.00	31,618.00
月平均	5,024.02	5,638.68	14,616.20	4,531.12	29,810.01

(4) 東日本大震災に伴う放射性物質の分析結果

ア 測定項目

放射性ヨウ素131、放射性セシウム134、放射性セシウム137

イ 採水箇所

おおたかの森、東部、江戸川台、西平井の4浄水場の浄水おおたかの森、江戸川台、東部の3浄水場の原水

ウ 採水日

令和	2年	4/2 7/2 10/1
令和	3年	1 /7

※採水は、原則として浄水、原水とも3か月に1回である。

エ 測定結果

(単位:ベクレル/kg)

		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
項目 試料名	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
浄水	不検出	不検出	不検出
原水(地下水)	不検出	不検出	不検出

8 財務

(1)予算・決算対照表(令和2年度)

<収益的収入及び支出> (単位:円・税込み)

<u> </u>	リスノヘル	$\chi \cup \chi \perp$				(中位・11・忧及の)
科		目		予算額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
水道事業	収益			4, 496, 459, 000	4,603,651,193	107, 192, 193
営	業	収	益	3, 432, 333, 000	3, 598, 435, 998	166, 102, 998
営	業	外 収	益	1,064,126,000	1,004,964,766	△ 59,161,234
特	別	利	益		250, 429	250, 429
水道事業	費用			3, 479, 609, 000	3, 410, 552, 997	△ 69,056,003
営	業	費	用	3, 212, 677, 456	3, 145, 762, 869	\triangle 66, 914, 587
営	業	外 費	用	263, 753, 544	263, 752, 729	△ 815
特	別	損	失	3, 178, 000	1,037,399	△ 2,140,601
予	Í	莆	費			0
	差	引		1,016,850,000	1, 193, 098, 196	176, 248, 196
翌年度へ終	操越される	る財源充当	額			0
Ž	差 引	計	·	1,016,850,000	1, 193, 098, 196	176, 248, 196

| <資本的収入及び支出 > (単位:円・税込み)

	科 目		予算額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
資	本的収入		1,048,306,000	918, 181, 746	△ 130, 124, 254
	工 事 負 担	金	244, 972, 000	112,680,500	\triangle 132, 291, 500
	他会計負担	金金	3, 334, 000	5,501,246	2, 167, 246
	長期貸付金付	賞 還	800,000,000	800,000,000	0
資	本的支出		4,568,906,600	3, 187, 222, 969	△ 1,381,683,631
	建設改良	費	2, 166, 644, 000	942, 814, 358	\triangle 1, 223, 829, 642
	拡 張 事 業	費	164, 274, 642	89, 119, 493	\triangle 75, 155, 149
	つくばエクスプレス整備事業	、沿線 費	151, 340, 958	98, 642, 461	△ 52,698,497
	企業債償還	金金	556,647,000	556, 646, 657	△ 343
	他会計出資	金金	1,000,000,000	1,000,000,000	0
	予 備	費	30,000,000		△ 30,000,000
	納付	金	500,000,000	500,000,000	0
	差引		\triangle 3,520,600,600	△ 2,269,041,223	1, 251, 559, 377
翌.	年度へ繰越される財源充	当額			0
	差引計		△ 3,520,600,600	△ 2,269,041,223	1, 251, 559, 377
	前年度繰越工事	資 金			0
	前 年 度 繰 越	資 金			0
補	過年度分損益勘定留何	保資金	705, 125, 600		\triangle 705, 125, 600
て	当年度分損益勘定留何	保資金	755, 204, 000	1,058,868,983	303, 664, 983
ん財	消費税資本的収支訓	引整額	139,681,000	90,776,700	△ 48,904,300
源	減 債 積 立	金	556, 647, 000	556, 646, 657	△ 343
	建設改良積	立 金	863, 943, 000	62,748,883	△ 801,194,117
	計		3,020,600,600	1,769,041,223	△ 1,251,559,377

[※]予算額は補正予算・流用及び予備費充当後の金額である。

[※]納付金5億円については、当年度利益剰余金処分額で補てんした。

(2) 比較損益計算書

)	(税抜き)				
年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		すう勢		(平成28年度を100とする	(2)
科目	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (田)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (田)	構成比 (%)	金額(田)	構成比 (%)	H29	Н30	R1	R2
水道事業収益	3, 976, 052, 200	100.0	4, 109, 397, 701	100.0	4, 104, 800, 298	100.0	4,004,667,224	98.6	4, 216, 399, 841	100.0	103.4	103.2	100.7	106.0
営業収益	2, 927, 375, 928	73.7	2, 961, 926, 614	72.1	3, 032, 594, 154	73.8	3,091,653,714	11.0	3, 273, 399, 447	77.6	101.2	103.6	105.6	111.8
給水収益	2, 833, 215, 241	71.3	2,879,222,910	70.1	2, 935, 215, 158	71.5	3,006,083,121	75.1	3, 183, 173, 799	75.5	101.6	103.6	106.1	112.4
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1			I
他会計負担金	79,859,687	2.0	67, 474, 104	1.6	70, 714, 233	1.7	71,358,293	1.7	70, 895, 348	1.7	84.5	88.5	89.4	88.8
その他の営業収益	14, 301, 000	0.4	15, 229, 600	0.4	26, 664, 763	9.0	14, 212, 300	0.2	19, 330, 300	0.4	106.5	186.5	99. 4	135.2
営業外収益	1,031,221,822	25.9	1,008,055,450	24.5	1,072,130,424	26.2	912, 943, 510	21.6	942, 782, 619	22. 4	97.8	104.0	88.5	91.4
受取利息	9,027,452	0.2	5, 154, 955	0.1	5, 309, 271	0.1	4,603,943	0.1	2, 536, 793	0.1	57.1	58.8	51.0	28.1
給水申込納付金	712,090,000	17.9	695, 770, 000	6.91	733, 630, 000	17.9	597, 590, 000	14.2	618, 500, 000	14.7	97.7	103.0	83.9	86.9
他会計補助金	588,000	0.0	446,000	0.0	1,352,000	0.0	1,038,000	0.0	760,000	0.0	75.9	229.9	176.5	129.3
長期前受金戻入	305, 362, 555	7.7	299, 822, 145	7.3	303, 444, 139	7.5	300,029,016	7.1	316, 419, 397	7.5	98.2	99. 4	98.3	103.6
他会計負担金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	I	I	I	I
雑収益	4, 153, 815	0.1	6,862,350	0.2	28, 395, 014	0.7	9,682,551	0.2	4, 566, 429	0.1	165.2	683.6	233. 1	109.9
特別利益	17, 454, 450	0.4	139, 415, 637	3.4	75,720	0.0	70,000	0.0	217,775	0.0	798.7	0.4	0.4	1.2
固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	I	I	I	I
過年度損益修正益	0	0.0	0	0.0	10,720	0.0	0	0.0	80, 509	0.0	1	計掃	-	指
その他特別利益	17, 454, 450	0.4	139, 415, 637	3.4	65,000	0.0	70,000	0.0	137, 266	0.0	7.98.7	0.4	0.4	0.8
水道事業費用	3, 021, 941, 825	100.0	2, 985, 998, 455	100.0	3, 091, 850, 786	100.0	3, 607, 422, 194	115.8	3, 116, 397, 051	100.0	98.8	102.3	119.4	103.1
営業費用	2, 838, 529, 632	93.9	2, 808, 538, 777	94.0	2, 921, 293, 447	94.5	2, 954, 762, 923	94.8	2, 974, 583, 897	95.5	98.9	102.9	104.1	104.8
原水及び浄水費	1, 281, 608, 140	42.4	1, 280, 846, 951	42.9	1, 330, 483, 937	43.0	1, 351, 819, 782	43.3	1, 342, 945, 146	43.1	99.9	103.8	105.5	104.8
配水及び給水費	149, 177, 377	4.9	158, 467, 616	5.3	177, 658, 928	5.7	180, 990, 608	5.8	183, 431, 445	5.9	106.2	119, 1	121.3	123.0
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0				I
業務費	250, 623, 710	8.3	225, 178, 905	7.5	231, 743, 434	7.6	226, 644, 489	7.3	238, 574, 750	7.7	89.8	92.5	90.4	95.2
総係費	102, 521, 044	3.4	105, 282, 540	3.5	117,056,986	3.8	125, 172, 554	4.0	133, 457, 316	4.3	102.7	114.2	122. 1	130.2
減価償却費	1,039,270,509	34.4	1,020,345,715	34.2	1,038,514,145	33.6	1,048,861,965	33.7	1,054,485,669	33.8	98.2	99.9	100.9	101.5
資産減耗費	15, 250, 717	0.5	18, 338, 915	0.6	25, 809, 082	0.8	21, 236, 520	0.7	21,663,126	0.7	120.2	169.2	139.2	142.0
その他営業費用	78, 135	0.0	78, 135	0.0	26,935	0.0	37,005	0.0	26,445	0.0	100.0	34.5	47.4	33.8
営業外費用	183, 157, 756	6.1	172, 819, 239	5.9	162, 492, 430	5.3	651, 901, 181	21.0	140, 868, 283	4.5	94.4	88.7	355.9	76.9
支払利息及び 企業債取扱諸費	182, 486, 349	6.1	172, 564, 213	5.9	162, 213, 498	5.3	151, 593, 340	4.9	140,666,185	4.5	94. 6	88.9	83.1	77.1
雑文出	671,407	0.0	255,026	0.0	278,932	0.0	500, 307, 841	16.1	202, 098	0.0	38.0	41.5	74, 516. 3	30.1
特別損失	254, 437	0.0	4,640,439	0.1	8, 064, 909	0.2	758, 090	0.0	944, 871	0.0	1,823.8	3, 169. 7	297.9	371.4
固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-		-	-
過年度損益修正損	44, 437	0.0	4,450,439		471, 509	0.0	688, 090	0.0	874,871	0.0	10,015.2	1,061.1	1,548.5	1,968.8
その他特別損失	210,000	0.0	190,000	0.0	7, 593, 400	0.2	70,000	0.0	70,000	0.0	90.5	3,615.9	33.3	33.3
	954, 110, 375		1, 123, 399, 246		1,012,949,512		397, 245, 030		1, 100, 002, 790		117.7	106.2	41.6	115.3
田華恭軍県水 深川恭軍県水村付出群然	を 単一が100 0%と	たストン	、調整した											

※構成比は水道事業収益、水道事業費用が100.0%となるよう調整した。

比較貸借対照表	
3)	1

ア 資産の部(税抜き)														
年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		か	勢(平成28年	すう勢(平成28年度を100とする	·
 	金額	構成比	ОСП	ОСП	D 1	60								
_	(田)	(%)	6711	000	Z	7V								
固定資産	24, 779, 372, 824	7.67	25, 815, 782, 527	80.3	26, 343, 030, 453	81.4	26, 214, 283, 288	81.2	27, 175, 949, 384	83.4	104.2	106.3	105.8	109.7
有形固定資産	24, 777, 880, 332	79.7	25, 014, 290, 035	77.8	24, 941, 537, 961	77.1	25, 012, 790, 796	77.6	24, 974, 456, 892	76.6	101.0	100.7	100.9	100.8
上地	2, 903, 552, 014	9.3	2, 903, 552, 014	9.0	2, 902, 625, 894	9.0	2, 902, 625, 894	9.0	2, 902, 625, 894	8.9	100.0	100.0	100.0	100.0
建物	1, 732, 121, 867	5.6	1, 689, 562, 400	5.3	1,647,002,933	5.1	1,604,448,146	5.0	1, 561, 895, 159	4.8	97.5	95. 1	92.6	90.2
構築物	17,693,366,220	57.0	18, 195, 848, 574	56.7	18, 348, 277, 571	56.6	18, 706, 370, 269	58.0	18, 948, 682, 982	58.1	102.8	103.7	105.7	107.1
機械及び装置	2, 376, 319, 349	7.6	2, 163, 227, 628	9.9	1,939,136,032	0.0	1,716,253,855	5.3	1, 494, 337, 159	4.6	91.0	81.6	72.2	62.9
車両運搬具	5, 157, 465	0.0	4, 172, 892	0.0	4, 278, 495	0.0	16, 072, 141	0.1	12, 409, 603	0.0	80.9	83.0	311.6	240.6
工具器具及び備品	27, 003, 417	0.1	22, 030, 652	0.1	20,670,794	0.1	22, 799, 434	0.1	20, 796, 095	0.1	81.6	76.5	84.4	77.0
建設仮勘定	40, 360, 000	0.1	35, 895, 875	0.1	79, 546, 242	0.3	44, 221, 057	0.1	33, 710, 000	0.1	88.9	197.1	109.6	83.5
無形固定資産	1, 492, 492	0.0	1, 492, 492	0.0	1, 492, 492	0.0	1, 492, 492	0.0	1, 492, 492	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
電話加入権	1, 492, 492	0.0	1,492,492	0.0	1, 492, 492	0.0	1, 492, 492	0.0	1, 492, 492	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
投資その他の資産	400,000,000	1.3	800,000,000	2.5	1,400,000,000	4.3	1, 200, 000, 000	3.6	2, 200, 000, 000	8.9	200.0	350.0	300.0	550.0
出資金	0	0.0	0	0.0	600,000,000	1.9	1,200,000,000	3.6	2, 200, 000, 000	6.8	-	斯昂	春構	皆増
長期貸付金	400, 000, 000	1.3	800,000,000	2.5	800,000,000	2.4	0	0.0	0	0.0	200.0	200.0	皆減	皆減
流動資産	6, 286, 483, 706	20.3	6, 303, 241, 265	19.7	6,008,087,456	18.6	6,061,380,389	18.8	5, 421, 875, 447	16.6	100.3	95.6	96.4	86.2
現金預金	5, 933, 154, 792	19.1	5, 842, 914, 454	18.2	5, 252, 090, 183	16.2	4, 582, 575, 347	14.2	4, 024, 137, 047	12.3	98.5	88.5	77.2	67.8
未収金	283, 706, 937	0.9	284, 888, 644	0.9	544, 387, 486	1.7	443, 965, 645	1.4	534, 473, 283	1.6	100.4	191.9	156.5	188.4
貯蔵品	17,873,057	0.1	25, 250, 607	0.1	18, 152, 887	0.1	16,038,097	0.1	20, 242, 257	0.1	141.3	101.6	89.7	113.3
短期貸付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	800,000,000	2.5	0	0.0	-	_	提開	
前払金	50, 650, 000	0.2	149, 565, 000	0.5	192,800,000	0.6	217, 450, 000	0.6	341, 650, 000	1.1	295.3	380.7	429.3	674.5
その他流動資産(前払費用含む)	1,098,920	0.0	622, 560	0.0	656,900	0.0	1,351,300	0.0	501, 372, 860	1.5	56.7	59.8	123.0	45624.1
資産合計	31, 065, 856, 530	100.0	32, 119, 023, 792	100.0	32, 351, 117, 909	100.0	32, 275, 663, 677	100.0	32, 597, 824, 831	100.0	103.4	104.1	103.9	104.9
※構成比は資産合計が100 0%となるよう調整した。	0%アだんよい調整	11.7												

※構成比は資産合計が100.0%となるよう調整した。

H M	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	u.,	令和2年度		すう	すう勢(平成28年度を100と	度を100とする	2)
	金額	構成比	金額	構成比	金 額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	0611	OCII	-	ç
/	(田)	(%)	(田)	(%)	(田)	(%)	(田)	(%)	(田)	(%)	6711	осп	NI	7 V
固定負債	8, 430, 166, 306	26.8	7, 764, 806, 106	24.1	7, 218, 125, 742	22.3	6, 661, 479, 085	20.6	6, 092, 717, 852	18.7	92.1	85.6	79.0	72.3
企業債	8, 275, 020, 669	26.3	7,749,006,106	24.1	7, 204, 432, 742	22.3	6,647,786,085	20.6	6, 079, 024, 852	18.7	93.6	87.1	80.3	73.5
引当金	155, 145, 637	0.5	15, 800, 000	0.0	13, 693, 000	0.0	13,693,000	0.0	13, 693, 000	0.0	10.2	8.8	8.8	8.8
流動負債	1, 209, 350, 184	3.8	1, 413, 754, 503	4.4	1,045,228,647	3.2	1, 085, 045, 363	3.4	1,076,157,144	3.2	116.9	86.4	89.7	89.0
企業債	514, 885, 656	1.6	526,014,563	1.6	544, 573, 364	1.7	556, 646, 657	1.7	568, 761, 233	1.7	102.2	105.8	108.1	110.5
一時借入金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1	I	
未払金	530, 377, 666	1.7	625, 568, 747	2.0	425, 876, 984	1.3	463, 986, 174	1.5	434, 694, 454	1.3	117.9	80.3	87.5	82.0
前受金	115, 840, 000	0.4	212, 636, 000	0.7	19,080,000	0.1	0	0.0	0	0.0	183.6	16.5	皆減	皆減
引当金	11, 688, 671	0.0	11,524,270	0.0	10,396,618	0.0	12,605,762	0.0	12, 217, 312	0.0	98.6	88.9	107.8	104.5
その他流動負債	36, 558, 191	0.1	38,010,923	0.1	45, 301, 681	0.1	51,806,770	0.2	60, 484, 145	0.2	104.0	123.9	141.7	165.4
繰延収益	7, 095, 160, 761	22.5	7,085,884,658	22. 1	7, 220, 235, 483	22.3	7, 264, 366, 162	22.5	7, 064, 173, 978	21.7	6 *66	101.8	102.4	9.66
負債合計	16, 734, 677, 251	53.1	16, 264, 445, 267	50.6	15, 483, 589, 872	47.8	15,010,890,610	46.5	14, 233, 048, 974	43.6	97.2	92.5	89.7	85.1
資本金	9, 170, 436, 475	29.1	9, 574, 660, 611	29.8	10, 119, 735, 886	31.3	10, 392, 657, 261	32.2	11, 583, 878, 701	35.5	104.4	110.4	113.3	126.3
資本金	9, 170, 436, 475	29. 1	9, 574, 660, 611	29.8	10, 119, 735, 886	31.3	10, 392, 657, 261	32.2	11, 583, 878, 701	35.5	104.4	110.4	113.3	126.3
剰余金	5, 560, 742, 804	17.8	6, 279, 917, 914	19.6	6, 747, 792, 151	20.9	6, 872, 115, 806	21.3	6, 780, 897, 156	20.9	112.9	121.3	123.6	121.9
資本剰余金	944, 295, 683	3.0	944, 295, 683	2.9	944, 295, 683	3.0	944, 295, 683	2.9	944, 295, 683	2.9	100.0	100.0	100.0	100.0
受贈財産評価額	5, 591, 396	0.0	5, 591, 396	0.0	5, 591, 396	0.0	5, 591, 396	0.0	5, 591, 396	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
工事寄附負担金	880, 314, 287	2.8	880, 314, 287	2.7	880, 314, 287	2.8	880, 314, 287	2.7	880, 314, 287	2.7	100.0	100.0	100.0	100.0
他会計負担金	6,000,000	0.0	6,000,000	0.0	6,000,000	0.0	6,000,000	0.0	6,000,000	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
補助金	52, 390, 000	0.2	52, 390, 000	0.2	52, 390, 000	0.2	52, 390, 000	0.2	52, 390, 000	0.2	100.0	100.0	100.0	100.0
利益剰余金	4, 616, 447, 121	14.8	5, 335, 622, 231	16.7	5, 803, 496, 468	17.9	5, 927, 820, 123	18.4	5, 836, 601, 473	18.0	115.6	125.7	128.4	126.4
減債積立金	1, 955, 451, 912	6.2	2, 498, 292, 239	7.8	3,073,700,830	9.5	3, 377, 978, 476	10.5	2, 918, 547, 833	9.0	127.8	157.2	172.7	149.3
利益積立金	300, 000, 000	1.0	300,000,000	0.9	300,000,000	0.9	300,000,000	6.0	300, 000, 000	0.9	100.0	100.0	100.0	100.0
建設改良積立金	1, 308, 023, 253	4.2	1,308,023,253	4.1	1,308,023,253	4.0	961,404,193	3.0	898, 655, 310	2.8	100.0	100.0	73.5	68.7
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	1,052,971,956	3.4	1, 229, 306, 739	3.9	1, 121, 772, 385	3.5	1, 288, 437, 454	4.0	1, 719, 398, 330	5.3	116.7	106.5	122.4	163.3
資本合計	14, 731, 179, 279	46.9	15, 854, 578, 525	49.4	16,867,528,037	52.2	17, 264, 773, 067	53.5	18, 364, 775, 857	56.4	107.6	114.5	117.2	124.7
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	001 010 107 10	000	000 017 00	000	000 211 110 00						, ,,,	000,		

(4) 資本的収支表

	年 度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		小 令和2年度	気みを)	すう勢(すう勢(平成28年度を100と	to	(2)
/ 皿 森		金額(円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金額(円)	構成比 (%)	H29	Н30	R1	R2
資本的収入		386, 056, 495	100.0	304, 595, 318	100.0	463, 298, 715	100.0	358, 573, 676	100.0	918, 181, 746	100.0	78.9	120.0	92.9	237.8
企業債		80,700,000	20.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	皆減	指減	皆減	指減
工事負担金		303, 197, 920	78.5	302,019,200	99.1	460, 944, 520	99.4	354, 908, 940	99.0	112, 680, 500	12.3	93.6	152.0	117.1	37.2
他会計負担金	邻	1,702,575	0.5	2,022,118	0.7	1, 188, 075	0.3	3,664,736	1.0	5, 501, 246	9.0	118.8	69.8	215.2	323.1
補助金		456,000	0.1	554,000	0.2	240,000	0.1	0	0.0	0	0.0	121.5	52.6	智 減	酯 減
固定資産売却代金	却代金	0	0.0	0	0.0	926, 120	0.2	0	0.0	0	0.0	I	理		ı
長期貸付金償還	償還	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.0	800,000,000	87.1	l			理
資本的支出		2, 143, 535, 664	100.0	2, 280, 766, 039	100.0	2, 166, 983, 965	100.0	2, 348, 967, 464	100.0	3, 187, 222, 969	100.0	106.4	101.1	109.6	148.7
建設改良費		894, 410, 840	41.7	1,051,898,421	46.1	523, 220, 869	24.1	813, 758, 212	34.6	942, 814, 358	29.6	117.6	58.5	91.0	105.4
拡張事業費		13, 428, 420	9.0	39, 970, 599	1.8	84, 883, 818	3.9	97, 572, 758	4.2	89, 119, 493	2.8	297.7	632. 1	726.6	663.7
つくばエクスプ	つくばエクスプレス沿線整備事業費	332, 085, 680	15.5	274,011,363	12.0	432, 864, 715	20.0	293, 063, 130	12.5	98, 642, 461	3.1	82.5	130.3	88. 2	29.7
企業債償還金	御	503,610,724	23.5	514, 885, 656	22.6	526,014,563	24.3	544, 573, 364	23.2	556, 646, 657	17.4	102.2	104.4	108.1	110.5
他会計貸付金	領	400,000,000	18.7	400,000,000	17.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	100.0	皆減	皆減	皆減
出資金		0	0.0	0	0.0	600,000,000	27.7	600, 000, 000	25.5	1,000,000,000	31.4	l	型。	配槽	理
納付金		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	500,000,000	15.7				早福
孙	关	\triangle 1,757,479,169	-	\triangle 1, 976, 170, 721	_	\triangle 1, 703, 685, 250	I	\triangle 1, 990, 393, 788	_	\triangle 2, 269, 041, 223	ı				
翌年度へ繰越される	翌年度へ繰越される支出の財源充当額	0	ı	0	-	0	1	0	I	0	ı				
差] 발	\triangle 1,757,479,169	I	\triangle 1, 976, 170, 721	I	\triangle 1, 703, 685, 250	ı	\triangle 1, 990, 393, 788	I	△ 2,269,041,223	I				
前年度終	前年度繰越工事資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0				
補 前年度総	前年度繰越資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0				
て過年度分割	過年度分損益勘定留保資金	1, 591, 455, 847	90.6	1, 793, 531, 603	90.7	1,553,660,277	91.2	0	0.0	0	0.0				
ん当年度分割	当年度分損益勘定留保資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1, 031, 194, 251	51.8	1,058,868,983	59.9				
財減債積立金	大金	98, 861, 581	5.6	105, 907, 493	5.4	108, 822, 873	6.4	544, 573, 364	27.4	556,646,657	31.5				
源建設改良	建設改良積立金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	346, 619, 060	17.4	62, 748, 883	3.5				
消費税資	消費税資本的収支調整額	67, 161, 741	3.8	76, 731, 625	3.9	41, 202, 100	2.4	68,007,113	3.4	90,776,700	5.1				
∢□	1111111	1,757,479,169	100.0	1, 976, 170, 721	100.0	1,703,685,250	100.0	1, 990, 393, 788	100.0	1, 769, 041, 223	100.0				
※構成比は資	本的収入、資本	的支出及び補てん財	原の合計が	※構成比は資本的収入、資本的支出及び補てん財源の合計が100.0%となるよう調整した。	上を										

固定資産明細書(令和2年度) (2)

丼							
減価償	当年度増加額		42, 552, 987	777,877,243	227,040,062	3, 370, 538	3,644,839
	期首累計		569, 195, 590	14, 191, 830, 524	3, 577, 143, 731	22, 617, 308	47, 540, 668
在	十泛个坑江同	2, 902, 625, 894	2, 173, 643, 736	33, 813, 904, 138	5, 298, 373, 601	32, 849, 449	71, 981, 602
水化甲油小籽				125, 849, 983	155, 105	5,840,000	
业存存储加好	 			1,041,553,328	5, 131, 120		1,641,500
佐	十尺当心死在同	2, 902, 625, 894	2, 173, 643, 736	32, 898, 200, 793	5, 293, 397, 586	38, 689, 449	70,340,102
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(本) (本)	F F	車	築物	幾械及び装置	耳面 運搬具	工具器具及び備品
	华 仓 括 新 在伊沙迈珥大亨 北在伊诺小路 北伊古古古古	點	産 の 種 類 年度当初現在高 当年度増加額 当年度減少額 年度末現在高 期 首 累 計 地 2,902,625,894 2,902,625,894 コーラー 2,902,625,894 コーラー	産の種類 年度当初現在高 当年度增加額 当年度減少額 年度末現在高期 期首累計 当 地 2,902,625,894 2,902,625,894 3,173,643,736 569,195,590 569,195,590	産の種類年度当初現在高当年度増加額当年度減少額年度末現在高期首累計当地2,902,625,8942,902,625,8942,173,643,736569,195,590海物2,173,643,7361,041,553,328125,849,98333,813,904,13814,191,830,524	産 の 種 類 	産 の 種 類

年度末償却未済高

額

11111111

獙

当年度減少額

額

账 异

(単位:円)

2, 902, 625, 894

1, 561, 895, 159 18, 948, 682, 982

611, 748, 577

1, 494, 337, 159

3,804,036,442

147,351

14,865,221,156

104, 486, 611

12, 409, 603 20, 796, 095

20, 439, 846 51, 185, 507

5, 548, 000

24, 940, 746, 892

19, 352, 631, 528

110, 181, 962

1,054,485,669

18, 408, 327, 821

131, 845, 088 | 44, 293, 378, 420

1,048,325,948

43, 376, 897, 560

1111111 定 魯 魰

 \leftarrow

33, 710, 000

24, 974, 456, 892

19, 352, 631, 528

110, 181, 962

1,054,485,669

176, 066, 145 | 44, 327, 088, 420 | 18, 408, 327, 821

33, 710,000

44, 221, 057

33, 710, 000

44, 221, 057

榖 ປ 43, 421, 118, 617 | 1, 082, 035, 948

111111111

∢□

(単位:円)	年度末現在高	1, 492, 492	1, 492, 492
	当年度減価償却高	0	0
	当年度減少額	0	0
	当年度増加額	0	0
明細書	年度当初現在高	1, 492, 492	1, 492, 492
)無形固定資産	産の種類	話加入権	1111111
\sum	海		∢□

_	47	_

(6) 企業債償還表

(単位:円)

年度		区分		前年度末 未償還残高	当年度発行額	当年度償還額	未償還残高
H28	企	業	債	9, 212, 817, 049	80,700,000	503,610,724	8, 789, 906, 325
H29	企	業	債	8, 789, 906, 325		514,885,656	8, 275, 020, 669
Н30	企	業	債	8, 275, 020, 669		526,014,563	7,749,006,106
R1	企	業	債	7,749,006,106		544, 573, 364	7, 204, 432, 742
R2	企	業	債	7, 204, 432, 742		556,646,657	6,647,786,085

(**7) 経営分析** ア 財務分析表

			年		度		令和ラ	令和元年度	
	第 出 基 礎	H28	H29	Н30	R1	R2	県内同 規模平均	全国同 規模平均	明明
海	資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益 × 100% 負債資本合計	69.4	71.4	74.5	76.0	78.0	82.3	75.2	総資本(負債・資本合計)とこれを構成する資本(資本金・剰余金・ 評価差額等・緩延収益)の関係を示す。自己資本構成比率が高いほ ど経営の安全性は大きい。
海		83.2	84.1	84.1	84.0	86.2	86.3	89.3	固定資産の購入・建設の財源の分析であって、固定資産に対する 資本(資本金、剰余金、評価差額等、繰延収益)と固定負債の割合 を示す。100以下を理想とし、越えれば固定資産に過大投資と なる。
	流動資産 流動負債	519.8	445.9	574.8	558.6	503.8	615.1	341.5	資金繰りの状況を示す比率で短期債務に対応すべき流動資産が十分にあるかを示す。 指数は、200以上が理想。
単	現金預金+(未収金-貸倒引当金) × 100% 流動負債	5 514.1	433.4	554.6	463.3	423.6	593. 9	324.7	流動負債に対する現金預金及び未収金から貸倒引当金を差し引い た合計の割合で、数値は大きい程良い。 適正比率は100%以上。
	総 坂 益 × 100%	5 131.6	137.6	132.8	111.0	135.3	117.7	111.5	総費用に対する総収益の割合で、指数は高い程良い。
	A 常 地 社 来 100% 新 常 費 用 来 100%	5 131.0	133.2	133.1	111.0	135.3	112, 5	111.2	経常費用に対する経常収益の割合で、指数は高い程良い。
	営業収益-受託工事収益 営業費用-受託工事費 × 100%	5 103.1	105.5	103.8	104.6	110.0	97.5	101.4	営業費用に対する営業収益の割合で、指数は高い程良い。
製	建設改良のための企業債償還元金 × 100% 当年度減価償却費	5 48.5	50.5	50.7	51.9	52.8	1	65.4	減価償却費に対する企業債償還元金の割合で、指数は低い程良い。
製	建設改良のための企業債償還元金 × 100% 給 水 収 益	5 17.8	17.9	17.9	18.1	17.5	11. 4	14.4	
	企業債利息 給水収益 × 100%	6.4	6.0	5.5	5.0	4.4	3.4	3.4	給水収益に対する企業債償還元金、利息及び元利償還金の割 合で、指数は低い程良い。
製	建設改良のための企業債元利償還金 × 100% 給 水 収 益	5 24.2	23.9	23.4	23.2	21.9	14.8	_	
	職員給与費 × 100%給水収益 × 100%	5.3	5.7	5.8	5.4	4.9	9.9	L*8	給水収益に対する職員給与費の割合で、指数は低い程良い。 (労働分配率を示す。)

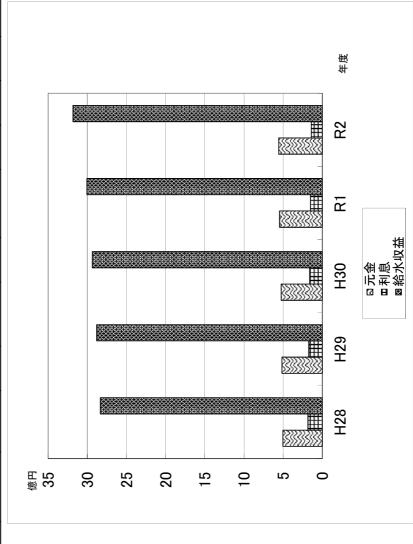
7 業務分析表										※()内の数値は再任用職員数および会計年度任用職員数を除く。
	÷	ŧ		卅	-	英		1KF	年度.	
祖祖	田	鼠	H28	H29	Н30	R1	R2	県内同 規模平均	全国同 規模平均	明
負荷率	——日平均配水量 ——日最大配水量	×100 (%)	90.0	91.7	91.2	90.6	87.4	88.0	90.6	1日最大配水量に対する1日平均配水量の割合で、需要時と非需要時の差を示す。 野時の差を示す。 指数は、大きい程効率的であり100に近づくのが理想。
施設利用率	一日平均配水量 一日配水能力	×100 (%)	2.08	81.3	83.1	84.9	86.7	80.5	64.5	1日配水能力に対する1日平均配水量の割合で、水道施設が効率的に運営されているか判断する指標。 指数が高ければ効率的に運営されていることになる。
最大稼動率	—————————————————————————————————————	×100 (%)	89.7	88.7	91.1	93.8	99. 1	91.6	71.2	1日配水能力に対する1日最大配水量の割合で、将来の水需要に対応すべき先行投資の適正を示す指標。 指数が高ければ効率的に運営されていることになる。
有収率	年間総有収水量 年間総配水量	×100 (%)	95. 1	94.7	94.8	94, 4	94.8	93.3	92.0	配水量に対し、どのくらいの有収水量があったかを示す。 有収率は100に近いことが望ましい。
配水管使用効率	年間総配水量	(m ³ /m)	26.2	26.6	26.6	26.8	28.2	22.2	21.1	導・送・配水管延長に対する総配水量の割合で、配水管が効率的に使用されているかを示す指標。 指数が高い程良い。
固定資産使用効率	年間総配水量 有形固定資産	(m ³ /万円)	7.0	7.1	7.3	7.5	7.9	6.7	8.2	有形固定資産に対する総配水量の割合で、投下資産にどれだけ 効率的に配水されたかを示す指標。 指数が高い程良い。
固定資産回転率	営業収益-受託工事収益 (頻首固定資産+期末固定資産)÷2	(回)	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13	営業収益と投下された固定資産の利用状況の適否をみるもの である。指数が小さいほど、固定資産の利用度が少ないことを 示す。
供給単価	給水収益 年間総有収水量	(円銭/m³)	172.04	170.55	169, 95	170.56	169.49	190.25	170.77	1 立方メートル当たりの販売価格。
給水原価	総費用- 長期前受金戻入-特別損失 年間総有収水量	(円銭/m³)	164,94	158.84	160.98	187.61	149.04	198.06	164.74	1立方メートル当たりの生産原価。 ※会計制度の見直しにより、算式に変更有り。
一人一日平均有収水量	年間総有収水量×1,000 現在給水人口×365 ※H23、H27は366日	(8)	252	251	249	247	258	265	_	1人1日当たりの水使用量。
職員一人当たり給水人口	現在給水人口 損益勘定所属職員数	(Y)	11, 921	14, 153	11,871	13,015	8, 313 (13, 300)	8, 060	5,237	
職員一人当たり有収水量	年間総有収水量 損益勘定所属職員数	(m³/人)	1,097,895	1, 298, 630	1, 079, 455	1, 175, 018	782, 530 (1, 252, 047)	764, 574	542, 594	労働生産性を示す指標。指数は高い程良い。
職員一人当たり営業収益	営業収益 - 受託工事収益 損益勘定所属職員数	(千円/人)	195, 158	227, 841	189, 537	206,110	136, 392 (218, 227)	144, 327	96, 486	
職員一人当たり有形固定資産	有形固定資産 (損益+資本)勘定所属職員数	(千円/人)	1,304,099	1, 389, 683	1, 381, 222	1,667,519	1,040,602		I	有形固定資産がどの位あるかを示す指標。 指数が高い程有形固定資産の蓄積がある。

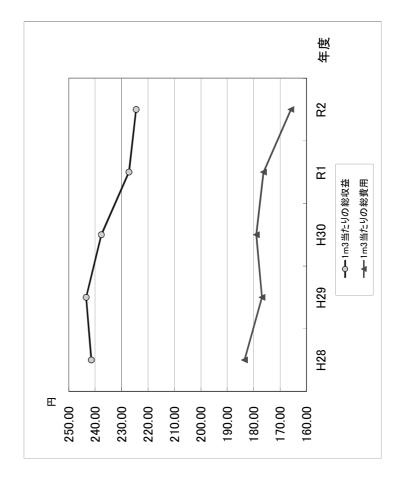
(8) 有収水量1m3当たり総収益・総費用

(9) 給水収益に対する企業債償還元利金表

(税抜き)	用	1m3当たり(円)	183, 50	176.87	179.02	176.30	165.94
	総費	金額(円)	3, 021, 941, 825	2, 985, 998, 455	237.67 3,091,850,786	3, 107, 422, 194	3, 116, 397, 051
	湖	1m3当たり(円)	241,43	243,42	237.67	227.21	224.51
	総収	金額(円)	3,976,052,200	16, 882, 193 4, 109, 397, 701	17, 271, 280 4, 104, 800, 298	4,004,667,224	18, 780, 719 4, 216, 399, 841
	有収水量	(m ₃)	16, 468, 423	16, 882, 193		17, 625, 268	18, 780, 719
	中中	± ≪	H28	H29	Н30	R1	R2

_								
(雑き)		(4)/(4)	×100(%)	24.2	23.9	23.4	23.2	21.9
て算出(税	割合	(h9)/(h)	×100(%) ×100(%) ×100(%)	6.4	0.0	5.5	5.0	4.4
指数:平成28年度を100として算出(税抜き)		(b1)/(b)	×100(%)	17.8	17.9	17.9	18.1	17.5
F成28年度			指数	100	100	100	101	102
	(B)	計(63)	金額(円)	686,097,073	687, 449, 869	688, 228, 061	696, 166, 704	697, 312, 842
ļ	買 遠 額	2)	指数	100	95	88	83	77
; 1 ±	企業債元利償還額 (B)	利息(b2)	金額(円)	100 182, 486, 349	102 172, 564, 213	104 162, 213, 498	108 151, 593, 340	140, 666, 185
•	出	1)	指数	100	102	104	108	111
		元金(b1)	金額(円)	503, 610, 724	514, 885, 656	526, 014, 563	544, 573, 364	556,646,657
	給水収益	(A)	(田)	2, 833, 215, 241 503, 610, 724	2, 879, 222, 910 514, 885, 656	2, 935, 215, 158 526, 014, 563	3,006,083,121 544,573,364	3, 183, 173, 799 556, 646, 657
	区分	/	年度	H28	H29	Н30	R1	R2





特別損失を除く(単位:円・税抜き)

費用構成表

		,	X/+53X/-	v	X/十00%/-	.,	メナコノエノロ	.,	X/十7H/1	ĸ	光 / 光		(十)なら十/女と100 しゅう	6
科目	金額	構成比	金 額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	H29	H30	R1	R2
人件費	172, 789, 682	6.4	165,710,993	2.5	172, 238, 483	5.5	162, 271, 061	5.8	165, 312, 189	5.9	6 * 96	99.7	93.9	95.7
物件費	51, 555, 723	1,9	58,107,619	2.0	62, 144, 026	2.0	79,440,062	2.8	74, 152, 591	2.6	112.7	120.5	154.1	143.8
動力費	80, 723, 995	3.0	83,638,003	2.8	95, 625, 217	3.1	98, 776, 777	3.5	93, 189, 402	3.3	103.6	118.5	122.4	115.4
薬品費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1		1	I
修繕費	82, 973, 542	3.0	77,513,949	2.6	93, 116, 815	3.1	78, 700, 974	2.8	91,673,747	3.3	93.4	112.2	94.9	110.5
委託料	365, 689, 790	13, 5	344,721,232	11.5	395, 684, 368	12.8	422, 877, 368	15.1	439, 238, 592	15.7	94.3	108.2	115.6	120.1
受水費	1,029,243,267	37.9	1,039,322,965	34.8	1,037,217,930	33.6	1, 041, 749, 790	37.1	1,034,329,500	37.0	101.0	100.8	101.2	100.5
減価償却費	733, 907, 954	27.0	720,523,570	34.2	735,070,006	33.7	748, 832, 949	26.7	738,066,272	26.4	2.86	100.2	102.0	100.6
資産減耗費	15, 250, 717	9.0	18,338,915	9.0	25, 809, 082	0.8	21, 236, 520	0.8	21,663,126	0.8	120.2	169.2	139.2	142. (
支払利息	182, 486, 349	L.9	172,564,213	2.8	162, 213, 498	5.3	151, 593, 340	5.4	140,666,185	5.0	94.6	88.9	83.1	77. 1
その他の経費	1, 703, 814	0.0	1,094,412	0.2	1, 222, 313	0.1	1, 156, 247	0.0	741, 179	0.0	64.2	71.7	6.79	43.5
台	2,716,324,833	0.001	2, 681, 535, 871	100.0	2,780,341,738	100.0	2, 806, 635, 088	100.0	2, 799, 032, 783	100.0	L.86	102, 4	103.3	103.0
※平成26年度の会計制度見直しにより、減価 ※構成比は合計が100.0%となるよう調整した。	計制度見直しにより 1.0%となるよう調整	、減価億 きした。	、減価償却費は長期前受金戻入金相 整した。		当額を減額			1	-			1		

(11) 供給単価及び給水原価

	年度	98.3	83.2	124.0	99.4	1	99.4	105.1	88. 2	88.4	120.2	67.4	Î	90.4	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	
\$2)	令和2年度					J					1		Ļ		一般会計納付金	
度を100と	和元年度	98.9	87.5	142.5	112.5	1	90.1	108.0	94.5	95.5	128.3	77.8	1	96.5	1	3
巻 (平成28年度を100とする	-	98.6	83.8	102.9	100.8	1	100.8	92.5	86.5	121.8	130.3	77.2	程 規	97.6	※令和元年度の給水原価は、(5億円)を始除, 7計管)・	JEWO CEL
すう勢	平成29年度	99.8	82.8	101.6	89.9	1	83.4	82.0	88.4	122.0	96.0	83.3	程 標	96.3	※令和元年度(5億円)を	
	令和2年度	169.49	8.79	3.88	4.92	0.00	4.92	23,40	55.14	39, 35	1, 19	7.45	0.00	149.04	20.45	19 07
	令和元年度	170.56	9.24	4.46	5.57	0.00	4.46	24.05	59.07	42.52	1.27	8.60	0.00	159.24	11.32	2
	平成30年度	169.95	8.85	3.22	4.99	00.00	4.99	20.61	54.09	54.25	1,29	8,53	0.16	160.98	8.97	7 28
	平成29年度	172.04	8.74	3.18	4.45	00.00	4.13	18.27	55.27	54.32	0.95	9.21	0.32	158.84	13.20	7 67
	平成28年度	172, 38	10.56	3, 13	4.95	00.00	4,95	22, 27	62, 51	44.53	0.99	11.05	00.00	164.94	7.44	1 39
	中 /	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	(田・銭)	C/A × 100(%)
			觀	觀	費	曹	曹	菜	觀	口費	色費	顺	経費	(B)	ပ	×
		А	中	中	R	굡	舞	點	长	償却	減耗	利	0	1111111	4-B)	V/V
	1	更:	30				-170			田	庵	払	の他	ilii C	販売利益(A-B)	拼
	农	供給単価	\prec	私	動	揪	~	表	受	漠	資	支	*		反売利	本
1	$ \times $	田			然		水		画			用			画	11

その他

(1) 車両保有状況

令和3年3月31日現在

		·						
所 属	車種	無線 番号	号車	種別・用途	車 両 番 号	乗車 定員	最 大 積載量	登録年月日
経営業	プリウスα	_		普通・乗用	野田300る5404	7人		平成26年 9月30日
経営業務課	エブリイ	3		軽・貨物	野田480き248	2[4]人	350 [250]kg	平成30年 9月4日
	サンバーバン	11	10	軽・貨物	野田480い7433	2[4]人	350 [250]kg	平成20年 6月18日
	デュトロ (給水車)	2	15	普通・特種	習志野800さ6985	3人	2,000kg	平成16年 9月29日
	キャンター トラック	9	9	小型・貨物	野田400た772	3人	2,000kg	平成27年 9月25日
水	ADバン	4	2	小型・貨物	野田400そ5910	2[5]人	450 [300]kg	平成23年 8月30日
道工工	バネットトラック	5	5	小型・貨物	野田400そ1745	3人	850kg	平成20年 6月 6日
務	ADバン	1	1	小型・貨物	野田400そ4428	2[5]人	450 [300]kg	平成22年 5月28日
課	ダイナ (給水車)	(8)	(16)	普通・特種	野田800さ3699	3人	2,000kg	平成13年 8月31日
	バン		18	軽・貨物	野田480き2655	2[4]人	350 [250]kg	令和元年6月20日
	バン		17	小型・貨物	野田400た5012	2[5]人	1,150 [900]kg	令和元年6月14日
	キャンター (給水車)	8	16	普通・特種	野田800す3043	3人	2,000kg	令和2年3月30日

(2)通信放送施設

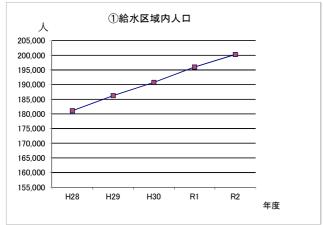
無	基地局	1台(呼出名称 ながれやまし)
線	陸上移動局	車載型 11台(呼出名称 ながれやまし1~11)
局	怪工物期间	可搬型 2台(呼出名称 ながれやまし101・102)
広報	別用拡声装置	11台

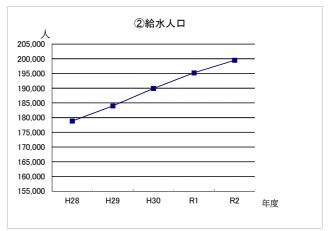
(3)緊急給水器具

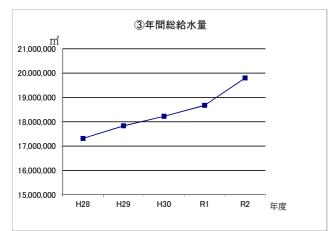
給水車	容量2トン 2台
	1,000リットル 18基 (コンテナ)
給水タンク	500リットル 4基(コンテナ)
	200リットル 3個
飲料水袋	6リットル 90,360袋
応急給水栓	4栓 48台

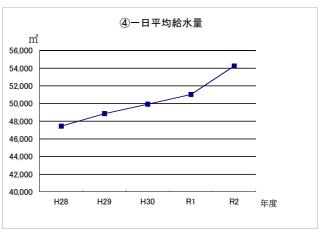
資料

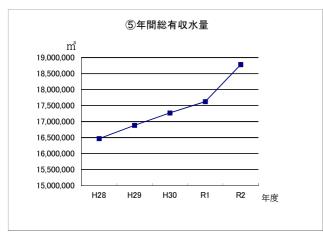
業務量の推移 (グラフ)

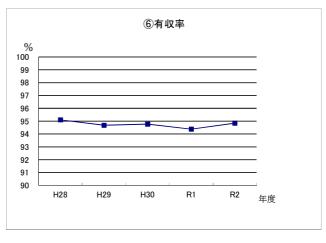


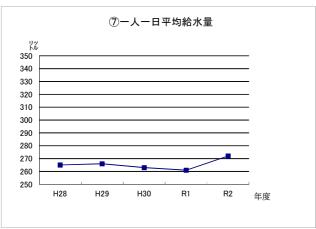












第3編

下水道事業

1 流山市下水道事業の経緯

(1)沿革

流山市の下水道事業は、生活環境の改善と公共用水域の水質保全という二つの目的を果たすために実施されている。

本市下水道計画はこれらの目的を果たすため、昭和 48 年 3 月に基本計画を策定し 9 回の見直しを経て現在に至っている。この間、江戸川左岸流域関連区域は 21 回、手賀沼流域関連区域は 11 回の事業計画の変更を行い、下水道整備を進めている。

本市は、江戸川流域別下水道整備総合計画等の上位計画に基づき、昭和48年3月に「流山市公共下水道基本計画」を策定している。

昭和 56 年度から第 5 次下水道整備 5 カ年計画が始まるのに合わせ、 下水道事業の緊急かつ計画的な整備を図るため、昭和 55 年度に基本設 計の見直しを実施している。

また、昭和60年1月に、上位計画である江戸川左岸流域下水道事業計画の第5次変更により、処分区の変更及び江戸川幹線のルート変更、接続点の位置変更が行われたことに伴い、同年3月に手賀沼流域下水道区域を含めた市全域の基本計画の見直しを行った。

その後、江戸川左岸流域下水道事業計画の上位計画である「江戸川流域別下水道整備総合計画」が「東京湾流域別下水道整備総合計画」に移行したことから、第6次変更において計画人口の変更、並びに流山幹線のルート変更により処理分区界が変更し、新たに接続点が追加になった。本市はこの変更を受け、昭和62年度において江戸川左岸流域関連区域の2,518ヘクタールを対象に基本計画の見直しを実施し、処理分区界の変更と一部汚水幹線の変更を行った。

平成元年3月に、上位計画である江戸川左岸流域下水道事業計画の第8次変更により、野田幹線ルートの変更による処理分区の分割、接続点の追加が行われたことに伴い、同年3月に江戸川左岸流域関連区域の2,518ヘクタールを対象に基本計画の見直しを行い、流山第1及び第3処理分区の施設計画の変更を行った。

平成5年9月には、上位計画である江戸川左岸流域下水道全体計画の変更案に整合させるべく、基本計画の見直しを行っている。その内容はフレーム、原単位の変更等の大規模な変更であった。

平成 13 年 10 月 に お い て も 人 口 及 び 原 単 位 の 見 直 し 、 処 理 分 区 界 の 一

部変更、幹線の追加・変更、調整池の追加に伴い、基本計画を見直し現 在に至っている。

平成 22 年度は上位計画である「東京湾流域別下水道整備総合計画」及び「利根川流域別下水道整備総合計画」と整合を図り、基本計画の変更を行い、主な変更内容は汚水量原単位、整備計画年度の改定等である。

平成 26 年度までは、地方公営企業法を適用せず経理を官庁会計方式で行ってきたが、効率的な事業運営を実施するため平成 27 年 4 月 1 日に地方公営企業法の適用を受け、経理を企業会計方式で行うこととした。

平成28年度に「流山市汚水適正処理構想」の見直しを行い、下水道計画区域について令和6年度末までに下水道(汚水)を概成する整備計画を策定した。

また、平成28年度・平成29年度の継続事業として、財政計画と投資計画の整合性を図るべく、平成30年度から令和9年度までの10年間を対象とした、流山市下水道事業経営戦略を策定し、令和2年3月には最新の推計値との整合を図るべく、今後の見通しを修正した。

(2) 下水道事業の変更経緯

流山市第1号公共下水道変更経過一覧表(江戸川左岸流域関連区域)

	通	決定及び変更年月日	面積 (ha)		日最大 汚水量 (m³/日)	事業費 (百万円)	目標年度又は 事業年度	変更内容
当初	全体計画		2, 518	154, 900	131, 225	387, 670 387, 670	998	※事業費は流山市第2号公共下水道を含む。
	計画決定	848.11.30(告示)	892	56,000	43,844	ı	ı	
当初	下水道法事業認可	848.12.15(認可)	200	13,600	13, 669	1,870	S48~S52	
1	都市計画法 //	848.12.28(告示)	200	13,600	13,669	1,870	S48~S52	
<u>[</u>	計画決定	S53.3.8(告示)	892	26,000	43,844	ı	ı	一部幹線ルート及び断面の変更
田 田	下水道法事業認可	S53.3.16(認可)	200	13,600	13, 669	1,870	S48~S57	一部幹線のルート及び断面の変更事業年度の変更
K K	都市計画法 //	S53.3.24(告示)	200	13,600	13,669	1,870	S48~S57	事業年度の変更
	計 画 決 定	S55.10.13(告示)	892	26,000	43,844	I	I	名都借都市下水路決定のため一部幹線の削除
淡画	下水道法事業認可	ı	-	I	-	-	ı	
	都市計画法 //	1	Ι	I	I	ı	I	
見直し	全体計画	\$56.3.	2, 518	154,900	131, 225	387,670	998	※事業費は流山市第2号公共下水道を含む。
[<u>[</u>	計画決定	S57.3.19(告示)	892	26,000	43,844	ı	ı	一部幹線のルート、延長及び断面の変更
形 1 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	下水道法事業認可	S57.8.24(認可)	333	21,608	19,677	11,481	S48~S63	区域の追加及び一部幹線の延長及び断面の変更、事業費、事業年度の変更
K K	都市計画法 //	S57.8.31(告示)	333	21,608	19,677	11,481	S48~S63	区域の追加、事業費、事業年度の変更
見直し	全体計画	\$60.3	2, 518	154,900	131, 225	110,600	998	処理分区及び幹線ルートの変更
[i	計画決定	S60.10.21(告示)	947	89,000	80,670	ı	ı	区域の追加、一部幹線のルート、延長及び断面の変更
田 旧	下水道法事業認可	S61.1.17(認可)	349	24,551	20,532	18, 719	S48~S65	区域の追加、一部幹線のルート、延長及び断面の変更,事業費、事業年度の変更
X X	都市計画法 "	S61.1.17(告示)	349	24,551	20,532	18,719	S48~S65	区域の追加、事業費、事業年度の変更
見直し	全体計画	\$62.3	2, 518	136,600	109, 354	110,600	870	人口の見直し並びに処理分区及び幹線ルートの変更
毎田田	計 画 決 定	S63.3.16(告示)	947	53, 925	47, 348	I	I	一部排水区域(汚水)の変更、一部幹線の追加及び位置、断面、延長の変更
	下水道法事業認可	863.6.7(認可)	396	27,700	17,769	19, 354	S48~S66	区域の追加及び一部幹線の延長及び断面の変更、事業費の変更
X	都市計画法 "	\$63.6.7(告示)	396	27,700	17,769	19, 354	S48~S66	区域の追加及び事業費の変更
見直し	全体計画	H元.3	2, 518	136,600	109, 354	110,600	TH.	処理分区及び幹線ルートの変更
	計 画 決 定	H元.8.28(告示)	1,391	97,839	76,859	I	I	区域の変更及び追加、一部幹線のルート、延長及び断面の変更
田 田 操	下水道法事業認可	H元.10.24(認可)	654	43,850	26,974	20,516	S48~H3	区域の変更及び追加、一部幹線のルート、延長及び断面の変更、事業費、事業年度の変更
X X	都市計画法 "	H元.10.24(告示)	654	43,850	26,974	20, 516	S48∼H3	区域の変更及び追加、一部幹線のルート、延長及び断面の変更、事業費、事業年度の変更

変更内容		事業費、事業年度の変更	事業費、事業年度の変更	一部汚水幹線の変更	区域の変更及び追加、事業費、事業年度の変更	区域の変更及び追加、事業費、事業年度の変更	区域の拡大、人口及び原単位の見直し、処理分区界の一部変更	人口及び原単位の見直し、処理区界、処理分区界の一部変更、一部幹線の変更	処理区及び処理分区の変更、一部幹線ルートの変更、追加、削除	区域の変更及び追加、一部幹線のルート、延長及び断面の変更、事業費、事業年度の変更	区域の変更及び追加、一部幹線のルート、延長及び断面の変更、事業費、事業年度の変更		区域の追加、一部幹線の延長及び断面の変更、事業費の変更	区域の追加、一部幹線の延長及び断面の変更、事業費の変更		区域の追加、一部幹線の延長変更、幹線の追加、事業費、事業年度の変更	区域の追加、一部幹線の延長変更、幹線の追加、事業費、事業年度の変更	人口及び原単位の見直し、処理分区界の一部変更、幹線の追加、変更、調整池の追加	区域の追加、幹線の削除、調整池の追加	区域の追加、幹線の延長及び断面の変更、幹線の追加、調整池の追加、事業費、事業年度の変更	区域の追加、幹線の延長及び断面の変更、幹線の追加、調整池の追加、事業費、事業年度の変更		区域の追加、幹線の延長及び断面、縦断の変更、幹線の追加、調整池ポンブ施設の変更、事業費、 事業年度の変更	区域の追加、幹線の廃止、調整池の変更、事業費、事業年度の変更		区域の追加、一部幹線の延長及び断面の変更、幹線の追加、事業費の変更	区域の追加、事業費の変更
目標年度又は 事 業 年 度	ı	S48~H6	S48~H6	1	S48~H8	S48~H8	H7	H22	1	S48~H12	S48~H12	I	S48~H12	S48~H12	1	S48~H15	S48~H15	H29	1	S48~H19	S48~H19	I	S48∼H22	S48~H22	I	S48~H22	S48~H22
事業費 (百万円)	ı	20,351	20, 351	ı	23,620	23,620	211, 795	194,317	ı	30,065	30,065	I	32,002	32,002	1	34,658	34,658		Ι	99,407	92,826	I	112,966	105,535	_	111,389	103,902
日最大 汚水量 (m³/日)	ı	29,671	29,671	87,604	39,771	39,771	108, 585	137, 947	90, 178	42,812	42,812	ı	41,445	41,445	ı	44, 408	44,408	78,560	73,982	42, 213	41,783	I	44,791	44,365	_	44,791	44,365
— (Х)	ı	48,580	48,580	107,600	66,300	66,300	155, 700	187,800	123,000	77,840	77,840	I	72, 590	72,590	I	75, 910	75,910	162,000	153, 330	87, 170	86,270	I	92,540	91,650	I	92,540	91,650
面積 (ha)	ı	654	654	1,391	814.87	814.87	2,873	2,871	1,389	913	913	ı	953	953	ı	666	666	2,871	1,908	1,591	1,457	I	1,664	1,530	I	1,664	1,530
決定及び変更年月日	ı	H4.3.21(認可)	H4.3.21(告示)	H5.3.5(告示)	H5.7.20(認可)	H5.7.20(告示)	H5. 9	Н9.3	H8.10.14(告示)	H9.3.14(認可)	H9.3.25(告示)	ı	H10.5.28(認可)	H10.6.16(告示)	ı	H12.7.18(認可)	H12.8.11(告示)	H13.10	H14.2.1(告示)	H14.7.31 (認可)	H14.10.4 (告示)	ı	H17.10.14 (認可)	H17.11.11 (告示)	ı	H20.9.19 (認可)	H20.10.7 (告示)
項目	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法 //	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法 //	全体計画	全体計画	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法"	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法"	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法 "	全体計画	計 画 決 定	下水道法事業認可	都市計画法"	計 画 決 定	下水道法事業認可	都市計画法"	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法 "
	T T	第八回	κ Κ	\$ 7	形 日 三 一 点	κ Κ	見直し	見直し	######################################	形/压	K K	# 1	歩 元 回 水 声 水 声	K K	[田 展	κ Κ	見直し		三	K K		第十二回			第十三回	愛 画

人口 日最大 汚水量 (人) 事業費 (百万円) 目標年度又は 事業年度		92,540 44,791 112,290 S48~H22 調整池の追加、事業費の変更		44,500 69,630 H36 人口及び原単位の見直し、処理区界の一部変更、調整池の追加		99,300 52,360 125,639 848~H27 区域の追加、幹線の追加、事業費の変更、事業年度の変更	30,490 48,200 116,995 S48~H27 区域の追加、事業費の変更、事業年度の変更		18,850 56,850 129,402 848~H27 区域の追加、幹線の変更、市野谷調整池の変更、事業費の変更	10,050 52,710 121,120 848~H27 区域の追加、幹線の変更、事業費の変更		18,850 56,850 129,308 S48~H27 幹線の変更、事業費の変更	1		20,260 57,520 137,762 S48~H30 区域の追加、幹線の追加、事業費の変更、事業年度の変更	20,260 57,520 137,762 848~H30 区域の追加、事業費の変更、事業年度の変更		20,260 57,520 138,659 S48~H30 幹線の変更、事業費の変更		37,280 66,200 —	22,650 58,030 146,555 S48~H34 区域の追加、事業費の変更、事業年度の変更	22,650 58,030 146,555 S48~H34 区域の追加、事業費の変更、事業年度の変更	1	工事分面过用用 FCII OFS 022 2FF 0FO 02	58,040
事業費 (百万円)	1	112,290	ı	9,630	ı			1		121,120	1		1		137,762	137,762		138, 659	1	3,200 —	146, 555	146, 555	1	58,040 147,550	
	ı	92,540 44	1	144, 500 69	ı	109, 300 52	100,490 48	ı	118,850 56	110,050 52	ı		-		120, 260 57	120,260 57		120, 260 57	-	137, 280 66	122,650 58	122,650 58	_	122,680 58	
日 同構 (ha)	ı	1,664	ı	2,872.2	ı	1,728	1,595	ı) 1,857	1,723	ı	1,857	ı		1,880	1,880		7) 1,880	ı	1,920	1,909	1,909	Ι	1,910	_
決定及び変更年月	I	H21.3.12 (認可)	ı	H22.	I	H22.7.13 (認可)	H22.7.13 (告示)	ı	H24.5.25 (協議了)	H24.6.8 (告示)	ı	H26.3.28 (協議了)	ı	1	(石籌法) 82.8.1SH	(元者) 71.7.72H	_	H27.11.17 (協議了)	-	H29.3.21 (告示)	H30.2.7 (協議了)	(岩) 12.2.08H	_	(石鰈姆) 5.6.0SH	
通	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法"	全体計画	計画決定	下水道法事業認可	都市計画法 //	計画決定	下水道法事業計画	都市計画法事業認可	計画決定	下水道法事業計画	巨 乙素量米厘444	計画決定	下水道法事業計画	巨 乙素量米厘444	計 画 決 定	下水道法事業計画	直認業 重法面提事務	計画決定	下水道法事業計画	正 乙二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	計画決定	厘 提業 量 采 東 平 上	
	[第十四回	K K	見直し	[] }	第十五回 条用	Ķ K	[] 	第十八回 条用	Ķ K	[] 	第十七回 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	K K	[i	11年	K K	<u>□</u> +	第十7屆	K K	1	田十一 世	K K	1		

※ 第九回変更以降の事業認可人口は水洗化を考慮した人口※ 目標年度又は事業年度は、事業計画変更時点での元号

流山市第2号公共下水道変更経過一覧表 (手賀沼流域関連区域)

標年度又は 変更 内容:業年度	998	ı	ı	1	S70 (H7)		S70 (H7)	ı	S70 (H7)		H17	ſ	H17 排水区域及び幹線ルートの見直し	H17 幹線と排水区域界の変更並びに区域の拡大	H3~H10	H3∼H10	117 区域の拡大、人口及び原単位の見直し、処理分区界の一部変更	H22 人口及び原単位の見直し、処理区界、処理分区界の一部変更、一部幹線の変更	- 江戸川左岸処理区より 2ha の編入による排水区域の拡大		3~ 12 区域の追加、事業年度の変更	3~ 15 事業年度の変更	H3~H15	H29 人口及び原単位の見直し、処理分区界の一部変更、幹線の追加、変更	3~ 15 区域 (雨水) の追加	3~ 15 区域 (雨水) の追加	- 区域の追加、幹線の追加、削除	13~119 区域の追加、幹線の延長及び断面の変更、幹線の追加、事業費、事業年度の変更
													ートの見直し	変更並びに区域の拡力				直し、処理区界、処理	り 2ha の編入による抄	度の変更	度の変更						追加、削除	延長及び断面の変更、
													水区域及び幹線ルート	泉と排水区域界の変更				コ及び原単位の見直し	= 左岸処理区より 2	或の追加、事業年度の		業年度の変更		コ及び原単位の見直し	或 (雨水)の追加	或 (雨水)の追加		或の追加、幹線の延長
目標年度又は 事業年度	998	1	1	-	S70 (H7)	ı	S70 (H7)	ı	S70 (H7)	1	H17	-			H3~H10	H3~H10			(IX) —				H3~H15				— X	
事業費 (百万円)	ı	1	Ι	1	ı	ı	20,900	ı	20,900	1	20,900	Ι	20,900	1	3, 111	3, 111	40,899	38,699	ı	5,380	5,380	6,548	6,548	Ι	7,120	7,120	_	14,949
日最大 汚水量 (m³/日)	25, 348	4,600	4,600	4,600	25, 348	4,600	25, 348	4,600	22, 348	4,060	22, 348	4,060	22, 348	4,960	3,881	3,881	22, 348	27, 430	6,940	3,490	3,490	3, 497	3, 497	13, 930	3, 497	3, 497	11,933	4,550
3	36,000	8,480	8,480	8,480	36,000	8,480	36,000	8,480	36,000	8,480	31,000	8,480	31,000	10,330	6,930	6,930	31,000	38, 200	14,460	6, 190	6, 190	6, 190	6, 190	29,000	6, 190	6, 190	24,860	9,490
画 (ha)	474	901	106	106	474	106	474	106	474	901	474	901	474	691	85	85	472	474	171	87	87	87	87	474	87	87	328	244
決定及び変更年月日	S48.3.	848.11.30 (告示)	S53.3.8 (告示)	S55.10.13 (告示)	S56.3.	S57.3.19 (告示)	860.3.	S60.10.21 (告示)	\$62.3.	863.3.16 (告示)	H元.3.	H元.8.28 (告示)	нз. з.	нз. 12.	H.3.21 (認可)	H.3.21 (告示)	H5.9	Н9.3	H8.10.14 (告示)	H11.2.22 (認可)	H11.3.9 (告示)	H13.2.14 (認可)	H13.3.2 (告示)	H13.10	H13.12.5 (認可)	H13.12.21 (告示)	H14.2.1 (告示)	H14.7.16 (認可)
	国	5.1	迅		恒	5000	阃	弘	圄	5000	圄	迅	圄	迅	百	法 "	画	恒	50000000000000000000000000000000000000	奏認可	洪 "	奏認可	法 "	画	拳認可	法 "		
Ш	体計	画	画	画	体計	画	体計	画	体計	画	体計	画	体計	画	下水道法事業認	市計画	体計	体計	画	下水道法事業認可	市計画	下水道法事業認可	市計画	体計	下水道法事業認可	市計画	画	下水道法事業認可
茰	₩	11111111	1111111	1111111	∜₩	11111111	₩	1111111	₩	11111111	∜₩	1111111	₩	11111111	K.	掣	₩	∜₩	1111111		幸		報	₩		都	1111111	
	当初	変更	変更	変更	見直し	※	見直し	変更	見直し	※	見直し	変更	見直し		当初		見直し	見直し	※	(株) (日本)		株 日 日 市	子 	見直し	络口口亦用	₩ <u>-</u> □%3	変更	第四回変更

	恤ノ															
変 更 内 容	区域の追加、幹線の延長及び断面の変更、幹線の追加、事業費、事業年度の変更	区域の追加、幹線の延長及び断面、総断の変更、事業費の変更	区域の追加、幹線の廃止、縦断の変更、事業費の変更	区域の追加、幹線の断面及び縦断の変更、事業費、事業年度の変更	区域の追加、事業費、事業年度の変更	一部の幹線の断面、延長の変更	区域の追加	人口及び原単位の見直し、処理区界の一部変更	区域の追加、幹線の追加、事業費、事業年度の変更	区域の追加、事業費、事業年度の変更	事業費、事業年度の変更	新市街地地区の追加、事業費、事業年度の延伸	雨水計画区域の追加、幹線の追加、事業費の変更	雨水計画区域の追加、事業費の変更	区域の追加、処理区界の変更、事業費、事業年度の変更	区域の追加、処理区界の変更、事業費、事業年度の変更
目標年度又は事業年度	H3~H19	Н3~Н19	H3~H19	Н3~Н22	H3~H22	H3~H22	I	H36	H3~H27	H3~H27	Н3∼Н30	Н3∼Н30	H3~H30	H3~H30	H3~H35	H3~H35
事業費 (百万円)	9,863	15,583	11,174	16,454	12,857	16,336	ı	ı	18,912	15,404	20,351	20,351	22,858	22,858	26,401	26,401
日最大 汚水量 (m³/日)	3,630	6,040	5, 100	6,300	4,670	6,300	9,070	10,220	8,460	3,530	8,460	8,460	8,460	8,460	8,840	8,840
" 3	7,560	12,580	10,640	13, 140	9,730	13, 140	19,100	21,500	18,010	7,500	18,010	18,010	18,010	18,010	19,000	19,000
面 (ha)	92	281	130	284	132	284	338	472.8	338	185	338	338	338	338	352	352
決定及び変更年月日	H14.10.4 (告示)	H17.10.14 (認可)	HI7.11.11 (告示)	H20.2.27 (認可)	H20.3.28 (告示)	H20.9.19 (認可)	H22.12.7 (告示)	Н23	H23.3.29 (認可)	H23.3.29 (告示)	H27.3.20 (協議了)	H27.7.17 (告示)	H27.11.17 (協議了)	H28. 1.26 (告示)	H30.9.6 (協議了)	H30.10.26 (告示)
ш	都市計画法"	下水道法事業認可	都市計画法"	下水道法事業認可	都市計画法"	下水道法事業認可	計画決定	全体計画	下水道法事業認可	都市計画法"	下水道法事業計画	都市計画事業認可	下水道法事業計画	都市計画事業認可	下水道法事業計画	都市計画事業認可
頂	第四回変更	第五回変更		第六回変更		第七回変更	変更	見直し	第八回変更		第九回変更		第十回変更		第十一回変更	

※ 第一回変更以降の事業認可人口は、水洗化を考慮した人口※ 目標年度又は事業年度は、事業計画変更時点での元号

2 令和2年度の事業概要

(1) 総括事項

令和2年度の下水道事業は、平成23年1月に策定した流山市流域関連公共下水道基本計画説明書(令和6年度まで)(以下「基本計画」という。)及び江戸川左岸流域関連公共下水道事業計画及び手賀沼流域関連公共下水道事業計画、並びに流山市下水道事業経営戦略に基づき、既成市街地の汚水管整備及び雨水管整備、つくばエクスプレス関連区画整理事業に伴う汚水管整備及び雨水管整備を実施した。

この結果、下水道普及率は前年度に比べ 1.12 パーセント増加し、91.92 パーセントとなった。

収入面においては、処理区域内人口(3.42 パーセント)及び処理区域面積(2.34 パーセント)の増加に伴い、年間有収水量が7.96 パーセント伸びたことにより下水道使用料収入が7.04 パーセント増加し、137,732,471円(税抜き)の増額となった。

費用面においては、営業費用の流域下水道維持管理費が 22.52 パーセント、202,500,086 円(税抜き)と大幅に増加した一方で、営業外費用の企業債利息が 10.25 パーセント、33,024,459 円(税抜き)減少したことにより、前年度と比較して費用全体では 6.97 パーセント、210,110,953 円(税抜き)の増額となり、損益では 269,120,212 円の黒字となった。

資本的収入においては、上下水道事業として一体的組織運営を行っているメリットを活用するため、水道事業会計からの借入金 8 億円を出資金に切り替え、さらに 2 億円の出資金受け入れを行い、下水道事業会計の経営の安定に努めた。

(建設事業)

既成市街地の汚水整備のうち、江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業については、西深井地区約3ヘクタール、美原地区約5ヘクタール、長崎地区約5ヘクタール、向小金地区約9ヘクタール、おおたかの森西地区約

2 ヘクタールの整備を行い、手賀沼流域関連公共下水道整備事業については、おおたかの森東地区約3ヘクタール、駒木地区約1ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。

雨水幹線の整備については、大畔雨水幹線整備事業のうち、雨水幹線工事 16 メートルの整備を行った。

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る汚水管整備として、運動公園周辺地区約8ヘクタール、木地区約1ヘクタールについて、区画整理事業の進捗と整合を図りながら整備をした。雨水管整備として、運動公園周辺地区約0.1ヘクタールの整備を行い、浸水対策を図った。

(業務の状況)

令和2年度末の排水区域人口は184,663人で、前年度に比べ6,105人増加し、下水道普及率は91.92パーセントとなった。

年間有収水量は 17,251,413 立方メートルとなり、前年度に比べ 1,272,553 立方メートルの増となった。

また、下水道使用料の不納欠損金処理は、173件、595,431円(税込み)で、前年度に比べ件数は42件の減、金額は17,423円の増となった。

令和2年度より環境政策課から移管された浄化槽普及事業については、 浄化槽補助申請件数11件、補助額9,204,000円となった。

(経理の状況)

収益的収入は、前年度に比べ税込みで 234,541,631 円の増となった。この主な要因は、営業収入においては下水道使用料の増加、営業外収益において他会計負担金が増加となったほか、特別利益が増加となったことによるものである。

収益的支出は、前年度に比べ税込みで 174,288,958 円の増額となった。 この主な要因は、流域下水道維持管理負担金や減価償却費が増加したこと によるものである。 この結果、令和 2 年度の損益は、税抜きによる収益的収入が 3,493,901,374円、収益的支出が3,224,781,162円で、差し引き269,120,212 円の純利益を計上することができた。

一方、資本的収入は 2,679,631,319 円 (税込み)で、前年度に比べ 5,592,078 円の減額となった。その主な要因は、つくばエクスプレス沿線 整備に係る工事負担金の減少によるものである。

資本的支出は3,845,277,778円(税込み)で、前年度に比べ653,025,406円の増額となった。その主な要因は、水道事業会計からの借入金を出資金に切り替えるため借入金8億円の償還を行ったことによるものである。

(2) 工事(税込み)

建設改良費(契約金額1,000万円以上)

合計 1,310,045,000円

ア 汚水管布設事業費

合計

480,128,000円

No.	工 事 名	金額(円)	概要	着工日	完成日
1	野田第5汚水枝線工事(E2-502)	39, 699, 000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=209m	R2.7.2	R3.2.10
2	第3-1汚水枝線工事(E2-311)	66, 473, 000	下水道用塩化ビニル管 φ150~φ200 L=575m	R2.8.14	R3.3.5
3	第7-1汚水枝線工事(E2-711)	80,080,000	下水道用塩化ビニル管 <i>φ</i> 200 L=446m	R2. 6. 16	R3.2.24
4	第7-1汚水枝線工事(E2-712)	48,840,000	下水道用塩化ビニル管 φ150~φ200 L=385m	R2.7.16	R3.2.1
5	第7-4汚水枝線工事(E2-741)	83, 930, 000	下水道用塩化ビニル管 <i>φ</i> 200 L=724m	R2.6.18	R3.3.26
6	第9-4汚水枝線工事(E2-942)	57, 519, 000	下水道用塩化ビニル管 <i>φ</i> 200 L=443m	R2.6.19	R3.2.5
7	駒木第2汚水枝線工事(T2-201)	71,720,000	下水道用塩化ビニル管 <i>φ</i> 150 L=728m	R2.7.16	R3.3.12
8	駒木第3汚水枝線工事(T2-301)	31,867,000	下水道用塩化ビニル管 <i>φ</i> 150 L=222m	R2.8.13	R3.3.30

イ 汚水管布設に伴う舗装復旧事業費

合計

89,958,000円

No.	工 事 名	金額(円)	概要	着工日	完成日
1	野田第5舗装復旧工事(ER2-501)	21,395,000	舗装工 3,620㎡	R2.10.22	R3.3.12
2	第2-1舗装復旧工事(ER2-211)	23, 980, 000	舗装工 3,706㎡	R2.8.14	R3.1.21
3	第3-1舗装復旧工事(ER2-311)	13,860,000	舗装工 2,110㎡	R2. 8. 13	R2.11.19
4	第7-2舗装復旧工事(ER2-721)	11,330,000	舗装工 2,123㎡	R2.11.13	R3.3.8
5	第7-4舗装復旧工事(ER2-741)	19, 393, 000	舗装工 3,550㎡	R2.10.22	R3.3.2

No.	工事名	金額(円)	概要	着工日	完成日
1	野田第5汚水枝線工事(E1-501)	124, 740, 000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=749m	R1.6.14	R2. 4. 13
2	第3-1汚水枝線工事(E1-311)	115, 390, 000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=754m	R1.7.11	R2.4.10
3	第7-2汚水枝線工事(E1-722)	56,320,000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=428m	R1.7.11	R2.5.22
4	第7-4汚水枝線工事(E1-741)	69,300,000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=678m	R1.7.11	R2.5.11
5	第7-4汚水枝線工事(E1-742)	86,240,000	下水道用塩化ビニル管 φ150~φ200 L=509m	R1.6.28	R3.3.10
6	第7-4汚水枝線工事(E1-743)	32,010,000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=202m	R1.8.8	R2.4.28
7	第8汚水枝線工事(E1-801)	93,720,000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=468m	R1.8.6	R2.11.12
8	第9-4汚水枝線工事(E1-941)	62, 205, 000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=486m	R1.8.8	R2.10.12
9	駒木第2汚水枝線工事(T1-201)	60,599,000	下水道用塩化ビニル管 φ150 L=610m	R1.10.24	R2.8.4
10	第4汚水枝線工事(E1-40A)	25, 190, 000	下水道用塩化ビニル管 φ200 L=228m	R2.3.19	R2.9.3
11	大畔雨水幹線工事	14, 245, 000	ボックスカルバート □1,900×1,300 L=15.6m	R2.3.11	R2.10.6

3 整備状況(下水道)

(1) 処理区別整備状況

令和3年3月31日現在

		項目	1			手賀沼処理区	江戸川左岸処理区	合計
着		手	時	È	期	平成4年	昭和48年	—
供	用	開	始	年	月	平成6年3月	昭和61年4月	—
全	体	計画	面	積	(ha)	472.8	2,872.2	3,345.0
整	備	面	秱	責	(ha)	309.6	1,570.7	1,880.3
整	備	延	£	ii.	(km)	88.0	471.6	559.6
全	体	計	画	人	П	21,500	144,500	166,000
現	在 処	理 区	域	内。	人口	33,565	151,098	184,663
現 設	在 置	水 済	洗	便 人	所 口	32, 397	139,066	171,463

(2)年度別整備状況

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
行 政 区 域 面 積 (ha)	3,532	3,532	3,532	3,532	3,532
市街化区域面積(ha)	2, 151	2, 151	2, 151	2, 151	2, 151
行政区域内人口 A	181,737	186,863	191,403	196,652	200,895
行政世帯(世帯)	74, 722	77,570	80,066	82,881	85, 364
全 体 計 画 面 積 (ha)	3,345	3,345	3,345	3,345	3, 345
全 体 計 画 人 口	166,000	166,000	166,000	166,000	166,000
認 可 面 積 (ha)	2,217.65	2, 246. 15	2,261.35	2, 261. 35	2, 261. 35
認 可 人 口	153, 220	155,860	156,740	156,740	156,740
現在処理区域内面積(ha)	1,658.19	1,739.41	1,793.42	1,837.41	1,880.33
現在処理区域内人口 В	154,864	162, 427	170,873	178,558	184,663
現在処理区域内世帯(世帯)	66,538	69,912	74,091	77,783	81,068
現 在 水 洗 便 所 設 置 済 人 口 C	143, 246	150,568	157,385	166, 125	171,463
現在水洗便所設置済世帯(世帯)	61,616	64,725	68,352	72,338	75, 194
普及率 (B/A)(%)	85.21	86.92	89.27	90.80	91.92
水洗化率(С/В)(%)	92.50	92.70	92.11	93.04	92.85

(3) 雨水管の整備状況

年度	雨水管の延長(m)
平成28年度	2, 106
平成29年度	1,075
平成30年度	2,752
令和元年度	1,496
令和2年度	815

(4) 東葛飾地区の下水道普及率

令和3年3月31日現在(単位:%)

順位	市町村名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
平均	千 葉 県 内	73.5	74.2	74.8	75.5	76.1
1	浦安市	99.7	99.6	99.6	99.7	99.8
2	流山市	85.2	86.9	89.3	90.8	91.9
3	柏市	90.0	90.2	90.3	90.3	90.5
4	船橋市	84.3	85.9	87.3	88.4	90.0
5	松戸市	84.9	85.5	85.9	86.5	87.2
6	我 孫 子 市	83.5	84.1	84.5	84.6	84.6
7	市川市	72.6	73.1	74.1	75.3	75.9
8	野田市	65.3	65.7	66.5	67.9	69.2
9	鎌 ケ 谷 市	64.0	65.2	66.2	67.1	68.0

※普及率(処理区域内人口÷行政人口×100)のみを基準にランク付け

(5) 口径別・布設年度別下水道管渠延長

· / F	汚水管)	(単位:m)
, ix	口径(mm) 布設年度	75	100	150	200	250	300	350	400	450	200	009	700	800	√ □
1	平成28年度末	168	343	120,555	120, 555 220, 823 143, 108	143, 108	9,406	7,158	3, 126	2, 799	2,746	1,651	2,713	107	514,703
<u> </u>	平成29年度末	168	511	125,004	125, 004 229, 166 143, 108	143, 108	9,900	7,317	3, 126	2,799	2,746	1,651	2,713	107	528, 316
<u> </u>	平成30年度末	252	511	130, 048 237, 165 143, 211	237, 165	143, 211	10,550	10,550 7,317	3, 148	2, 799	2,746	1,651	2, 939	107	542, 444
<u> </u>	令和元年度末	252	511	511 131, 165 251, 521 144, 737	251, 521	144,737	10,707	10,707 7,317 3,148	3, 148	2, 799	2,746	1,651	2, 939	107	559,600
- (令和2年度末	252	511	131, 825 264, 886 144, 737	264,886	144, 737	10,707 7,317		3, 148	2, 799	2,746	1,651	2,939	107	573,625

(6)調整池の施設

令和3年3月31日現在

調整池名	所在地	流域面積 (ha)	調整池容量(m³)	面積(㎡)
市野谷調整池	流山市おおたかの森南三丁目15	95, 88	89,600	33, 120
西平井調整池	流山市西平井三丁目24	43.70	32,000	15,000
新東谷調整池	流山市大字流山字新東谷965番12	152.87	32,000	9,100
大堀川8号幹線調整池	流山市おおたかの森北二丁目30	26.22	2, 173	400
슈計		318.67	155, 773	57,620

4 業務

(1)年度別処理水量、有収水量

年度 区分	年間処理水量(㎡) (A)	有収水量(m³) (B)	有収率(%) (=B/A×100)
平成28年度	17, 322, 461	14,052,387	81.1
平成29年度	17, 967, 209	14, 735, 284	82.0
平成30年度	19,027,022	15, 556, 450	81.8
令和元年度	19,666,027	15, 978, 860	81.3
令和2年度	21, 705, 849	17, 251, 413	79.5

(2) 水洗化普及促進

ア 水洗便所改造資金融資あっせん利子補給制度

項目	汲取り便所の改造	既設浄化槽の切替
融資あっせん額	10万円以上 60万円以内	10万円以上 40万円以内
利子補給額	年利 3%以内	年利 3%以内
償 還	36月以内	36月以内

イ 水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給利用状況

(単位:円)

							(十四,11)
区分	汲耳	文り	浄化	上槽	合	計	利子補給
年度	件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額
平成28年度			5	1, 150, 000	5	1, 150, 000	13,454
平成29年度			1	189,005	1	189,005	7,460
平成30年度			0	0	0	0	2,922
令和元年度			0	0	0	0	21
令和2年度			0	0	0	0	0
合計	0	0	6	1,339,005	6	1,339,005	23,857

(3)普及促進関連

ア 上下水道展

下水道事業への市民の理解と関心を深めるために、毎年 6 月上旬に開催している上下水道展を中心に啓蒙啓発活動を行っている。(令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

イ「下水道の日」

PRポスター、横断幕の掲示や広報ながれやまに掲載 9月10日は「下水道の日」であることや、公共下水道の啓発 及び雨水の侵入防止を呼び掛けている。



ウ 排水設備設置申請状況

(単位:件)

						(単位:件)
年度 処理区	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
野田第5処理分区					54	54
野田第6-3処理分区						0
流山第1処理分区	14	5	14	5	4	42
流山第1-1処理分区	15	40	28	39	20	142
流山第2処理分区	3			2	1	6
流山第2-1処理分区	146	87	155	105	64	557
流山第3処理分区	6	16	10	14	4	50
流山第3-1処理分区	96	46	106	192	168	608
流山第3-2処理分区	3			2		5
流山第4処理分区	78	67	81	72	75	373
流山第5処理分区	163	139	136	116	95	649
流山第6処理分区	132	107	119	116	105	579
流山第6-1処理分区	32	36	53	58	73	252
流山第6-2処理分区	56	53	42	56	44	251
流山第7処理分区				6	50	56
流山第7-1処理分区	13	20	21	21	22	97
流山第7-2処理分区	8	44	13	13	35	113
流山第7-3処理分区	32	21	24	17	15	109
流山第7-4処理分区	62	159	193	218	144	776
流山第7-5処理分区			1			1
流山第8処理分区	36	44	56	91	42	269
流山第9-1処理分区	15	21	33	15	11	95
流山第9-2処理分区	114	69	55	42	30	310
流山第9-3処理分区	83	62	99	68	107	419
流山第9-4処理分区	71	72	132	149	117	541
松戸第1処理分区		4	3	25	28	60
松戸第1-2処理分区	2	4	1	1	1	9
江戸川流域区域外	2	1	4	9	6	22
西原第1処理分区						0

(単位:件)

処理区	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
西原第2処理分区							0
西原第3処理分区		4	4	5	5	11	29
流山第1処理分区		30	27	17	17	29	120
流山第2処理分区		28	15	60	50	60	213
流山第3処理分区		48	85	47	69	8	257
駒木第1処理分区		138	160	148	94	77	617
駒木第2処理分区		49	65	54	32	97	297
駒木第3処理分区		36	52	31	66	27	212
駒木第4処理分区		16	70	53	67	104	310
柏第1処理分区		4	9	6	11	1	31
柏第14処理分区		4		2			6
手賀沼流域区域外	•					1	1
合計		1,539	1,604	1,802	1,863	1,730	8,538

5 料金等

(1)下水道使用料

単位:円(税込み)

現行	料金実施年月日	令和元年12月1日
基本	料金10㎡まで	990.00
	11~20m³	121.00
	21~30m³	148.50
超過料金	31~50m³	181.50
料金	51~100m³	214.50
	101~200m³	258.50
	201㎡以上	313.50
水量	水道水	水道使用水量
の第出	井戸水	世帯人員1人につき 8㎡

(2)下水道使用料徵収状況

(税込み)

年度	調定額(円)	収入額(円)	収納率(%)
平成28年度	1,867,759,968	1,684,897,280 (1,854,121,293)	90.21 (99.27)
平成29年度	1, 954, 778, 342	1,765,992,441 (1,940,225,217)	90.34 (99.26)
平成29年度	1, 954, 778, 342	1,765,992,441 (1,940,225,217)	90.34 (99.26)
令和元年度	2, 125, 013, 432	1, 905, 822, 792 (2, 109, 197, 503)	89.7 (99.26)
令和2年度	2, 302, 409, 762	2, 061, 239, 286 (2, 286, 119, 038)	89.5 (99.29)

^{※()}は納入期限内(各年の4月末まで)に納入された金額を含めたもの。

(3)下水道事業受益者負担金

ア 各負担区の状況

負担区の名称	認定年月日	lm ³ 当りの 単位負担金額(円)
流山第1負担区(江戸川左岸流域下水道地区)	昭和60年10月16日	620
流山第2負担区(手賀沼流域下水道地区)	平成5年4月1日	650
流山第3負担区(市街化調整区域)	平成23年4月1日	1,000

イ 徴収状況

年度	調定額(円)	収入額(円)	収納率(%)
平成28年度	132, 246, 878	132, 246, 878	100.00
平成29年度	130, 557, 067	130, 557, 067	100.00
平成30年度	151, 463, 965	151, 463, 965	100.00
令和元年度	101, 073, 170	101,073,170	100.00
令和2年度	113, 341, 270	113, 341, 270	100.00

6 財務

(1)予算・決算対照表(令和2年度)

<収益的収入及び支出> (単位:円・税込み)

	J. [/// \//\					(+ 12 · 13 /1000/07/
科		目		予算額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
下水道事	事業収益			3,554,600,000	3, 703, 142, 317	148, 542, 317
営	業	収	益	2,584,730,000	2, 558, 076, 562	\triangle 26, 653, 438
営	業外	収	益	969,870,000	1, 112, 340, 491	142, 470, 491
特	別	利	益		32, 725, 264	32, 725, 264
下水道事	事業費用			3, 493, 994, 000	3, 341, 799, 060	△ 152, 194, 940
営	業	費	用	3, 142, 402, 000	3, 052, 478, 292	△ 89,923,708
営	業外	費	用	321, 242, 000	289, 164, 326	\triangle 32,077,674
特	別	損	失	350,000	156, 442	△ 193,558
予	備		費	30,000,000		△ 30,000,000
	差 引			60,606,000	361, 343, 257	300, 737, 257
翌年度へ	繰越される則	才源充当	額			
	差引言	計		60,606,000	361, 343, 257	300, 737, 257

<資本的収入及び支出> (単位:円・税込み) ・ ス 質 類 に 比 ぶ

:	科 目	予算額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
資本	的収入	3,762,211,080	2,679,631,319	\triangle 1,082,579,761
-	企業債	1, 135, 600, 000	735, 400, 000	△ 400, 200, 000
1	他 会 計 出 資 金	1,000,000,000	1,000,000,000	0
1	他 会 計 補 助 金	216,000	312,000	96,000
	国 庫 補 助 金	1,060,291,000	665,690,000	\triangle 394,601,000
-	負 担 金	566, 103, 080	278, 229, 319	\triangle 287, 873, 761
	その他資本的収入	1,000		△ 1,000
資本	的支出	5, 388, 978, 080	3, 845, 277, 778	\triangle 1,543,700,302
	建設改良費	2,821,690,000	1,674,654,599	△ 1,147,035,401
	つくばエクスプレス沿線 整 備 事 業 費	678, 362, 080	291, 700, 780	△ 386,661,300
1	企業債償還金	1,078,926,000	1,078,922,399	△ 3,601
1	他会計借入金償還金	800,000,000	800,000,000	0
	予備費	10,000,000		△ 10,000,000
	差引	\triangle 1,626,767,000	\triangle 1, 165, 646, 459	461, 120, 541
翌年	度へ繰越される財源充当額		73, 400, 000	73, 400, 000
	差引計	△ 1,626,767,000	△ 1,239,046,459	387, 720, 541
Ī	前年度繰越工事資金	105, 550, 000	105, 550, 000	0
1113	前年度繰越資金			0
て	過年度分損益勘定留保資金	1, 422, 184, 000	1,041,273,414	\triangle 380, 910, 586
ん財	当年度分損益勘定留保資金			0
	消費税資本的収支調整額	99,033,000	92, 223, 045	\triangle 6,809,955
	計	1,626,767,000	1, 239, 046, 459	\triangle 387, 720, 541

[※]予算額は補正予算・流用及び予備費充当後の金額である。

(2) 比較損益計算書

(34)										CIL /	() X				
1997 1997		平成28年度	扯火	平成29年度	1147	平成30年度		令和元年	盐水	令和2年度	H-b/	3		40	(2)
3. 064,255, 163, 100.0 3. 175, 276, 100.0 3. 175, 276, 100.0 3. 175, 100.0 3. 299, 174, 342, 100.0 3. 299, 174, 342, 100.0 1. 124, 100.0 <th< th=""><th><u></u></th><th>額</th><th>構成比 (%)</th><th>金 額 (田)</th><th>構成比 (%)</th><th>額</th><th>構成比 (%)</th><th>額</th><th></th><th>額)</th><th>構成比 (%)</th><th>H29</th><th>Н30</th><th>R1</th><th>R2</th></th<>	<u></u>	額	構成比 (%)	金 額 (田)	構成比 (%)	額	構成比 (%)	額		額)	構成比 (%)	H29	Н30	R1	R2
1.947, 687, 988 64.2 2.286, 191, 178 70.4 2.286, 587, 344 68.7 2.386, 806, 405 61.2 104.6 114.8 1.947, 687, 985 64.2 2.137, 028, 418. 518 61.2 1.86, 40.11, 18. 61. 61. 61. 61. 61. 61. 61. 61. 61. 61	下水道事業収益	3, 034, 285, 163	100.0		100.0	376, 759	100.0	3, 299, 174, 342	99.9	3, 493, 901, 374	100.0			108.7	115.1
1.723-607,195 57.0 1.805,407.196 57.0 1.805,407.194 68.3 255,000.106 7.3 106.2 1	営業収益	1,947,697,095	64.2	2, 037, 028, 488	68.4	2, 236, 191, 178	70.4	2, 299, 597, 334		2, 348, 806, 405	67.2		114.8	118.1	120.6
1.000, 0.64, 0.65, 0	下水道使用料	1,729,507,195	57.0	1,810,084,372	60.7	1,888,201,570		1, 955, 407, 134	59.	2, 093, 139, 605	59.9	104.7		113.1	121.0
	雨水処理負担金	217, 476, 000	7.2	225, 155, 000	7.6	347, 133, 000	10.9	343, 484, 000	10.	255,000,000	7.3		159.6	157.9	117.3
1,000,043,7786 35.2 346,776,045 31.6 389,885,88 36.5	その他営業収益	713,900	0.0	1, 789, 116	0.1	826,608	0.0	706,200	' 0	666,800	0.0	250.6	120.0	98.9	93.4
287 334, 500 9.8 180,311,000 6.1 86,792,000 2.5 156,500 4.7 245,000,000 7.0 60.6 27.2 27.2	営業外収益	1,070,034,768		942, 726, 045	31.6	939, 185, 581	29.6	999, 577, 008	30.	1, 112, 372, 523	31.9	88.1	87.8	93. 4	104.0
1.38. 000 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	他会計負担金	297,334,000	9.8	180, 311, 000	6.1	80, 792, 000	2.5	156, 516, 000	4.	245,000,000	7.0	9 .09	27.2	52.6	82.4
1.3. 1.3.	他会計補助金	786,000		1, 356, 000	0.0	996,000	0.0	656,000		456,000	0.0	172.5	126.7	83.5	58.0
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	国庫補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		2,439,000	0.1	1	I	1	計掃
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	県補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		3, 203, 000	0.1	1	1		掃掃
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	長期前受金戻入	771, 522, 643	25.4	760, 557, 742	25.5	855, 635, 907	27.0	841, 304, 808	25.	860,782,647	24.7	98.6	110.9	109.0	111.6
16,563,300 0.6 0.0 0	雑収益	392, 125		501,303	0.0		0.1	1, 100, 200	0	491,876		127.8	449.3	280.6	125.4
正益 0	特別利益	16, 553, 300		0	0.0	0	0.0	0	0.	32, 722, 446	0.9	婚漢	極減	極減	197.7
益 16,553,300 0.6 0.0 0.0 0.0 0.0 6.0 7.2 7	過年度損益修正益	0	0.0	0	0.0	0				32, 721, 493	0.9				
2,940,830,634 100.0 2,981,421,288 96.2 3,099,498,242 102.9 3,014,670,209 93.5 3,224,781,162 100.0 100.14 105.4 2,529,445,258 86.1 2,597,340,392 83.8 2,715,189,570 90.1 2,687,283,752 83.3 2,924,713,185 90.7 100.2 102.7 107.3 194,592,597 5.2 164,107,742 5.3 174,5189,570 0.1 2,924,713,185 90.7 100.2 102.7 107.3 194,592,697 5.2 164,107,742 5.3 174,522,486 0.1 3,953,894 0.1 3,733,818,82 8.2,753,424 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 80,460,362 2.5 10,144,41,362 10,144,41,362 10,144,41,362 11,144,41,422 10,144,41,422 10,6	その他特別利益	16,553,300	9.0	0	0.0		0.0	0	0.0	953	0.0	皆減	皆減	皆減	0.0
業費用 2,529,445,258 86.1 2,597,340,392 83.8 2,715,189,570 90.1 2,687,283,752 83.3 2,924,713,185 90.7 100.2 4 107.3 管標費 154,592,397 5.2 164,107,742 5.3 174,532,780 6.1 3,953,894 0.1 3,879,875 0.1 100.2 4 10.9 業務費 1.955,780 0.1 2,002,336 0.1 4,552,436 0.1 3,953,894 0.1 3,879,875 0.1 100.4 77.4 業務費 88,992,649 3.1 79,583,413 2.6 83,168,613 2.8 80,460,362 2.5 82,733,42 0.1 3,879,875 0.1 100.4 77.8 総核費 54,642,783 1.9 54,872,482 1.8 43,070,158 1.4 34,890,97 1.1 33,315,035 1.0 100.4 77.8 機械費 1,378,731,445 46.9 1,420,905,365 2.3 352,104,113 1.0 28,93,445 1.1 14,515,000 0.4 10.0 10.0	下水道事業費用	2, 940, 830, 634	1(2, 981, 421, 288	96.2		102.9	3,014,670,209		3, 224, 781, 162	100.0	101.4	105.4	102.5	109.7
管集費154,592,5975.2164,107,7425.3174,532,7805.8175,157,3635.4160,798,4935.0100.24112.9水洗化普及指導費1,955,7800.12,002,3360.14,552,4360.13,953,8940.13,879,8750.1102.4217.4業務費89,932,6493.179,583,4132.683,168,6132.880,460,3622.582,753,2422.688.492.4総核費54,647,7831.954,872,4821.843,070,1581.434,369,0971.133,315,0351.0100.478.8海体情管理費1.378,731,44546.91.420,905,36648.71.444,199,20146.31.571,806,61947.4103.1110.8支払利息及び の の の の の の の の の の の の の の の 	営業費用	2, 529, 445, 258	86.1	2, 597, 340, 392	83.8		90.1	2, 687, 283, 752	83.	2, 924, 713, 185	7.06	102.7	107.3	106.2	115.6
水洗化普及指導費 1,955,780 0.1 2,002,336 0.1 4,252,436 0.1 3,953,894 0.1 3,879,875 0.1 10.24 217.4 業務費 89,992,649 3.1 79,583,413 2.6 83,168,613 2.8 80,460,362 2.5 82,753,242 2.6 88.4 92.4 総係費 54,642,783 1.9 54,872,482 1.8 43,070,158 1.4 34,369,097 1.1 33,315,035 1.0 100.4 78.8 海水槽管投費 849,530,004 28.9 875,869,053 28.3 952,010,015 3.6 899,143,835 27.9 1,101,643,921 3.2 10.1 34,369,097 1.1 14,516,000 0.4 77.8 18.8 瀬木村橋管理費 1,378,731,445 46.9 1,420,905,306 1.2 352,109,105 1.1 34,41,532,325 3.2 384,038,036 1.2 384,038,51 1.1 32,744 0.0 289,925,775 9.3 93.4 93.4 株村橋 411,323,236 1.3 37,31,30,5	管渠費	154, 592, 597		164, 107, 742	5.3	174, 532, 780		175, 157, 363	. G	160, 798, 493	5.0			113.3	104.0
 ※務費 89,992,649 3.1 79,583,413 2.6 83,168,613 2.8 80,460,362 2.5 82,753,242 2.6 82,753,242 2.6 88.4 92.4 92.4 92.4 92.4 92.4 92.4 92.4 92.4 92.4 92.6 92.1 92.4 92.6 92.7 92.1 92.7 92.1 92.7 92.1 92.4 92.7 92.4 92.4 92.4 92.4 92.4 92.7 92.4 92.7 92.4 92.7 92.4 92.7 92.4 92.7 92.7 92.7 92.7 92.8 92.8 92.8 92.8 92.8 92.8 92.8 92.9 92.7 92.4 92.8 92.9 92.7 92.4 92.9 92.7 92.4 92.7 92.4 92.4	水洗化普及指導費	1,955,780	0.1	2,002,336	0.1		0.1	3, 953, 894	0.1	3,879,875	0.1		217.4	202.2	198.4
総係費 54,642,783 1.9 54,872,482 1.8 43,070,158 1.4 34,369,097 1.1 33,315,035 1.0 100.4 78.8 浄化槽管皮費 0 0 0 0 875,869,053 28.3 952,010,015 31.6 899,143,835 27.9 1,101,643,921 34.2 103.1 105.8 維持管理費 411,323,295 13.9 384,035,025 12.4 384,098,908 12.8 327,345,551 10.2 299,925,757 9.3 93.4 93.4 英林利息及び 406,736,369 13.8 379,321,525 12.2 352,219,893 11.7 322,108,110 10.0 289,083,651 9.0 83.3 86.6 維支出 41,523,295 0.1 4,713,500 0.2 31,879,015 1.1 5,237,441 0.2 10,842,106 0.3 102.8 695.0 維支出 62,081 0.0 45,871 0.0 2209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 337.9 その他特別損失 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 0.0 142,220 0.0 73,93 337.9 その他特別損失 0.0 45,871 0.0 75,878,517 0.0 0.2 14,222 0.0 0.0 142,220 0.0 142,	業務費	89, 992, 649	3.1	79, 583, 413	2.6	168,		80,460,362		82, 753, 242				89.4	92.0
特化槽普及費 48.530.004 28.9 875,869.053 28.3 952,010,015 31.6 899,143,835 27.9 1,101,643,921 34.2 103.1 112.1 維持管理費 48.9 1,378,731,445 46.9 1,420,905,366 45.7 1,458,155,568 48.4 1,494,199,201 46.3 1,577,806,619 47.4 103.1 10.2 299,925,757 9.3 93.4 93.4 基外費用 411,323,295 13.9 379,321,525 12.2 384,098,908 12.8 327,345,551 10.2 299,925,757 9.3 93.4 93.4 支払利息及び 企業債取扱請費 406,736,369 13.8 379,321,525 12.2 352,219,893 11.7 322,108,110 10.0 289,083,651 9.3 93.4 93.4 機大出 4,066,736 0.0 4,713,500 0.2 31,879,015 1.1 322,108,110 0.0 289,083,651 9.3 93.4 93.4 確認 4,586,926 0.1 45,871 0.0 209,744 0.0 40,906 0.0	総係費	54,642,783	1.9	54, 872, 482	1.8	43, 070, 158		34, 369, 097	1.1	33, 315, 035	1.0	100.4	78.8	62.9	61.0
機特管理費 機構管理費 (株特管理費 (株特管理費 (大利島) 1,378,7131,445 46.9 1,420,905,366 45.7 1,458,155,568 48.4 1,494,199,201 46.3 1,527,806,619 47.4 103.1 105.8 10.2 299,925,757 9.3 93.4 93.4 93.4 24.4 1,494,199,201 46.3 1,527,806,619 47.4 103.1 105.8 10.2 299,925,757 9.3 93.4 93.4 93.4 24.4 1,494,199,201 46.3 1,527,806,619 47.4 103.1 105.8 10.2 24.4 1,323,295 13.9 384,035,025 12.2 352,219,893 11.7 322,108,110 10.0 289,083,651 9.0 93.3 86.6 22.8	浄化槽普及費	0	0.0							14,516,000					뭠椇
機が機制 (4.5) (4.6) (4.5)	流域下水道 維持管理費	849, 530, 004		875, 869, 053	28.3	952, 010, 015	31.6	899, 143, 835	27.	1, 101, 643, 921	34.2	103.1	112.1	105.8	129.7
集外費用 411,323,295 13.9 384,035,025 12.4 384,035,908 12.8 327,345,551 10.2 299,925,757 9.3 93.4 <td>減価償却費</td> <td>1, 378, 731, 445</td> <td>46.9</td> <td>1,420,905,366</td> <td>45.7</td> <td>1,458,155,568</td> <td></td> <td>1, 494, 199, 201</td> <td></td> <td>1, 527, 806, 619</td> <td>47.4</td> <td>103.1</td> <td>105.8</td> <td>108, 4</td> <td>110.8</td>	減価償却費	1, 378, 731, 445	46.9	1,420,905,366	45.7	1,458,155,568		1, 494, 199, 201		1, 527, 806, 619	47.4	103.1	105.8	108, 4	110.8
支払利息及び 406.736, 369 13.8 379, 321, 525 12.2 352, 219, 893 11.7 322, 108, 110 10.0 289,083,651 9.0 93.3 86.6 企業債取扱請費 4,586,926 0.1 4,713,500 0.2 31,879,015 1.1 5,237,441 0.2 10,842,106 0.3 102.8 695.0 期損失 62,081 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 337.9 高極年度損益修正損 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 337.9 その他特別損失 0.0 45,871 0.0	営業外費用	411, 323, 295		384, 035, 025	12.4	384, 098, 908		327, 345, 551	10.2	299, 925, 757	9.3		93.4	79.6	72.9
機支出 4,586,926 0.1 4,713,500 0.2 31,879,015 1.1 5,237,441 0.2 10,842,106 0.3 102.8 695.0 3 37.9 過程失 62,081 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 337.9 過程度損益修正損 62,081 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 337.9 その他特別損失 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	支払利息及び 企業債取扱諸費	406,736,369	13.8	379, 321, 525	12.2	352, 219, 893	11.7	322, 108, 110		289,083,651	9.0		86.6	79.2	71.1
助損失 62,081 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 37.9 過年度損益修正損 62,081 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 37.9 その他特別損失 0.0 </td <td>雑支出</td> <td>4,586,926</td> <td>0.1</td> <td>4, 713, 500</td> <td>0.2</td> <td>31, 879, 015</td> <td>1.1</td> <td>5, 237, 441</td> <td></td> <td>10,842,106</td> <td>0.3</td> <td>102.8</td> <td>695.0</td> <td>114.2</td> <td>236.4</td>	雑支出	4,586,926	0.1	4, 713, 500	0.2	31, 879, 015	1.1	5, 237, 441		10,842,106	0.3	102.8	695.0	114.2	236.4
画性度損益修正損 62,081 0.0 45,871 0.0 209,764 0.0 40,906 0.0 142,220 0.0 73.9 337.9 その他特別損失 0.0 <th< td=""><td>特別損失</td><td>62, 081</td><td>0.0</td><td>45, 871</td><td>0.0</td><td>209, 764</td><td>0.0</td><td>40,906</td><td>0.</td><td>142, 220</td><td></td><td></td><td>337.9</td><td>62.9</td><td>229. 1</td></th<>	特別損失	62, 081	0.0	45, 871	0.0	209, 764	0.0	40,906	0.	142, 220			337.9	62.9	229. 1
その他特別損失 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	過年度損益修正損	62, 081	0.0	45,871	0.0	209,764	0.0	40,906		142, 220	0.0		337.9	62.9	229.1
益 93,454,529 △ 1,666,755 75,878,517 284,504,133 269,120,212 ○ 1.8 81.2	その他特別損失				0.0		0.0	0		0	0.0		_		_
	損益	93, 454, 529		\triangle 1, 666, 755		75, 878, 517		284, 504, 133		269, 120, 212		△ 1.8	81.2	304.4	288.0

(3) 比較貸借対照表

ア 資産の部(税抜き)														
年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		すう勢	勢(平成28年)	すう勢(平成28年度を100とする	(2)
	金額	構成比	0611	050	10	6.0								
_	(田)	(%)	6711	ОСП	NI	7V								
固定資産	51, 940, 639, 310	96.1	52, 578, 581, 426	94. 2	53, 604, 101, 315	95.2	54, 079, 692, 463	95.7	54, 371, 292, 191	95.8	101.2	103.2	104.1	104.7
有形固定資産	44, 326, 106, 181	82.0	45, 056, 663, 707	80.7	46, 060, 568, 351	81.8	46, 652, 390, 583	82.6	47, 046, 311, 331	82.9	101.6	103.9	105.2	106.1
出	1, 336, 856, 623	2.5	1,336,298,903	2.4	1, 442, 441, 115	2.6	1, 442, 441, 115	2.6	1, 442, 441, 115	2.6	100.0	107.9	107.9	107.9
構築物	42, 904, 183, 148	79.4	43, 623, 673, 870	78.2	44, 534, 001, 868	79.1	45, 093, 926, 069	79.8	45, 561, 491, 861	80.3	101.7	103.8	105.1	106.2
機械及び装置	23, 625, 221	0.0	22, 206, 885	0.0	20,788,549	0.0	19,370,213	0.0	17, 951, 877	0.0	94.0	88.0	82.0	76.0
工具器具及び備品	452, 189	0.0	352, 928	0.0	253,667	0.0	324, 406	0.0	194, 545	0.0	78.0	56.1	71.7	43.0
建設仮勘定	60, 989, 000	0.1	74, 131, 121	0.1	63, 083, 152	0.1	96,328,780	0.2	24, 231, 933	0.0	121.5	103.4	157.9	39.7
無形固定資産	7,611,533,129	14.1	7, 518, 917, 719	13.5	7, 540, 532, 964	13.4	7, 424, 301, 880	13.1	7, 321, 980, 860	12.9	98.8	99. 1	97.5	96.2
施設利用権	7,611,533,129	14.1	7,518,917,719	13.5	7, 540, 532, 964	13.4	7, 424, 301, 880	13.1	7, 321, 980, 860	12.9	98.8	99. 1	97.5	96.2
投資その他の資産	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
出資金	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
流動資産	2, 113, 670, 785	3.9	3, 226, 630, 709	5.8	2, 726, 768, 763	4.8	2, 447, 181, 611	4.3	2, 344, 172, 101	4.2	152.7	129.0	115.8	110.9
現金預金	1,375,021,199	2.6	2,458,253,436	4.4	1,822,112,901	3.2	1, 751, 787, 391	3, 1	1, 738, 461, 879	3.1	178.8	132.5	127.4	126.4
未収金	497, 635, 086	0.9	460, 192, 273	0.8	656, 385, 862	1.2	447, 274, 220	0.8	400, 180, 222	7.0	92.5	131.9	89.9	80.4
前払金	240, 514, 500	0.4	308, 185, 000	0.6	248, 270, 000	0.4	248, 120, 000	0.4	205, 530, 000	0.4	128.1	103.2	103.2	85.5
その他流動資産	200,000	0.0	0	0.0		0.0	0	0.0	0	0.0	皆減	皆減	昭道	皆減
資産合計	54, 054, 310, 095	100.0	55, 805, 212, 135	100.0	56, 330, 870, 078	100.0	56, 526, 874, 074	100.0	56, 715, 464, 292	100.0	103.2	104.2	104.6	104.9
※構成比は資産合計が100.0%となるよう調整した。	10.0%となるよう計	調整した。												

# 	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		すっき	すう勢(平成28年度を100と	fo	(2)
科目	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	0611	ОСП	10	60
_	E)	(%)	(田)	(%)	(田)	(%)	(田)	(%)	(田)	(%)	6711	ОСП	I.	NZ
固定負債	17, 324, 279, 452	32.0	17, 678, 597, 892	31.7	17, 412, 050, 333	30.9	16, 311, 527, 934	28.9	15, 990, 604, 416	28.2	102.0	100.5	94.2	92.3
企業債	16, 924, 279, 452	31.3	16, 878, 597, 892	30.3	16,612,050,333	29.5	16, 311, 527, 934	28.9	15, 990, 604, 416	28.2	99.7	98.2	96.4	94.5
他会計借入金	400,000,000	0.7	800,000,000	1.4	800,000,000	1.4	0	0.0	0	0.0	200.0	200.0	皆減	皆減
流動負債	2, 524, 270, 057	4.7	3, 229, 861, 439	5.8	2, 322, 799, 108	4.1	2, 353, 121, 407	4.1	1, 564, 728, 295	2.8	128.0	92.0	93.2	62.0
企業債	1,067,282,452	2.0	1,088,381,560	2.0	1, 086, 247, 559	1.9	1,078,922,399	1.9	1,056,323,518	1.9	102.0	101.8	101.1	99.0
他会計借入金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	800,000,000	1.4	0	0.0	ı	1	型型	1
未払金	1, 388, 491, 112	2.6	1, 975, 412, 472	3.5	1,059,555,205	1.9	357, 752, 353	0.6	425, 223, 636	0.8	142.3	76.3	25.8	30.6
前受金	57, 500, 000	0.1	156, 200, 000	0.3	168, 020, 000	0.3	105, 550, 000	0.2	73, 480, 000	0.1	271.7	292.2	183.6	127.8
引当金	10, 463, 392	0.0	9, 305, 034	0.0	8, 106, 238	0.0	10,367,646	0.0	9, 162, 364	0.0	88.9	77.5	99. 1	87.6
その他流動負債	533,101	0.0	562, 373	0.0	870,106	0.0	529,009	0.0	538,777	0.0	105.5	163.2	99.2	101.1
綠延収益	28, 413, 996, 239	52.6	28, 852, 678, 932	51.7	29, 877, 503, 827	53.0	30, 159, 203, 790	53.4	30, 187, 990, 426	53.2	101.5	105.2	106.1	106.2
負債合計	48, 262, 545, 748	89.3	49, 761, 138, 263	89.2	49, 612, 353, 268	88.0	48, 823, 853, 131	86.4	47, 743, 323, 137	84.2	103.1	102.8	101.2	98.9
資本金	4, 362, 234, 616	8.0	4, 710, 223, 145	8.4	5, 310, 223, 145	9.5	6,084,434,907	10.7	7, 368, 939, 040	13.0	108.0	121.7	139.5	168.9
固有資本金	3, 638, 821, 181	6.7	3, 638, 821, 181	6.5	3, 638, 821, 181	6.5	3, 638, 821, 181	6.4	3, 638, 821, 181	6.4	100.0	100.0	100.0	100.0
出資金	658, 628, 000	1.2	913, 162, 000	1.6	1, 513, 162, 000	2.7	2, 213, 162, 000	3.9	3, 213, 162, 000	5.7	138.6	229.7	336.0	487.9
組入資本金	64, 785, 435	0.1	158, 239, 964	0.3	158, 239, 964	0.3	232, 451, 726	0.4	516, 955, 859	0.9	244.3	244.3	358.8	798.0
剰余金	1, 429, 529, 731	2.7	1, 333, 850, 727	2.4	1, 408, 293, 665	2.5	1, 618, 586, 036	2.9	1,603,202,115	2.8	93.3	98.5	113.2	112.1
資本剰余金	1,336,075,202	2.5	1, 335, 517, 482	2.4	1, 334, 081, 903	2.4	1, 334, 081, 903	2.4	1, 334, 081, 903	2.3	100.0	6.66	6.66	6.66
受贈財産評価額	1, 329, 466, 623	2.5	1,328,908,903	2.4	1, 328, 908, 903	2.4	1, 328, 908, 903	2.4	1, 328, 908, 903	2.3	100.0	100.0	100.0	100.0
負担金	814,197	0.0	814, 197	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	100.0	皆減	皆減	皆減
他会計負担金	5, 794, 382	0.0	5, 794, 382	0.0	5, 173, 000	0.0	5, 173, 000	0.0	5, 173, 000	0.0	100.0	89.3	89.3	89.3
利益剰余金	93, 454, 529	0.2	\triangle 1,666,755	0.0	74, 211, 762	0.1	284, 504, 133	0.5	269, 120, 212	0.5	△1.8	79.4	304.4	288.0
当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	93, 454, 529	0.2	△ 1,666,755	0.0	74, 211, 762	0.1	284, 504, 133	0.5	269, 120, 212	0.5	△1.8	79.4	304.4	288.0
資本合計	5, 791, 764, 347	10.7	6,044,073,872	10.8	6, 718, 516, 810	12.0	7, 703, 020, 943	13.6	8, 972, 141, 155	15.8	104.4	116.0	133.0	154.9
負債・資本合計	54,054,310,095	100.0	55, 805, 212, 135	100.0	56, 330, 870, 078	100.0	56, 526, 874, 074	100.0	56, 715, 464, 292	100,0	103.2	104. 2	104.6	104.9

- 79 -

(4) 資本的収支表

× +	1 1 6 4		1 5 6 4		1 2 2 4		1 1 5		1		# 4	1	1	
/	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		すう郷	すう勢(平成28年度を100とする)	ぎを100と9	<u></u>
	金額(円)	構成比 (%)	金額(円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	H29	Н30	R1	
資本的収入	2, 960, 609, 306	100.0	2, 946, 580, 332	100.0	3, 271, 495, 355	100.0	2, 674, 039, 241	100.0	2, 679, 631, 319	100.0	2 '66	110.5	90.3	
企業債	951,600,000	32. 1	1,042,700,000	35.4	819,700,000	25. 1	778, 400, 000	29. 1	735, 400, 000	27.5	109.6	86. 1	81.8	
他会計出資金	145, 190, 000	4.9	254, 534, 000	8.6	600,000,000	18.3	700,000,000	26.2	1, 000, 000, 000	37.3	175.3	413.3	482.1	
他会計借入金	400,000,000	13.5	400,000,000	13.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	100.0	皆減	些 減	
他会計補助金	510,000	0.0	240,000	0.0	208,000	0.0	48,000	0.0	312,000	0.0	47.1	40.8	9.4	
国庫補助金	890,720,000	30.1	764,880,000	26.0	738, 280, 000	22. 6	750, 520, 000	28. 1	665, 690, 000	24.8	85.9	82.9	84.3	
負担金	570, 580, 362	19.3	480,709,527	16.3	1,110,125,916	33.9	430, 663, 602	16.1	278, 229, 319	10.4	84.2	194.6	75.5	
その他資本的収入	2,008,944	0.1	3,516,805	0.1	3, 181, 439	0.1	14, 407, 639	0.5		0.0	175.1	158.4	717.2	
資本的支出	3, 550, 364, 211	100.0	3, 248, 361, 260	100.0	3, 590, 646, 639	100.0	3, 192, 252, 372	100.0	3, 845, 277, 778	100.0	91.5	101.1	89.9	
建設改良費	1, 222, 244, 477	34.4	1,528,107,968	47.0	1,766,721,899	49. 2	1,902,901,393	59.6	1, 674, 654, 599	43.5	125.0	144.5	155.7	
つくばエクスプレス沿線整備事業費	1,283,028,560	36. 1	652, 970, 840	20.1	735, 543, 180	20.5	203, 103, 420	6.4	291, 700, 780	7.6	50.9	57.3	15.8	
企業債償還金	1,045,091,174	29.5	1, 067, 282, 452	32.9	1,088,381,560	30.3	1,086,247,559	34.0	1, 078, 922, 399	28.1	102.1	104.1	103.9	
他会計借入金償還金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	800,000,000	20.8	I			
坂	△ 589,754,905	1	△ 301,780,928	1	\triangle 319, 151, 284	ı	\triangle 518, 213, 131	I	\triangle 1, 165, 646, 459	I				
翌年度へ繰越される支出の財源充当額	70,500,000	I	85,600,000	1	126, 100, 000	I	105, 550, 000	ı	73,400,000	I				
引 計	\triangle 660, 254, 905	I	△ 387,380,928	-	\triangle 445, 251, 284	ı	\triangle 623, 763, 131	ı	\triangle 1, 239, 046, 459	I				
前年度繰越工事資金	126, 500, 000	19.1	70,500,000	18.2	85,600,000	19. 2	126, 100, 000	20.2	105, 550, 000	8.5				
前年度繰越資金		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
過年度分損益勘定留保資金	280, 577, 441	42.5	245, 439, 209	63.4	316, 893, 445	71.2	434, 145, 880	9.69	1, 041, 273, 414	84.0				
当年度分損益勘定留保資金	179, 354, 444	27.2		0.0		0.0		0.0		0.0				
消費稅資本的収支調整額	73,823,020	11.2	71,441,719	18.4	42, 757, 839	9.6	63, 517, 251	10.2	92, 223, 045	7.5				
和	660, 254, 905	100.0	387, 380, 928	100.0	445, 251, 284	100 0	623, 763, 131	100 0	1, 239, 046, 459	100 0				

(5) 固定資産明細書(令和2年度)

午昨士僧扣士洨宣	小	115	61	7.1	45	98	33	<u>=</u>
年 中 士 //	十万十二万十	1, 442, 441, 115	45, 561, 491, 8	17, 951, 877	194, 545	47, 022, 079, 3	24, 231, 933	47,046,311,33
	累計額		0 7, 225, 449, 516 45, 561, 491, 861	6,877,416	526,905	0 7, 232, 853, 837 47, 022, 079, 398		0 7, 232, 853, 837 47, 046, 311, 331
」累計額	当年度減少額		0	0	0	0		0
減価償却	当年度増加額		1, 283, 468, 895	1, 418, 336	129,861	1, 285, 017, 092		1, 285, 017, 092
	期首累計		5, 941, 980, 621	5, 459, 080	397,044	5, 947, 836, 745		5, 947, 836, 745 1, 285, 017, 092
午昨士祖左宣	十万十九九百	1, 442, 441, 115	52, 786, 941, 377	24, 829, 293	721,450		24, 231, 933	54, 279, 165, 168
光午中海小館	山井承蒙子岳	0	0	0	0	0	84, 596, 847	84, 596, 847
以 午		0	1,751,034,687	0	0	1,751,034,687	12, 500, 000	1, 763, 534, 687
佐	十 女	1, 442, 441, 115	51, 035, 906, 690	24, 829, 293	721,450	52, 503, 898, 548	96, 328, 780	52, 600, 227, 328 1, 763, 534, 687
报 会	用の価	出	構 築 物	機械及び装置	工具器具及び備品	- 単	建設仮勘定	石
	か C 毎 新 午年出が頂大き 34年時七十8 34年時148 44年時148 44年時148 44年日14日 44年日14日 44年日14日 44年日 4	減 価 償 却 累 計 額 首 累 計 当年度増加額 当年度減少額 累	産の種類 年度当初現在高 当年度増加額 当年度減少額 年度未現在高 期首累計 当年度増加額 当年度減少額 累 地位 1,442,441,115 0 1,442,441,115	産 の 種 類 年度当初現在高 当年度増加額 当年度減少額 年度未現在高 期 首 累 計 当年度増加額 当年度増加額 当年度増加額 当年度増加額 当年度増加額 当年度増加額 当年度減少額 業 物 51,035,906,690 1,751,034,687 0 52,786,941,377 5,941,980,621 1,283,468,895	類 年度当初現在高 当年度增加額 当年度減少額 年度未現在高 期 首 累 計 当年度增加額 当年度減少額 地 1,442,441,115 0 1,442,441,115 二十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五	年度当初現在高 1,442,441,115当年度増加額 1,442,441,115年度未現在高 期 首 累 計 	産 の 種 類 	産 の 種 類 度 の 種 類 (1,442,441,115)当年度増加額 当年の660当年度減少額 31,035,906,690当年度増加額 31,035,906,690当年度増加額 31,035,906,690当年度増加額 31,035,906,690当年度増加額 31,035,906,690当年度増加額 32,185,133当年度減少額 32,185,133当年度増加額 32,183,468,895当年度減少額 32,183,468,895当年度減少額 32,183,468,895当年度減少額 32,183,235当年度均加額 32,185,017,092当年度減少額 32,185,017,092設 仮 勘 定96,328,78012,500,00084,596,84724,231,9335,947,836,7451,285,017,0921

7, 321, 980, 860	242, 789, 527	0	140, 468, 507	7, 424, 301, 880	11111111	⟨□
7, 321, 980, 860	242, 789, 527	0	140, 468, 507	7, 424, 301, 880	利用権	施設
年度末現在高	当年度減価償却高	当年度減少額	当年度増加額	年度当初現在高	の種類	資産
(単位:円)				産明細書	無形固定資産	イ)無

(6) 企業債償還表

(単位:円)

					(1124 13/
年度	区分	前年度末 未償還残高	当年度発行額	当年度償還額	未償還残高
	公共下水道債	15, 095, 469, 924	783, 700, 000	866, 727, 629	15,012,442,295
	流域下水道債	2,899,370,816	167, 900, 000	173, 522, 010	2,893,748,806
H28	資本費平準化債(公共下水道)	50,000,000			50,000,000
	資本費平準化債(流域下水道)	40, 212, 338		4,841,535	35, 370, 803
	計	18, 085, 053, 078	951,600,000	1,045,091,174	17,991,561,904
	公共下水道債	15, 012, 442, 295	801, 400, 000	892, 243, 930	14, 921, 598, 365
	流域下水道債	2, 893, 748, 806	141, 300, 000	170, 122, 170	2,864,926,636
H29	資本費平準化債(公共下水道)	50,000,000	100,000,000		150,000,000
	資本費平準化債(流域下水道)	35, 370, 803		4,916,352	30, 454, 451
	計	17,991,561,904	1,042,700,000	1,067,282,452	17, 966, 979, 452
	公共下水道債	14, 921, 598, 365	565,000,000	907, 436, 745	14,579,161,620
	流域下水道債	2,864,926,636	154, 700, 000	169, 795, 327	2,849,831,309
H30	資本費平準化債(公共下水道)	150,000,000	100,000,000	6, 157, 099	243, 842, 901
	資本費平準化債(流域下水道)	30, 454, 451		4,992,389	25, 462, 062
	計	17, 966, 979, 452	819, 700, 000	1,088,381,560	17,698,297,892
	公共下水道債	14, 579, 161, 620	645, 500, 000	914, 203, 934	14, 310, 457, 686
	流域下水道債	2,849,831,309			2,817,959,834
R1	資本費平準化債(公共下水道)	243, 842, 901		6, 184, 649	237, 658, 252
	資本費平準化債(流域下水道)	25, 462, 062		1,087,501	24, 374, 561
	計	17, 698, 297, 892	778, 400, 000	1,086,247,559	17, 390, 450, 333
	公共下水道債	14, 310, 457, 686	597,600,000	903, 994, 956	14,004,062,730
	流域下水道債	2,817,959,834	137, 800, 000	167, 604, 745	
R2	資本費平準化債(公共下水道)	237, 658, 252		6,210,589	231, 447, 663
	資本費平準化債(流域下水道)	24, 374, 561		1, 112, 109	
	計	17, 390, 450, 333	735, 400, 000		

(7) 経営指標

通		東 田 瀬 磯	H28	年 H29	H30	度 R1	R2	令和元年度 県内同 全国 規模平均 規模	5年度 全国同 規模平均	説
<u>資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益、</u> 自己資本構成比率 負債資本合計	資本金+剩余金+評価差額等+繰延収益、 負債資本合計	× 100%	63.3	62. 5	65.0	67.0	69.0	67.7	63. 1	総資本(負債・資本合計)とこれを構成する資本(資本金・剰余金・ 評価差額等・繰延収益)の関係を示す。自己資本構成比率が高いほ ど経営の安全性は大きい。
固定資産対長期資本比率 <u>国本金+剰余金+評価懲額等</u> +固定負債+機返収益 ×	×	100%	100.8	100.0	99.3	99.8	98.6	100.7	100.7	固定資産の購入・建設の財源の分析であって、固定資産に対する 資本(資本金、剰余金、評価差額等、繰延収益)と固定負債の割合 を示す。100以下を理想とし、越えれば固定資産に過大投資とな る。
	動 資 産 動 負 債	× 100%	83.7	99.9	117.4	104.0	149.8	90.9	1	資金繰りの状況を示す比率で短期債務に対応すべき流動資産 が十分にあるかを示す。 指数は、200以上が理想。
<u>現金預金+(未収金-貸倒引当金)</u> <u>現金預金+(未収金-貸倒引当金)</u> ×]	<u>-貸倒引当金)</u> × . 債	100%	74.2	90.4	106.7	93.5	136.7	85.5	1	流動負債に対する現金預金及び未収金から貸倒引当金を差し引いた合計の割合で、数値は大きい程良い。 適正比率は100%以上。
総収支比率 総収支 法 100% (2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.	坂 益費 用	%00	103.2	99.9	102.4	109.4	108.3	105.1	113.7	総費用に対する総収益の割合で、指数は高い程良い。
	常収益 常費用 ×	100%	102.6	99.9	102.5	109.4	107.3	105.2	104.5	経常費用に対する経常収益の割合で、指数は高い程良い。
処理区域内人口一人あたりの 企業債残高 企業債残高 (千円/人)		7) 116	111	104	97	92	117	114	処理区域内人口一人あたりの企業債残高を示す。
普及率 処理区域内人口 行政区域内人口 × 100%		%(85.2	86.9	89.3	90.8	91.9	88.4	I	下水道事業の整備状況を表しており、公共下水道事業として の普及率を示す。
<u> </u>		%0	93.3	97.8	102.9	107.6	111.2	95.5	100.3	全体計画に対しての進捗状況を人口割合で示したもの。
処理区域内人口密度		'ha)	93	93	95	97	98	109	98	処理区域面積lhaあたりの処理区域内人口の割合を示す。
有収率 年間有収水量 年間汚水処理水量		%0	81.1	82.0	81.8	81.3	79.5	79.7	80.0	処理水量に対し、どのくらいの有収水量があったかを示す。 指数は100に近いほど不明水が少なく効率的である。
水洗化率 水洗便所設置済人口 × 100% 処理区域内人口 × 100%		%00	92.5	92.7	92.1	93.0	92.9	93, 3	97.0	処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を 処理している人口の割合を示す。

					中		度		令和元年度	年度	
	項 目	算 出 基 礎		H28	H29	Н30	R1	R2	県内同 規模平均	全国同 規模平均	説明明
	使用料単価	使用料収入 年間有収水量	(円/㎡)	123.1	122.8	121.4	122.4	121.3	139.7	115.3	115.3 汚水1㎡あたりの使用料収入。
	汚水処理原価	将 水 処 理 費 年間有収水量	(円/㎡)	140.1	140.0	142.5	123.6	130.0	144.8	114.5	114.5 汚水1㎡あたりに係る処理費用。
	汚水処理原価 (維持管理費)	円) 	(円/㎡)	79. 1	77.0	80.0	71.9	74.9	77.7	61.4	61.4 汚水1㎡あたりに係る維持管理費。
湖 河	汚水処理原価 (資本費)		(円/㎡)	61.0	63.0	62.5	51.6	55.1	67.1	53.1	汚水1㎡あたりに係る資本費(減価償却費・企業債利息等)。
6	経費回収率	使用料収入 污水処理費 ×	× 100%	87.9	87.8	85.1	99.0	93.4	98.3	100.7	使用料で汚水処理に要した費用をどの程度賄えるかを示す。 指数は高いほどよい。
赘	経費回収率(維持管理費)	使用料収入 汚水処理費(維特管理費) ×	× 100%	155.7	159, 5	151.7	170.1	162.1	180.5	187.8	187.8 使用料で維持管理費をどの程度賄えるかを示す。
举 机	処理人ロー人あたりの維持管理費 (汚水分)	維持管理費(汚水分) (円処理区域内人口	(日/人)	7, 174	6, 987	7, 286	6, 437	6, 994	7,333	6, 403	処理区域内人口一人あたりにかかっている維持管理費で、効 率的な維持管理状況を示す。
	処理人ロー人あたりの資本費 (汚水分)	資本費(汚水分) 処理区域内人口	(円/人)	5, 538	5, 713	5,692	4,622	5, 147	6,353	5, 537	処理区域内人口一人あたりにかかっている資本費 (減価職客費・企業債利息等) を示す。
	職員一人あたりの処理区域内人口	処理区域内人口 職 員 数	(\(\/\)	9,110	9, 555	10,680	11, 160	9,233 (11,541)	7,964	6, 455	6,455 職員一人あたりの処理区域内人口を示す。
	職員給与費対営業収益比率	職 員 給 与 費 苯甲二二苯甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲	× 100%	5.3	5.5	5.2	4.2	4.0	4.5	5.5	営業収入に対する職員給与費の割合で、営業収益が職員にど の程度分配されているかを示す。

※()内の数値は再任用職員および会計年度任用職員数を除く。

7 その他

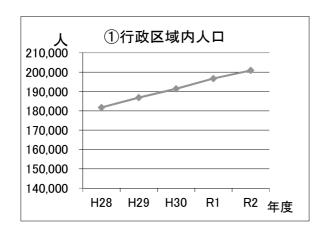
(1) 車両使用状況

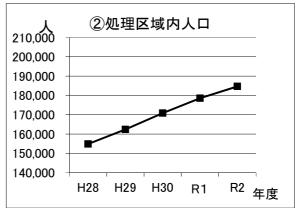
令和3年3月31日現在

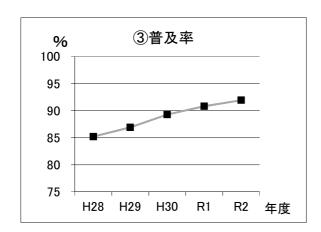
所属	車	種	無線 番号	種別	・用途	車	両	番	号	乗車 定員	最 大 積載量	登	録	年	月	日
下水道	スクラム			軽・	貨物	野田	480v	`3874		2[4]人	350 [250]kg	平	成19	9年6.	月22	П
建設課	ADバン			小型	・貨物	野田	400そ	1746		2[5]人	450 [300]kg	平	成2	0年6	月6	П

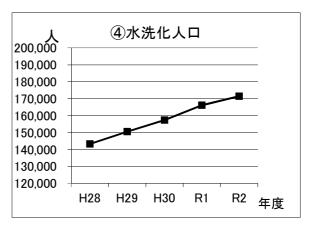
資料

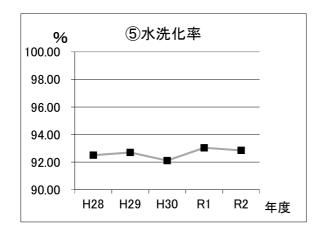
整備状況及び業務量の推移(グラフ)

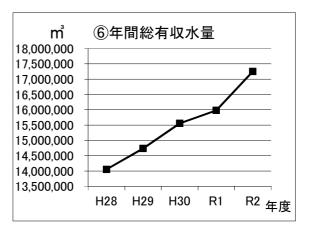


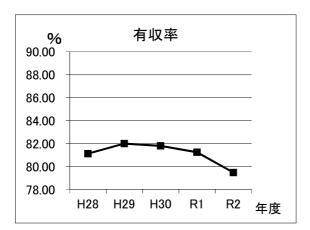












第4編

用語の説明

水道事業用語の説明

ア行

語句	説明
あつりょくしききゅうそくろか 圧力式急速ろ過	急速ろ過法の一つで、密閉した鋼板製の槽内で原水に圧力をかけて急速ろ過を行うもので、縦型と横型があります。重力式と比べて、原水の圧力を利用してろ過機から直接浄水を圧送できる、所要面積が小さく建設が早い、負圧ろ過を行わないことから、ろ槽内の空気発生障害が起きない、外部からの汚染を受けにくいといった長所があります。
并戸	地下水を汲み上げるために、人工的に作られた設備のことをいいます。対象とする帯水層や井戸の構造などによって、いろいろな種類に分けられています。一般的に深度が10~30m程度を浅井戸、30m以上を深井戸と呼んでいます。流山市では、深度150m~250m程度の深井戸を使用しています。
^{おうきゅうきゅうすいじょ} 応急給水所	災害や渇水などで断水が起きた場合に、あらかじめ指定した場所において、飲料水を供給するところです。流山市では、市内の全浄水場(4箇所)と8箇所の小学校が応急給水拠点となっています。

カ行

語句	説明
_{見吹うすい} 給水	給水申込み者に対し、配水管から直接分岐して、給水装置を通じて必要とする量の飲用に適する水を供給することです。配水管から分岐して水道メーターを通して給水を行う管を給水管といいます。
表表示 State	水道事業者が厚生労働大臣の認可を受け、一般の需要者に応じて給水を行うこと とした区域のことです。流山市では、市内全域が給水区域となっています。
the state of the	需要者に水を供給するために、水道事業者の設置した配水管から分岐して設けられた給水管、及びこれに直結する給水用具をいいます。
空気弁	管路中に混入あるいは水中から遊離した空気を管路外への排出、及び工事などの 排水時の吸気機能を有している弁のことをいいます。
原水	浄水処理する前の水をいいます。水道原水には大別して地表水と地下水があり、 地表水には河川水、湖沼水、貯水池水が、地下水には伏流水、井水などがありま す。
高度浄水処理	通常の浄水処理では十分に対応できない臭気物質、トリハロメタン前駆物質、色度、アンモニア性窒素、陰イオン界面活性剤などの処理を目的として、通常の浄水処理に追加して導入する処理のことをいいます。代表的な高度浄水処理の方法としては、オゾン処理法、活性炭処理法、生物処理法、及びエアレーションがあり、処理対象物質などによってこれらの処理方法が単独、またはいくつかの組み合わせで用いられています。流山市では、平成26年12月から高度浄水処理をした水を給水しています。

サ行

語句	説明
次亜塩素酸ナトリ ウム	次亜塩素酸ナトリウムは塩素剤の一種で、塩素剤の使用目的は酸化と消毒の2つがあります。塩素の酸化力を利用して、マンガンや鉄の酸化、アンモニア性窒素の分解などが行えます。また消毒剤として、塩素の強い殺菌作用を利用して、微生物や病原菌などを殺菌し、水の安全性を確保しています。
Let E 色度	水中に含まれる溶解性物質、及びコロイド性物質が呈する黄褐色の程度をいいます。水槽水においては、配管等からの鉄の溶出などによって色度が高くなることがあります。精製水1リットル中に白金イオン1mg、及びコバルトイオン0.5mgを含むときの呈色に相当するものを1度としています。水道水質基準では「5度以下であること」とされています。

比明 什切弁	管路中の水の流れを制御する制水弁の一種です。弁体が上下あるいは左右に動き、水を垂直に遮断して止水する構造のものです。
取水	地表水、河川水、湖沼水、ダム水、及び地下水から適切な取水施設を使い、原水を取り入れることをいいます。取水施設には、河川、湖沼などでは取水堰、取水門、取水塔、取水枠、取水管渠があり、地下水では浅井戸、深井戸、集水埋渠があります。
cost in 受水	水道事業者が、水道用水供給事業から浄水の供給を受けることをいいます。流山市では、北千葉広域水道企業団から受水しています。 また、水道事業者から供給される水を利用者が水槽に受けることも「受水」といいます。
^{じゅすいそう} 受水槽	給水装置からの水を直接受水するための水槽をいいます。直結給水方式ができない場合、または需要者が常時一定の水量を使用する場合などに設置されます。建築基準法により、衛生上、及び保守管理上必要な構造0上の基準が定められています。水槽に使用する材質として、鋼板・ステンレス鋼板・プラスチック・木材などがありますが、使用目的、使用方法に適した材質を選定する必要があります。
序水処理	水道水としての水質を得るために、原水水質の状況に応じて水を浄化することをいいます。流山市では主に、塩素消毒とろ過機により浄水処理しています。
水質基準	水を利用し、供給し、または排出する際に、標準とすべき基準のことをいいます。個々の目的に応じて基準内容は様々であり、また、基準の形式及び制定主体もいろいろあります。主な法的基準としては、水道法(水道水)、下水道法(公共下水道への排除及び下水道終末処理放流水)、水質汚濁防止法(特定施設排出水)などがあります。
がいこけんされて質検査	配水池水や給水栓水のような浄水について水質試験を行い、その結果を水質基準項目ごとの基準値や塩素消毒の基準に照らして、適合しているかどうかを判定することをいいます。水道では、水道法施行規則及び通知により、定期及び臨時の水質検査の項目、頻度、採水場所等が定められていますが、必要に応じて水質検査・試験を行い、水源の水質監視、浄水処理工程の水質管理、送・配・給水施設における水質管理を行うことが重要となります。
送水	浄水場で処理された浄水を配水池などまで、管路などによって送ることをいいます。送水に使用する管路のことを送水管といいます。

タ行

語句	説明
tiple state of the state of th	耐震継手を有するダクタイル鋳鉄管、鋼管、及び水道用ポリエチレン管をいいます。ダクタイル鋳鉄管の耐震型継手とは、S形、SⅡ形、NS形、GX形など離脱防止機構付き継手をいいます。流山市では主に、水道用ポリエチレン管、GX形及びNS形の鋳鉄管を使用しています。
たいしんてきごうせいのあるかん 耐震適合性のある管	「耐震適合性のある管」とは、耐震管以外でも耐震性能があると評価できる管のことをいいます。地盤の条件や、管の継手の種類により判断しています。流山市では、ダクタイル鋳鉄管のK形継手について、地盤条件により「耐震適合性のある管」としています。
だくたいるちゅうてつかん ダクタイル鋳鉄管	鋳鉄に含まれる黒鉛を球状化させたもので、鋳鉄に比べ、強度や靭性に富んでいます。施工性が良好であるため、現在水道用管として広く用いられています。
邁度	水の濁りの程度をいいます。精製水1リットル中に、標準カリオン1mgを含むときの濁りに相当するものを1度としています。水道水質基準では、「2度以下であること」とされています。給水栓中の濁りは、給・配水施設や管の異常を示すものとして重要となります。

ながないまい、	浄水場などへ流入する原水の水位動揺を安定させ、水位調整と流入量測定を行う ために設ける池、あるいは枡のことをいいます。流山市では、井戸から取水した
4371	原水が各浄水場の着水井に流入しています。
中央監視制御方式	複数の制御対象施設などの有機的運用と、効率的・一元的管理を行うために導入される集中管理方式のことをいいます。監視制御システムは中央管理室に設置する監視盤、操作卓、計算機設備などと施設、機能単位に設置するプロセスコントローラ及びデータウェイなどで構成されています。中央監視制御方式とは、中央管理室において、オペレータが施設の運転・監視を行い、集中監視、分散制御を基本とするものです。流山市では、おおたかの森浄水場で、中央監視制御を行っています。
たっけっきゅうすいほうしま 直結給水方式	給水装置の末端である給水栓まで、貯水槽を経由せず、管で連続して直接給水する方式をいいます。貯水槽の管理が不要となるばかりでなく、貯水槽内での夏季の水温上昇もなくなり、水道局が保証する水質を蛇口までお届けすることができます。
^{どうすい} 導水	取水施設を経た水を浄水場まで導く施設を導水施設といい、原水を取水施設から 浄水場まで送ることを「導水」といいます。導水に使用する管路を導水管と呼ん でいます。
どろはきべん 泥吐弁	配水管の洗浄を行うために設置している制水弁のことをいいます。配水管の新設、または連絡管工事を行った場合は、管内の異物やよごれを除くため、管の洗浄を行う必要があります。

ハ行

語句	説明
はいすい 配 水	浄水場において製造された浄水を、水圧、水量、水質を安全かつ円滑に需要者に 輸送することをいいます。配水に使用する管路のことを配水管と呼んでいます。
はいずいかんもう 配水管網	網目状に配置された配水管のシステムのことをいいます。配水本管と配水支管からなり、道路下に網目状に配置されることから管網と呼んでいます。配水本管は管網の主要な構成管路で、配水枝管へ浄水を輸送する役割だけで給水管への分岐はありません。一方で、配水支管は、本管から受けた浄水を給水管に分岐する役目を持っています。 配水管網による配水の利点は、各給水点は複数の経路からの供給が可能となるため、消火時など局地的な大量使用の場合にも圧力降下が軽減されること、工事及び事故時の断水の影響範囲を小さく抑えることができること、また、末端部の管内の水の停滞がなくなり、水質悪化の恐れが小さいことです。
配水施設	配水池、配水塔、高架タンク、配水管、ポンプ及びバルブ、その他付属設備から 構成される配水のための施設をいいます。
虚いすいち 配水池	給水区域の需要量に応じて適切な配水を行うために、浄水を一時貯える池のことをいいます。配水池容量は、一定している配水池への流入量と時間変動する給水量との差を調整する容量、配水池より上流側の事故発生時にも給水を維持するための容量、及び消火用容量を考慮し、一日最大給水量の12時間分を標準としています。
ばたぶらいべん バタフライ弁	円筒状の弁体を弁棒に固定し、弁棒の回転により開閉する構造のバルブです。他のバルブと比べて軽量で、開閉に要するトルクも小さく流量特性が良いため、流量制御用として多く使用されています。
^{ふせつがえ} 布設替え	古い管を撤去し、新しい管を布設することです。管体の強度不足、継手からの漏水、管内面の錆こぶによる通水断面の減少や赤水の発生など、機能上の問題を解消するために行う同口径の布設替えと、必要な通水能力に口径を拡大する増径布設替えがあります。
ふだんすいこうほう 不断水工法	水道管など圧力水管を断水することなく工事を行う施工方法のことです。
where 分岐工事	水道管路を他へ分岐する工事のことで、配水管から配水管、配水管から給水管に 分岐します。主に配水管から分岐して各戸へ給水管を引き込む工事のことをいい ます。

ぱりえちれんかん ポリエチレン管

プラスチック管の一種で、接合方法は熱融着による方法と機械的に管を締めつけて接続する方法があります。流山市では、口径150mm以下の配水管については主にポリエチレン管を使用しており、電気による加熱融着をして管を接合しています。ポリエチレン管は軽量で耐寒性、耐衝撃性に優れており、他の管種に比べて可撓性に富んでいて、地盤変動に対して影響が少ないなどの利点があります。

マ行

語句	説明
むこうすいりょう 無効水量	使用上無効と見られる水量のことです。配水本支管、メーターより上流部での給水管からの漏水量、調定減額水量、他に起因する水道施設の損傷などにより無効となった水量、及び不明水量をいいます。
まていでんでんけんそうち 無停電電源装置	商用交流電源の停電や、電圧などの変動が、電気設備の機能や動作に重大な支障を生じないように、無停電で定電圧、低周波数の交流入力を負荷に供給する装置で、電子計算機、計装設備などの電源に用いられています。整流器、インバータ及び蓄電池で構成せれており、常時は商用交流入力を整流器及びインバータで交流に変換して負荷に電力を供給し、万一商用交流入力が停電した場合、蓄電池からの直流入力をインバータにより交流に逆転換して、負荷に電気を供給するものです。
がっきん 滅菌	対象とする物体に付着、あるいは混入しているすべての微生物を、芽胞を含めて 完全に死滅させるか、あるいは完全に取り除いてしまうことです。すなわち、微 生物がまったく存在していない無菌の状態にする操作をいいます。

ヤ行

語句	説明
ゅうこうすいりょう 有効水量	給水量の分析を行うにあたっては有効水量と無効水量に分類され、有効水量はさらに有収水量と有効無収水量に区別されます。使用上有効と見られる水量が有効水量で、メーターで計量された水量、もしくは需要者に到達したものと認められる水量並びに事業用水量などをいいます。
ゅうこうむしゅうすいりょう 有効無収水量	配水量のうち料金徴収の対象とならなかった水量です。事業用水量、消火栓水量、メーター不感水量があり、料金その他の収入がない水量をいいます。
ゅうしゅうすいりょう 有収水量	料金徴収の対象となった水量、及び他会計等から収入のあった水量です。他会計からの収入には、公園用水などがあります。
ようすいしけん 揚水試験	井戸の適正な揚水量を決定し、また帯水層の性状を把握するために行う試験のことをいいます。段階揚水試験、帯水層試験、群井試験などがあります。段階揚水試験は限界揚水量、及び比湧出量を求めるための試験であり、帯水層試験は透水係数や貯留係数など帯水層の状況を把握するための試験です。また、群井試験は、複数の井戸のある地域の安全揚水量を求めるための試験となります。

ラ行

語句	説明
ライニング	水道管、トンネル、装置などの表面を防食、保護などの目的で他の物質をある程度の厚みをもって被覆することをいいます。無機、有機、金属の各被覆材量があり、その方法としては、散布、焼付け、はり合わせなどがあります。
漏水	漏水には、地上に漏れ出して発見が容易な地上漏水と、下水管などに流入して地下に浸透するように発見が困難な、潜在漏水になりやすい地下漏水とがあります。件数で比べると、90%相当が給水管関係の漏水と見られており、管の材質、老朽度、土壌、腐食、地盤沈下、施工不良、または、舗装厚、大型車両化による路面荷重、そして他工事における損傷など、ありとあらゆる要因が漏水を発生させる原因となります。

下水道事業用語の説明

ア行

語句	説明
雨水	宅内や道路に降った雨のこと。合流式下水道では汚水と一緒に、分流式下水道で は汚水と別で流します。
えだかん 枝管	各宅地に設置されている「公ます」から、下水本管へ接続している管のこと。
えるじこう 上字溝	L型をした、コンクリート製の排水施設のことです。道路や通路などの両側または片側に設置し、降雨時の道路排水を目的に設置されます。U字溝とは違い、宅内から出た雨水の処理が出来ないため、東京都などにおける合流式での使用が多く見られます。分流式での使用は、L字溝の下にU字溝を組み合わせたLUタイプにしたり、汚水管の他に雨水管を埋設する必要があります。
えんかびにるかん 塩化ビニル管	硬質塩化ビニル製の管材です。現在の下水道管の主流。コンクリート管に比べると軽量なことから設置が容易です。また、腐食に強いことも特徴です。ただし、太陽光に弱いため、屋外における露出排管には向いていません。肉厚タイプなのがVP管、肉薄タイプがVU管で、主に下水ではVU管を使用します。
塩ビ人孔	硬質塩化ビニル製マンホールのこと。コンクリート製に比べると、軽量、コンパクトなので設置が容易です。また、安価であることから経済性にも優れています。ただし、強度的に大型車両などが通行する道路には使用が難しいほか、管理がやりにくいなどの問題があります。
污水	トイレ、台所、風呂場、洗面所など雨水以外の排水。単独浄化槽ではトイレの排水のみを浄化していますが、公共下水道では、生活排水すべてを取り込み、終末処理場へ運ばれます。店舗、営業所、工場などの施設も同様です。

力行

語句	説明
がはくこうほう 開削工法	下水管を布設する地面を「直接堀り、管を布設し、埋め戻す」を、繰り返して施工する工法。掘削が深くなると矢板などを使用し、土留めを行いながら布設していきます。流山市内幹線以外のほとんどの下水管はこの工法で行われています。
改良土	リサイクル土の一種。土木工事などから出た掘削土を、埋め戻し土として使用できるように改良された土のこと。これにより、新材の使用がなくなり、環境破壊を防止することになります。現在下水道工事の埋め戻し土は、この改良土を使用しています。
管径	管の内径の寸法のこと。管の口径とも言います。一般的に宅内排水管は塩化ビニル製100ミリメートルを、下水本管は塩化ビニル製150ミリ以上を使用しています。管径の決定には流量や流速、勾配などから計算し割り出します。
幹線	上流方向から来る各枝線の汚水を収集し、流域下水道(流域下水道の場合は、終末処理場)へ流す役割をしている管のことです。基本的に処理分区ごとに一つの 汚水幹線が受け持つことになります。
かんでいだか 管底高	管内側の底の部分。この高さで管の勾配を決めていきます。
かんどめ 管止め	下水本管を布設し、公ますを各宅地に設置する際、何らかの理由で、ますを設置することが出来ないとき、枝管の先をキャップでふさぎ、埋設させておくこと。後に、宅内排水設備を公共下水に接続する際に、公ますを設置します。管止めになる理由として、水道やガス、宅内排水管が障害となったり、公共下水に切り替える工事を行うときに公ますを設置するほうが、効率的な場合などが考えられます。
** ⁵ * ⁵ * ⁵ **************************	下水管の布設工事がおわり、居住者の生活排水を公共下水道に直接放流することが可能になった区域のことです。対象区域は下水道法に基づく告示を行います。
グリストラップ	業務用厨房に設置が義務づけられている油脂分離阻集器のことです。排水に含まれる生ゴミや油脂などの汚濁物質を分離収集して直接下水道に流されないように一時留めておく装置のことをいいます。特に油脂に関しては、下水管を詰まらせる一番の原因です。油脂が下水管の中を流れるうちに冷やされて固まってしまうからです。つまりを防ぐには、定期的な清掃をし、つねにグリストラップの性能を落とさないようにすることが大切です。

げまいどうりょうきん 下水道料金	公共下水道の施設がいつまでも本来の目的を果たすためには維持管理を行わなければなりません。その費用にあてるための料金のこと。
SPANA 鋼管	金属にて造られた管のこと。主に鋳鉄管やステンレス管などがあり、ポンプなど で圧送された汚水を流す時に使用されます。
こうきょうげすいどう 公共下水道	主として市街地における下水を排除し、または処理するために、地方公共団体が管理する下水道です。公共下水道のうち、終末処理場を有するものを単独公共下水道、流末を流域下水道に接続するものを流域関連公共下水道と呼びます。流山市は「江戸川左岸流域下水道」及び「手賀沼流域下水道」に接続していますので、流域関連公共下水道になります。
Spidio 勾配	傾斜の傾きの度合いのことです。下水道では主に管の傾斜のことをさします。管 勾配とも言います。
公ます	公共下水道の入口。各宅地内から出た汚水を公ますで受け、公共下水道に流す役割を果たしています。正式には公共汚水ますと言い、市で管理しています。
ごうりゅうしき 合流式	汚水と雨水を一つの管で排除する方式。早くから下水道に着手した東京都などの 大都市は合流式を採用しています。汚水と雨水を別々の管で排除する分流式に比 べると、施工が容易で経済的であるといえますが、反面雨が降り、処理場の処理 能力を超える流量になると、河川や海に直接放流される場合があります。反対 語:分流式。
コミプラ	コミュニティープラントの略で集中浄化槽のことです。大規模宅地開発により汚水処理を一括して行う施設のことで、これにより、各宅地に浄化槽はいらなくなります。また、公共下水道が整備されたときには、浄化槽の流入口を下水道に接続するだけで、利用可能になる利点があります。

サ行

語句	説明
ţーびţかん サービス管	幹線などで、地下深いところに管が埋設されている場合、公ますの取り出し工事が容易に行えません。そこで、浅い箇所にも下水管を布設し、取り込みをしやすくするための管が「サービス管」です。
実施設計	実際工事を発注するにあたり、施工するために必要な工法、設計図面、数量などを検討する作業のことです。
にいけずいどうごうになん 指定下水道工事店	排水設備工事に必要な専門的知識と技術を持った専属の技術者がいて、適切な工事と事務手続きを行うことができる工事店として市が指定している工事店のことです。排水設備工事を行う際は、必ず指定下水道工事店に依頼しなければなりません。
に 市道	市が管理している道路のことです。市道を中心に下水道整備を行っていきます。
私道	「わたくしどう」とも呼びます。個人管理の道路のことで、下水道整備時には、 私道を利用している住民の方からの申請が必要になります。また、その申請時に 土地(道路)所有者からの承諾も必要になります。
終末処理場	下水管にて運ばれてきた汚水を処理して、きれいな水に変える施設です。河川や海の水質を保全します。「江戸川左岸流域下水道」では市川市、「手賀沼流域下水道」では我孫子市に処理場があります。
Cipatile Services 受益者負担金	みなさまの税金だけで下水道事業を行えば「税負担の公平」を欠くことになります。そこで、下水道が整備され、その利益を受ける地域の土地所有者の方々から事業費の一部を負担していただくのが、受益者負担金です。
<u></u>	一つの汚水幹線が受けもつ処理範囲のこと。地形や地質などの自然条件を調査 し、決めていきます。
しょりくいきないじんこう 処理区域内人口	流山市内のうち、公共下水道が利用できる区域に住んでいる人口です。
汽乱	マンホールのこと。材質や大きさによりいろいろな種類があります。コンクリート製では、内径60センチメートルの0号から始まり、内径220センチメートルの5号人孔まであります。他に、小口径マンホールの硬質塩化ビニル製やレジンコンクリート製などがあります。マンホールは英語でmanholeと書き、直訳すると「人孔」ということになります。

ずいしんこうほう 推進工法	推進機という機械で地中を押し進みながら下水管を布設していく工法です。主に 幹線のように地上から深い場所や、水路などにより開削できない場所にて行いま す。ただし、推進機を発進させるための立坑というものが必要になります。
水洗化人口	公共下水道が利用できる区域に住んでいる人のうち、実際に公共下水道に接続 し、利用している人口です。
ずいせんかりつ(せつぞくりつ) 水洗化率(接続率)	下水道水洗化率といい、公共下水道が利用できる区域に住んでいる人のうち、実際に公共下水道に接続している人を率で表したものです。

タ行

>11	
語句	説明
大体以此ずいせつび 宅内排水設備	公ますに接続するまでの、個人または法人管理の排水施設のことです。
たて <u>こう</u> 立坑	推進機を発進させるための穴のことです。使用機械の大きさにより立杭の大きさ も変わってきます。
地質調査	建築や土木構造物の基礎調査の一種です。機械ボーリングやサゥンディングにより、土質の調査を行います。この調査から得られた土の種類、固さ、含水比、重さ、粒径などを基に土の特性を見極め、設計へと反映させます。
調整池	集中豪雨などで急激に水量が増加した場合に、河川が氾濫しないよう、河川の流 下能力を超える恐れのある雨水を一時的に溜めておき、後で徐々に放水するため の施設です。
つ ^{がた} 鉄ぶた	マンホールの入口に使われる鋳鉄製のふたのことです。通行車両や、マンホールの大きさによりいろいろタイプを使い分けます。
主被り	埋設されている管やケーブルの上端から地面までの距離のことです。現在、下水道管は最小値1メートルで設計を行っています。土留め土砂の崩壊を防ぐため、 矢板などで土をおさえておくことです。

ナ行

語句	説明
認可区域	下水道法第4条により、公共下水道を設置しようとするときは、あらかじめ国土 交通大臣の認可を受けなければならないとあります。分かりやすく書くと、今後 の下水道整備の範囲を表した区域のことです。

ハ行

語句	説明			
_{ひゅーむかん} ヒューム管	コンクリート管のこと。HPと略します。現在は主に500ミリメートルから600ミリメートル以上の管径で使用されています。			
*************************************	下水道普及率といい、市内の全人口のうち、どの位の人が公共下水道を利用できるのかを率で表したものです。			
副管	マンホールに大きい落差にて流入する場合、施設の破損を防ぐため、衝撃を和ら げる役目の管を副管と呼びます。マンホールの外部に設置するのを「外副管」、内部に設置するのが「内副管」になります。			
solvers 不明水	汚水管に何らかの理由で、流れ込んできた雨水や地下水のこと。処理しなくてもよい水であるため、これが雨により増水すると、終末処理場に負担がかかります。流入する理由としては、宅内排水設備の誤接続や管の老朽化による地下水の流入などが考えられます。			
ぶんりゅうしき 分流式	汚水と雨水を別々の管で排除する方式。一つの管で両方を排除する「合流式」に 比べると施工量が多くなるため、経済的ではありませんが、雨が降っても安定し た汚水処理が可能になります。現在早期に下水道整備を行った都市以外は分流式 を採用しています。流山市が接続している「江戸川左岸」と「手賀沼」の流域下 水道は分流式です。反対語:合流式			

ボックスカルバート	コンクリートにて造られた箱状の工作物。下水道では主に雨水排水に用いられます。
^{ぽんぷじょう} ポンプ場	地形等の問題により自然流下にて排除できなくなった汚水をポンプにより圧送させる施設。流量が少ない場合マンホール内部に設置するマンホールポンプなどがあります。

マ行

語句	説明
	管の損傷を防ぐため、位置の存在を予告する役目のテープのこと。通常管の上60 センチメートルの位置に埋設しておきます。
マンホール	人孔のこと。

ヤ行

語句	説明				
关板	開削工事などで土留めをするさい、土を押さえておく板のこと。木製は木矢板(もくやいた)、鉄製は鋼矢板(こうやいた)と呼び、他に軽量で扱いやすいアルミ製などがあります。また、形状、大きさ、厚さ、使用用途によりいろいろな種類があります。				
^{ゆうじこう} U字 溝	U型をした、コンクリート製の排水施設のことです。道路や通路などの両側または片側(場所によっては中央)に設置し、雨水や生活排水を河川へ放流するために設置されています。下水道が整備されますと生活排水はすべて下水管へと流れますのでU字溝は雨が降ったときにしか水が流れません。				

ラ行

語句	説明					
りゅういきげすいどう 流域下水道	2以上の市町村から下水を受け、これを排除し、処理するために都道府県が管理する下水道で、終末処理場と管渠から成り立っています。流山市の下水道は江戸川左岸流域下水道と手賀沼流域下水道に接続しており、最終的に江戸川終末処理場、手賀沼終末処理場で下水の処理作業が行われ、海や川に放流されます。維持管理及び建設とも、千葉県が行っています。					
)gpラモՀ 流速	水の流れる速さのこと。汚水は1秒あたり0.6メートルから3.0メートル、雨水は1秒あたり0.8メートルから3.0メートルで計画されています。					
^{yyotao} 流末	汚水や雨水が流れる行き先のこと。「この管の流末は流域下水道です。」という言い方をします。					
^{りゅうりょう} 流量	流れてくる水の量のこと。流量、勾配、流速により管種及び管径を決めます。					

令和2年度 流山市上下水道事業年報 令和3年12月発行

編 集 流山市上下水道局経営業務課

発 行 流山市上下水道局

〒270-0121 流山市おおたかの森西一丁目19番地

☎ 04(7159)5315 (経営業務課)